TOSHIBA 東芝デジタルビデオレコーダ取扱説明書

対象機種	TSAM-R930

このたびは、東芝デジタルビデオレコーダをお買いあげいただきまして、まことにありがとうございました。
お求めの東芝デジタルビデオレコーダを正しく使っていただくために、この取扱説明書をよくお読みください。
なお、お読みになったあとは、必ず保存してください。

目　次

安全上のご注意……2
注意事項について（必ずお読みください）……7
用語の説明……8
各部のなまえとはたらき……10
設置のしかた……13
工事店様へ……14
接続のしかた……15
■ テレビカメラ、モニタテレビ等との接続……15
■ 外部ハードディスクユニット（TXU-R1630）との接続……16
■ デジタルセレクタ（TRS-R1620）との接続……18
■ コンビネーションカメラ（TXD-7610等）との接続……20
■ センサーとの接続……22
■ リモコンチェンジャーとの接続……23
■ BNCコネクタ(付属品)と同軸ケーブルの接続のしかた……24
使いかた……24
■ 初期設定について……25
■ キーロックについて……25
操作のしかた……26
■ 画面切換について……26
■ ズームについて……28
■ センサ入力/モーション検出時のモニタ表示について……28
■ 録画について……29
■ 検索について……33
■ 再生について……36
■ コンパクトフラッシュ静止画保存について……38
■ コンパクトフラッシュ動画保存について……39
■ 特別保存について……40
■ コンビネーションカメラ操作について……41
プログラムのしかた……42
■ 設定の初期化……42
■ 画面選択の手順……42
■ プログラムの設定項目……46
■ プログラムの設定のしかた……55
異常発生時について……83
修理サービス……87
■ご相談のまえに、つぎのことをお調べください……87
仕様……89
外形寸法図……92
保証とアフターサービスについて……93

工事店様へ　工事が終了しましたら、この説明書は必ずお客様へお渡しください。
お客様はお読みになったあとも必ず保存してください。

＜生産完了 2009年01月01日＞
TSAM-R930 (1／93)

安全上のご注意

- ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- お読みになった後は本機のそばなど、いつも手元に置いてご使用ください。
- この取扱説明書および製品への表示では、製品を正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠ 警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

⚠ 注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

△記号は注意（警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。図のなかに具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。

⃠記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な注意内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

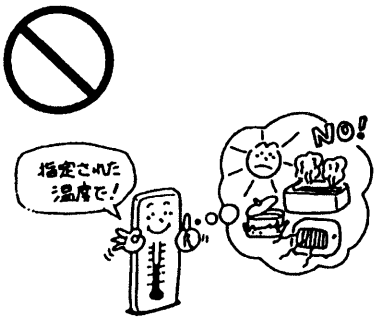
●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け）が描かれています。

⚠ 警告

〔据付、設置、接続、移動にあたっての注意〕

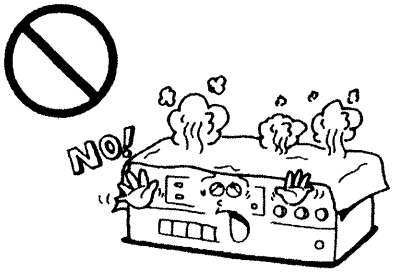
■通風のよい場所に設置してください。高温や湿度、ほこりの多い次のような場所には設置しないでください。火災、感電の原因となります。

- サウナや風呂場など
- 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気があたるような場所
- 直射日光のあたる場所
- 夏の窓を閉めきった自動車の中
- 電気、ガス、石油ストーブなどの暖房器具の真上やその付近
- 有害ガスやいろいろなほこりが特に多い所



■この機器の通風孔はふさがないでください。通風孔をふさぐと、内部に熱がこもり、火災の原因となります。次のような使い方はしないでください。

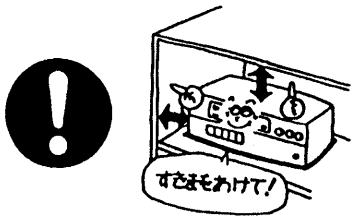
- 風通しの悪い狭い所におしこむ。
- テーブルクロスなどをかけたり、じゅうたんや布団の上に置いて使用する。
- 仰向けや横倒し、逆さにする。



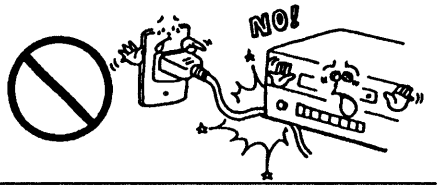
＜生産完了 2009年01月01日＞
TSAM-R930 (2 / 93)

⚠ 警告

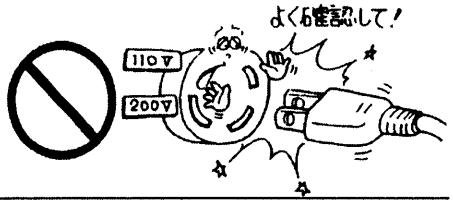
■ この機器を設置する場合、間隔をおいて据えつけてください。
また放熱をよくするために、他の機器との間を少し離して置いてください。ラックなどに入れるときは、すきまをあけてください。
内部に熱がこもり火災の原因となります。



■ 電源コードの上に重いものを乗せたり、コードが本機の下敷きにならないようにしてください。
コードに傷がついて、火災、感電の原因となります。

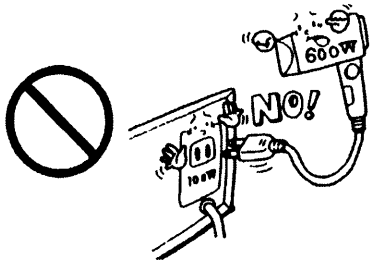


■ 表示された電圧（交流100V）以外の電圧で使用しないでください。火災, 感電の原因となります。

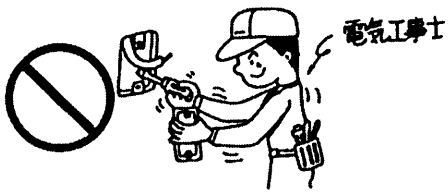


■ この機器は改造しないでください。
火災, 感電の原因となります。

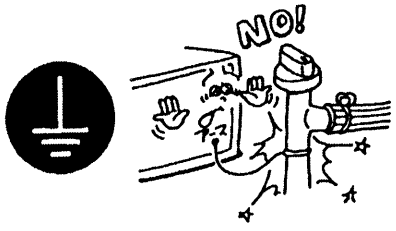
■ この機器のＡＣアウトレット（サービスコンセント）が供給できる電力はアウトレット部に表示している値までです。接続する装置の消費電力の合計がこの値を越えないようにしてください。
また、供給電力以内であっても、電源を入れたときに大電流が流れる電磁調理器などの機器は、接続しないでください。



■ ＡＣ100Ｖ関係の配線工事は電気工事士にご依頼ください。
一般の人が行うことは法により禁じられています。



■ 必ずアース端子は接地してください。
- 感電事故防止のため、および外来ノイズから機器を守るノイズ吸収素子の働きを活かすために、必ずアース端子を接地してください。
- ガス管にアースすると危険ですから絶対におやめください。
- アースはＤ種（第３種）接地工事（接地抵抗100Ω以下）とし、専用としてください。

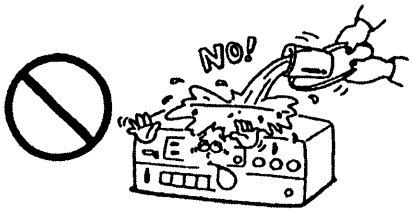


＜生産完了 2009年01月01日＞
TSAM-R930 (3 / 93)

⚠ 警告

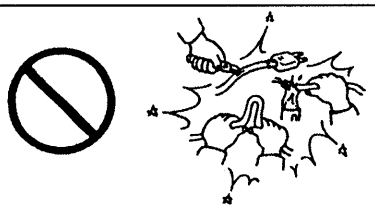
〔使うときの注意〕

■ この機器に水が入ったり、濡らさないようにご注意ください。
火災、感電の原因となります。



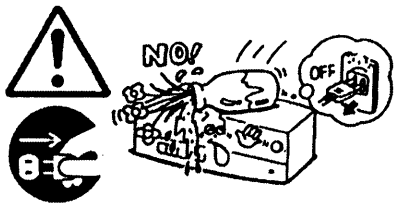
■ この機器の上に花瓶、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器や小さな金属物を置かないでください。
こぼれたり、中に入った場合、火災、感電の原因となります。

■ 電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたりねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。
火災、感電の原因となります。

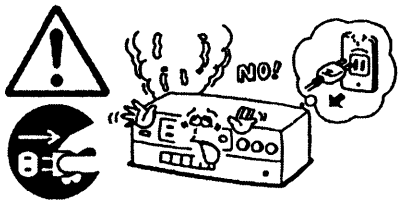


■ この機器のカバーは絶対に外さないでください。
感電の原因になります。
内部の点検、調整、修理は販売店にご依頼ください。

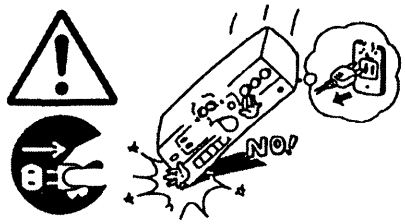
■ 万一、機器の内部に水や金属物などが入った場合は、まず本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災、感電の原因となります。



■ 万一、煙が出ている、変な臭いがする、異常な音がするなどの異常状態のまま使用すると火災、感電の原因となります。
すぐに、本体の電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いて煙が出なくなるのを確認してから、販売店に修理を依頼してください。



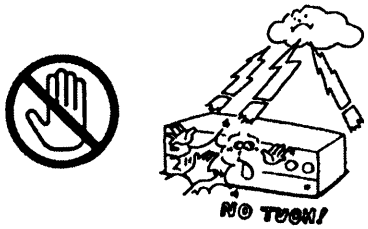
■ 万一、この機器を落としたり、キャビネットを破損した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、販売店にご連絡ください。
そのまま使用すると火災、感電の原因となります。



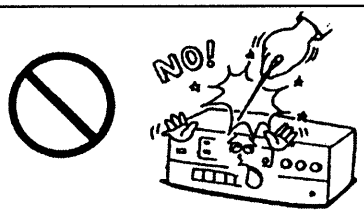
＜生産完了_2009年01月01日＞
TSAM-R930 (4 / 93)

⚠ 警告

■ 雷が鳴りだしたら、本体や電源プラグには触れないでください。
感電の原因となります。



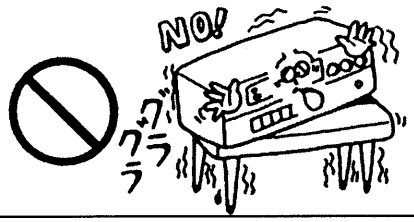
■ この機器の通風孔から内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落としたりしないでください。
火災、感電の原因となります。



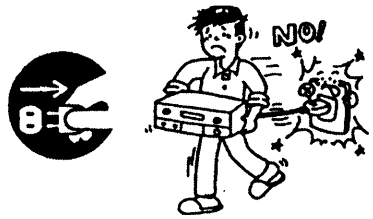
〔お手入れ、保守、点検にあたっての注意〕
■ 電源コードが痛んだら（芯線の露出、断線など）販売店に交換をご依頼ください。
そのままで使用すると火災、感電の原因となります。

⚠ 注意

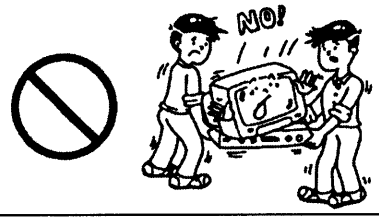
〔据付、設置、接続、移動にあたっての注意〕
■ ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。
落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。



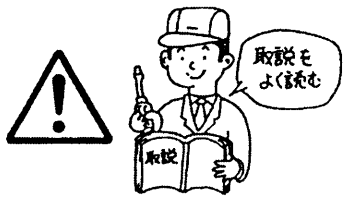
■ 移動させる場合は電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続コードを外してから行ってください。
そのままで移動するとコードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。



■ この機器の上にテレビやオーディオ機器などを載せたまま移動しないでください。倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。



■ 機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続してください。また、接続は指定のコードを使用してください。



＜生産完了_2009年01月01日＞
TSAM-R930 (5 / 93)

⚠ 注意

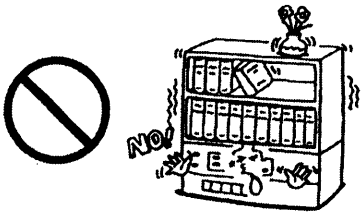
■ 電源コードや接続機器類のコードを抜くときは、コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。
必ずプラグを持って抜いてください。

〔使うときの注意〕

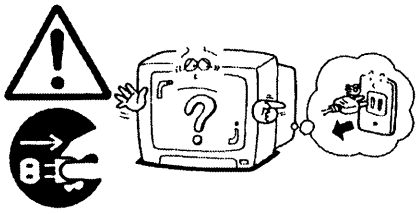
■ 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。
感電の原因となることがあります。

■ この機器の上に乗ったりしないでください。
特にお子様にはご注意ください。
こわれたりして、けがの原因になることがあります。

■ この機器の上に重いものや、外枠からはみ出るような大きいものを置かないでください。
バランスがくずれて倒れたり落下してけがの原因となることがあります。

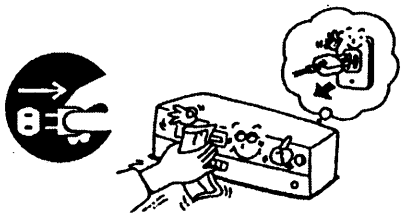


■ 使用中に突然映像が出なくなったなどの異常が生じたときは、すぐに電源プラグをコンセントから抜いてお近くの販売店にご相談ください。
そのまま放置しておくと、大変危険です。

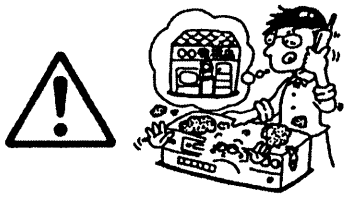


〔お手入れ、保守、点検にあたっての注意〕

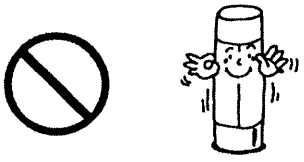
■ お手入れの際は、安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。



■ １年に一度ぐらいは機器内部の掃除を販売店などにご相談ください。機器の内部にほこりのたまったまま、長い間掃除しないと火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行うとより効果的です。



■ ヒューズを交換するときは必ず指定容量のものをご使用ください。
針金や銅線は使用しないでください。
機器の保護ができず、発熱、火災の原因となります。



＜生産完了 2009年01月01日＞
TSAM-R930 (6 / 93)

注意事項について（必ずお読みください）

映像のコマ落ち等の現象について

監視映像及び再生映像で、まれに一瞬映像が、コマ落ちまたは静止画のように見えたり、上下にやや動くことがありますが故障ではありません。（非同期のカメラ間の同期補正のため発生する現象です）

未接続のカメラチャンネルのご注意

未接続のカメラチャンネルは必ず下記のプログラム設定をしてください。

①モニタチャンネル設定 ・・・・・・・・・・・OFF
②センサ/モーション検出設定 ・・・・・・OFF
③録画チャンネル設定・・・・・・・・・・・・・OFF
④コンビネーションカメラ設定 ・・・・・OFF

注意事項について

本製品はハードディスクを使用しています。そのため、下記内容を必ずお守りください。

1. 使用環境
   - 温度：5～35℃
   - 湿度：20～80%RH（結露なきこと）
2. 水平に設置してください
   水平に設置しない場合は、ハードディスクに正しく記録できないとともに、ハードディスク故障の原因にもなります。
3. 他の機器を上に置かないでください
   本製品の上に物を置かれますと、内部にて熱がこもり、ハードディスクの寿命を縮めることとなり故障の原因になります。
4. 両サイド、背面に物を置かないでください
   本製品の両サイドおよび、背面の 5cm 以内に物を置かないでください。そばに物を置かれますと熱がこもり、ハードディスクの寿命を縮めることとなり故障の原因になります。
5. 強力な磁気、静電気のあるところに設置しないでください
   本製品の近くに、強力な磁気や静電気が発生するところに設置した場合、ハードディスクの書込、読込処理が正常に行えなかったり、ハードディスク内のデータを破壊する場合があります。
6. 結露に注意してください
   急激な温度、湿度の変化が発生しますと、結露が発生し、ハードディスクにダメージを与えたり、故障する場合があります。
7. 衝撃や振動には注意してください
   衝撃や振動を与えると、ハードディスクに傷がついたりし、故障の原因となります。
   （移動する場合は必ず背面の電源スイッチを「切」にしてください。）

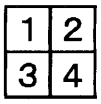
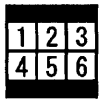
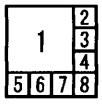
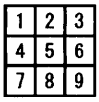
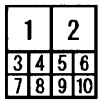
おことわり

誤作動や故障、修理、点検等によって録画内容が消失する場合がございますが、これによって生じたお客様の損害については、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。大切な録画内容等は、必ずお客様の責任のもとで普段からこまめにバックアップされるようにお願いします。

＜生産完了 2009年01月01日＞
TSAM-R930 (7 / 93)

用語の説明

●取扱説明書の中で使われる用語を説明します。

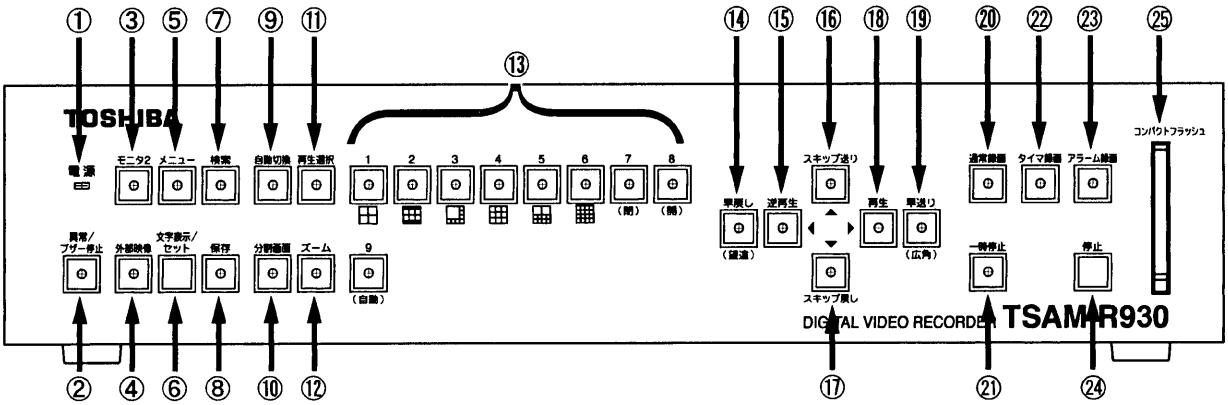
用　語	説　明
単画面表示	カメラ映像をそのまま、モニタに１台分表示します。
分割画面表示	複数のカメラ映像を縮小して、モニタに数台分分割して表示します。
４分割画面表示	カメラ映像を１／４に縮小して、４台分を同時に表示します。 
６分割画面表示	カメラ映像を１／９に縮小して、６台分を同時に中央部に表示します。 
８分割画面表示	カメラ映像を３／４に縮小して、１台分を左上に１／16に縮小して、その他の部分に７台分を同時に表示します。 
９分割画面表示	カメラ映像を１／９に縮小して、９台分を同時に表示します。 
10分割画面表示	カメラ映像を１／４に縮小して、２台分を上側に、１／16に縮小して８台分を下側に同時に表示します。 
自動切換表示	複数のカメラ映像をモニタに自動的に一定時間で順次単画面または分割面表示します。
メニュー画面	本機の初期プログラムのための設定画面です。反転文字部分がカーソル部分となります。
キーロック	スイッチ操作を受け付けないようにすることができます。 この機能をキーロックといいます。 キーロックのしかた、解除のしかたは、“キーロックについて”（25ページ）を参照してください。
ズーム機能	ライブ映像及び再生映像の単画面静止画の任意の部分を２倍に拡大（ズーム）する機能です。ズーム機能については、“ズームについて”（28ページ）を参照ください。
通常録画	手動操作により録画開始、停止をする一般的な録画です。
タイマ録画	録画する日時または曜日などを予約して自動的に録画を行ないます。
アラーム録画	センサ入力またはモーション検知により自動的に録画を行ないます。
上書録画	ハードディスクの空き容量がなくなった場合、最古の録画データを自動的に消去して、録画を継続する録画方法です。
上書禁止録画	ハードディスクの空き容量がなくなった場合、自動的に録画を停止する録画方法です。

＜生産完了_2009年01月01日＞
TSAM-R930 (8 / 93)

ミラー録画	２台のハードディスクに同じ録画データを録画する方法です。２重に録画データを保存できます。
特別保存	録画スタート前にハードディスク内の一般録画範囲外に特別保存範囲（約10GB）を設定すると一般録画した録画データをその範囲に保存することができます。その録画データは、消去操作（フォーマット操作含む）をするまで保存できます。
コンパクトフラッシュ保存	再生映像の単画面を静止画として別売のコンパクトフラシュに保存できます。
コンビネーションカメラ操作	コンビネーションカメラＴＸＤ-7610 のパン、チルト及びレンズ操作をスイッチで操作することができます。操作方法は、“コンビネーションカメラ操作について”（41 ページ）を参照ください。
モーション検知	映像の変化を自動的に検知して、アラーム録画させることができます。この検知方法をモーション検知といいます。検知の設定は、メニュー画面で行ないます。設定方法は、“センサ/モーション検出設定手順”（60 ページ）を参照してください。

各部のなまえとはたらき

〔正 面 図〕



① 電源ランプ
背面にある電源スイッチを入にすると、点灯します。

② 異常／ブザー停止スイッチ
異常発生時、赤色のランプが点滅及びブザーで発報をします。ブザーを停止する場合にスイッチを押します。（ブザーを停止しても異常が解消されるまでは、ランプは点灯したままです。）

③ モニタ2スイッチ
モニタ２出力の映像を選択するとき押します。
モニタ２選択時はモニタ2スイッチのランプが点灯し、モニタ２出力で選択されている画面選択スイッチが点灯表示します。
モニタ２選択中は、録画・再生・検索・保存操作を行うことができません。

④ 外部映像スイッチ
外部映像および音声端子に接続された映像と音声に切換えます。外部映像選択時は、外部映像スイッチのランプが点灯します。

⑤ メニュースイッチ
文字表示/セットスイッチと同時に約３秒間長押しすると、各種設定を行うメニュー画面にすることができます。また、メニュー画面時は、直前の画面に戻すとき等に押します。
メニュー画面時はメニュースイッチのランプが点灯します。

⑥ 文字表示／セット
ライブ画面又は再生画面時に押すと文字表示のON／OFF を行うことができます。
メニュースイッチと同時に約3秒間長押しすると、各種設定を行うメニュー画面にすることができます。
メニュー画面又は検索画面時は、セットスイッチとして使用します。

⑦ 検索スイッチ
ライブ画面または、再生画面時に検索スイッチを押すと検索画面にすることができます。
検索画面時は検索スイッチのランプが点灯します。

⑧ 保存スイッチ
ライブ画面または、再生画面時に保存スイッチを押すと保存画面にすることができます。
保存画面時は保存スイッチのランプが点灯します。

⑨ 自動切換スイッチ
ライブ画面をモニタにて自動切換して各映像を表示する場合に押します。
自動切換中は自動切換スイッチのランプが点灯します。

⑩ 分割画面スイッチ
単画面と分割画面表示との切換を行います。
分割画面表示中は分割画面スイッチが点灯します。

⑪ 再生選択スイッチ
再生中に再生画面とライブ画面を切換えることができます。再生画面選択中は再生選択スイッチのランプが点灯します。
（再生動作中でない場合は再生画面に切換わりません）

⑫ ズームスイッチ
単画面表示時に押すと2倍のデジタルズームを行うことができます。ズーム中はズームスイッチのランプが点灯します。

⑬ 画面選択スイッチ
単画面表示時に押すとチャンネル選択を行います。分割画面表示時に押すと分割画面の切換を行います。
コンビネーションカメラ操作時は、コンビネーションカメラのプリセット、アイリスの操作を行うことができます。
（1～6：プリセット操作、7～9：アイリス操作）

＜生産完了 2009年01月01日＞
TSAM-R930 (10／93)

⑭ 早戻しスイッチ
録画映像を逆再生中に早戻し再生する場合に押します。押すごとに、2倍、4倍、6倍、8倍、10倍、12倍、20倍、24倍、0.5倍の速度になります。
早戻し中は早戻しスイッチのランプが点滅します。
一時停止中に早戻しスイッチを押すことによりコマ戻しを行うことができます。

⑮ 逆再生／左カーソルスイッチ
録画映像を逆再生（1倍）する場合に押します。
逆再生中（1倍）は逆再生スイッチのランプが点灯します。
メニュー画面、検索画面、保存画面、ズーム時、コンビネーションカメラ操作時には、左カーソルスイッチとして使用します。

⑯ スキップ送り／上カーソルスイッチ
再生中に、現在再生している位置以降の録画データの頭出しを行います。
メニュー画面、検索画面、保存画面、ズーム時、コンビネーションカメラ操作時は上カーソルスイッチとして使用します。
ライブ画面時にスキップ戻しスイッチと同時に約3秒間長押しするとコンビネーションカメラ操作に切換えることができます。
コンビネーションカメラ操作中はスキップ送りスイッチのランプが点滅します。

⑰ スキップ戻し／下カーソルスイッチ
再生中に、現在再生している位置以前の録画データの頭出しを行います。
メニュー画面、検索画面、保存画面、ズーム時、コンビネーションカメラ操作時は下カーソルスイッチとして使用します。
ライブ画面時にスキップ送りスイッチと同時に約3秒間長押しするとコンビネーションカメラ操作に切換えることができます。
コンビネーションカメラ操作中はスキップ戻しスイッチのランプが点滅します。

⑱ 再生／右スイッチ
録画映像を再生（1倍）する場合に押します。
再生中(1倍)は再生スイッチのランプが点灯します。
メニュー画面、検索画面、保存画面、ズーム時、コンビネーションカメラ操作時は右カーソルスイッチとして使用します。

⑲ 早送りスイッチ
録画映像を再生中に早送り再生する場合に押します。
押すごとに、2倍、4倍、6倍、8倍、10倍、12倍、20倍、24倍、0.5倍の速度になります。
早送り中は早送りスイッチのランプが点滅します。
一時停止中に早送りスイッチを押すことによりコマ送りを行うことができます。

⑳ 通常録画スイッチ
通常録画スイッチを押すと通常録画を開始します。
通常録画中は通常録画スイッチのランプが点灯します。
通常録画中に停止スイッチと同時に押すことにより通常録画を停止することができます。

㉑ 一時停止スイッチ
再生中に一時停止スイッチを押すと再生映像を一時停止することができます。
一時停止中に一時停止スイッチを押すことにより一時停止を解除することができます。
一時停止中は一時停止スイッチのランプが点滅します。

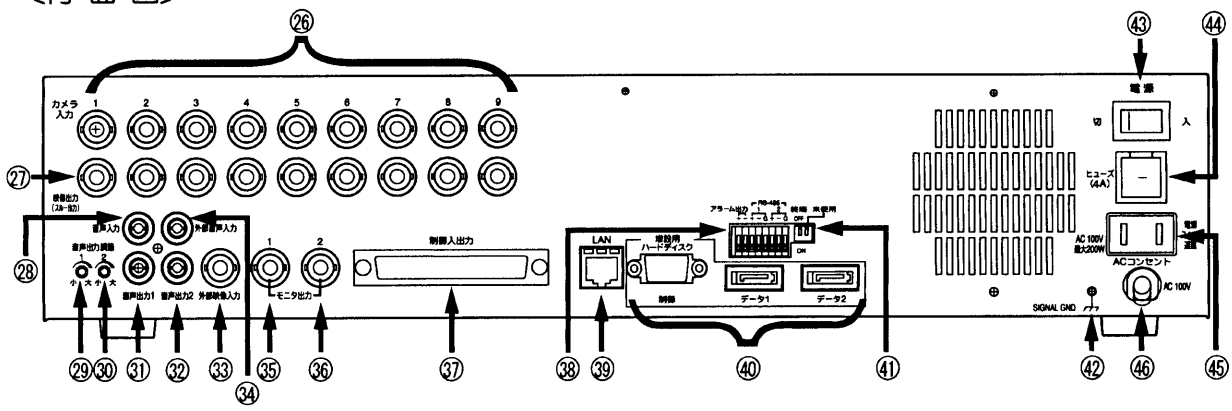
㉒ タイマ録画スイッチ
タイマ録画中にタイマ録画スイッチのランプが点灯します。
タイマ録画中に停止スイッチと同時に押すことによりタイマ録画を停止することができます。
タイマ録画設定時間内で再度タイマ録画を開始したい場合は、タイマ録画スイッチを押すことによりタイマ録画を開始します。
（アラーム録画中はタイマ録画開始操作ができません）

㉓ アラーム録画スイッチ
アラーム録画中にアラーム録画スイッチのランプが点灯します。
アラーム録画中に停止スイッチと同時に押すことによりアラーム録画を停止することができます。

㉔ 停止スイッチ
再生中に停止スイッチを押すと再生を停止します。
録画中（通常録画、タイマ録画、アラーム録画）のスイッチと、停止スイッチを同時に押すことにより録画を停止することができます。

㉕ コンパクトフラッシュ挿入口
コンパクトフラッシュにデータを保存する場合、コンパクトフラッシュを挿入します。

〔背 面 図〕



㉖ カメラ映像入力コネクタ（BNC）
カメラ映像を接続するコネクタです。

㉗ カメラ映像（スルー）出力コネクタ
各カメラの映像をそのまま出力します。

㉘ 音声入力端子（ピンジャック）
録画したい音声を接続します。再生時または外部映像時以外は、音声出力に出力します。

㉙ 音声出力１レベル調整ボリューム
音声出力１の出力レベルを調整するボリュームです。右に回すと大きくなり、左に回すと小さくなります。

㉚ 音声出力２レベル調整ボリューム
音声出力２の出力レベルを調整するボリュームです。右に回すと大きくなり、左に回すと小さくなります。

㉛ 音声出力１端子（ピンジャック）
モニタ１の映像に連動してライブまたは録音の音声を出力します。

㉜ 音声出力２端子（ピンジャック）
モニタ２の映像に連動してライブまたは録音の音声を出力します。

㉝ 外部映像入力コネクタ（BNC）
外部機器の映像出力端子に接続します。

㉞ 外部音声入力端子（ピンジャック）
外部機器の音声出力端子に接続します。

㉟ モニタ１出力コネクタ（BNC）
モニタテレビに接続します。
ライブ映像、再生映像、外部映像及び、メニュー画面を出力します。

㊱ モニタ２出力コネクタ（BNC）
２台目のモニタテレビに接続します。
カメラ映像を出力します。
（デジタルセレクタ使用時は、再生映像、外部映像も出力します。）

㊲ 制御入出力コネクタ
（D-Sub37 ピン）
センサ入力、連動制御信号出力端子です。

㊳ アラーム出力端子
アラーム出力端子です。アラーム出力設定した条件で出力します。

㊴ LAN コネクタ（RJ45 コネクタ）
LAN でパソコンと接続するコネクタです。

㊵ 増設用ハードディスクコネクタ
別売の増設ハードディスクユニット（TXU-R1630）と接続する時に使用します。

㊶ RS-485 出力端子（２出力）
RS-485 出力端子です。
出力１は TRS-R1620 用です。
出力２は TXD-7610 等制御用です。

㊷ 接地端子
D 種（第３種）接地をしてください。

㊸ 電源スイッチ
本機の供給電源を入、切します。
サービスコンセントも連動します。

㊹ ヒューズホルダ
4A のヒューズを内蔵したヒューズホルダです。
ヒューズを交換するときはドライバーで上部の穴から押すとヒューズが取り出せます。

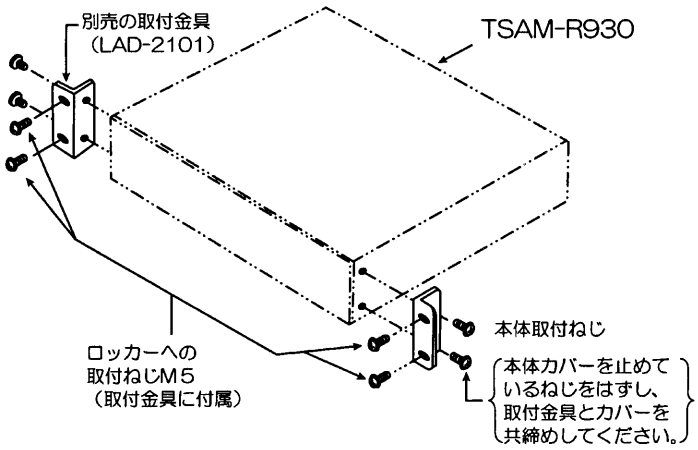
㊺ サービスコンセント
電源スイッチと連動して AC100V 最大 200W までの電源を供給できます。
映像機器以外には使用しないでください。

㊻ 電源コード
電源コードのプラグを AC100V（50／60Hz）のコンセントに接続してください。

＜生産完了 2009年01月01日＞
TSAM-R930 (12／93)

設置のしかた

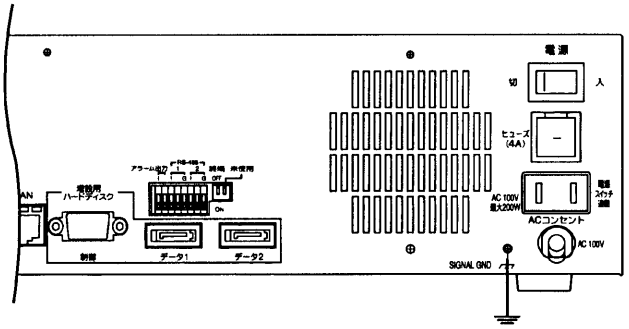
- 卓上形としてまたはEIAサイズのラックに組み込んで使用できます。
- EIAサイズのラックに組み込む場合は別売の取付金具LAD-2101を使って次の順序で取付けてください。
  ① 底板のゴム足4個をはずします。
  ② 両側面の前面側のねじ4個をはずします。
  ③ そのねじを使って右図のように、別売のラックマウント金具（LAD-2101）を両側面に取り付けます。
  ④ 取付金具に付属の化粧ねじ（M5）を使ってラックに固定します。



工事店様へ

接地工事について

- 本機には外来ノイズから機器を守るためにノイズ吸収素子(サージアブソーバ)が電源ラインと筐体間に入っています。これらのノイズ吸収素子の働きを生かすために必ず接地端子を接地してください。
- 接地はD種(第3種)接地工事とし専用としてください。
  照明用や動力用の接地と共用しますとこれらの機器からの影響をうけ誤動作の原因となりますので必ず専用接地としてください。



D種（第3種）接地工事

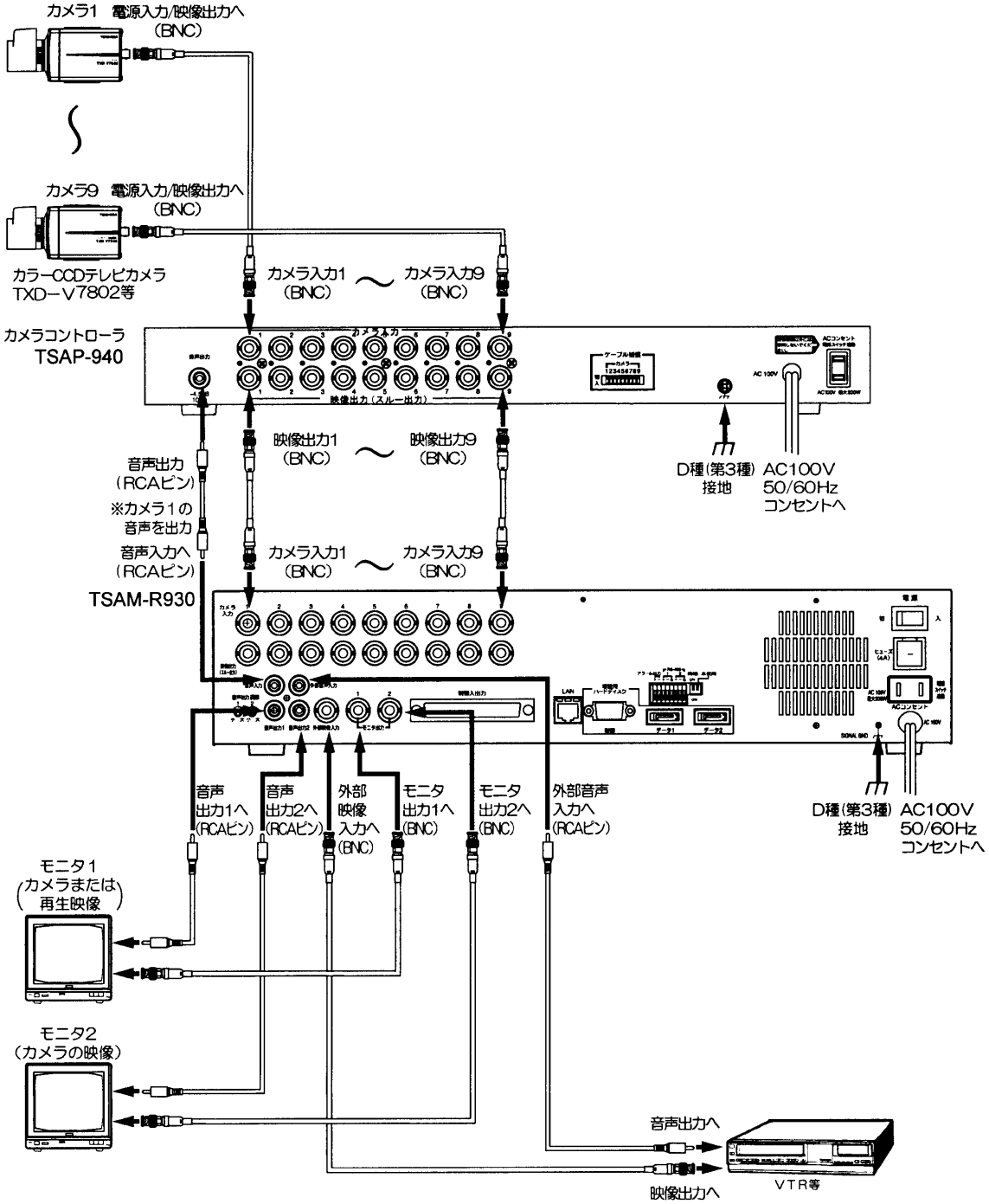
＜生産完了 2009年01月01日＞
TSAM-R930 (14／93)

接続のしかた

■ テレビカメラ、モニタテレビ等との接続

テレビカメラ９台とモニタテレビ等との接続

- 下図を参考に接続してください。
- 詳細はテレビカメラ、モニタテレビおよびVTR等接続機器の取扱説明書を参考にしてください。



※VTRの再生映像を見る場合の接続です

ご注意

カメラ入力にビデオ（NTSC）信号を入力する場合、その接続カメラ、映像機器等の出力回路構成（直列にコンデンサがはいっていない場合等）およびビデオ信号レベル等により、接続できない場合があります。

＜生産完了 2009年01月01日＞
TSAM-R930 (15 / 93)

■ 外部ハードディスクユニット（TXU-R1630）との接続

- 外部ハードディスクユニット（TXU-R1630）は、増設ハードディスク用コネクタに接続してください。
- 接続の詳細は外部ハードディスクユニットの取扱説明書を参照してください。

【接続コネクタ】

データ１コネクタ
データ２コネクタ
制御用コネクタ

【配線ケーブル】

外部ハードディスクユニット（TXU-R1630）付属のケーブルを使用します。

【接続方法】

外部ハードディスクユニットとの接続方法（下表）に従って、接続してください。

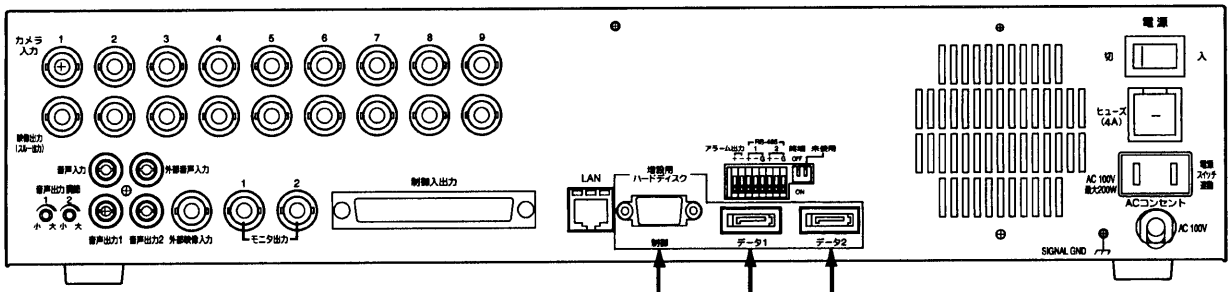
【外部ハードディスクユニットとの接続方法】

TSAM-R930 外部ハードディスク ユニット用コネクタ	TXU-R1630 コネクタ
制御	制御
データ１	データ１
データ２	データ２

【プログラム設定】

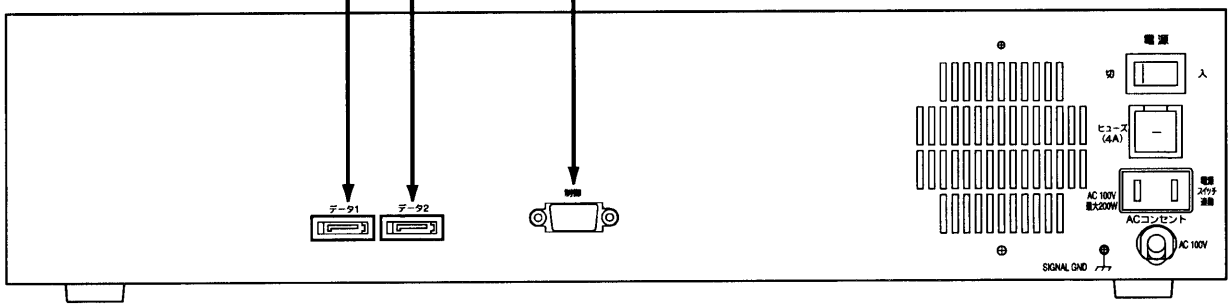
“外部ハードディスクユニット設定”（80 ページ）で外部ハードディスクユニットを ON に設定してください。設定変更後、再起動することで設定内容が更新されます。

TSAM-R930



外部ハードディスクユニット

TXU-R1630



■ デジタルセレクタ（TRS-R1620）との接続

- デジタルセレクタ（TRS-R1620）は、RS-485 出力 1 端子（スクリューレス端子）に接続してください。
- 接続の詳細はデジタルセレクタの取扱説明書を参照してください。

ご注意

- モニタ出力 2 をデジタルセレクタでリモート操作します。
- デジタルセレクタ（TRS-R1620）使用時は本体（TSAM-R920）でモニタ出力 2 の映像選択ができなくなります。

【接続コネクタ】

スクリューレス端子（3 端子）

【配線ケーブル】ツイストペアケーブル 2 対（シールド付）

導体：0.5 mm 以上

最大配線距離：500 m

ご注意

- RS-485 の出力 1 と出力 2 は同一ポートとなっています。
- 出力 1 もしくは出力 2 どちらか片方のみを使用する場合は、本体から接続されている終端された機器までの配線距離が最大 500 m となります。
- 出力 1 と出力 2 の両方を使用する場合は、出力 1 に接続されている終端された機器から、出力 2 に接続されている終端された機器までの配線距離の合計が最大 500 m となります。

【接続方法】

デジタルセレクタとの接続方法（下表）に従って、接続してください。

【デジタルセレクタとの接続方法】

TSAM-R930 RS-485 出力 1	TRS-R1620 RS-485 入力	信号
＋	＋	信号線＋
－	－	信号線－
GND	GND	信号アース

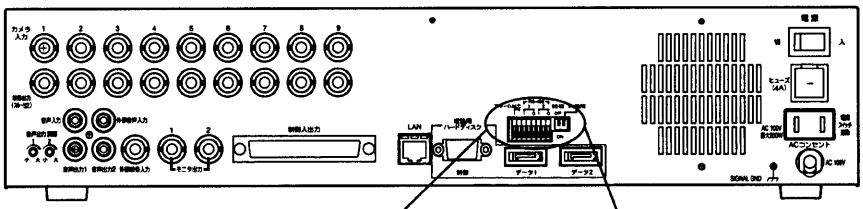
【信号方式】

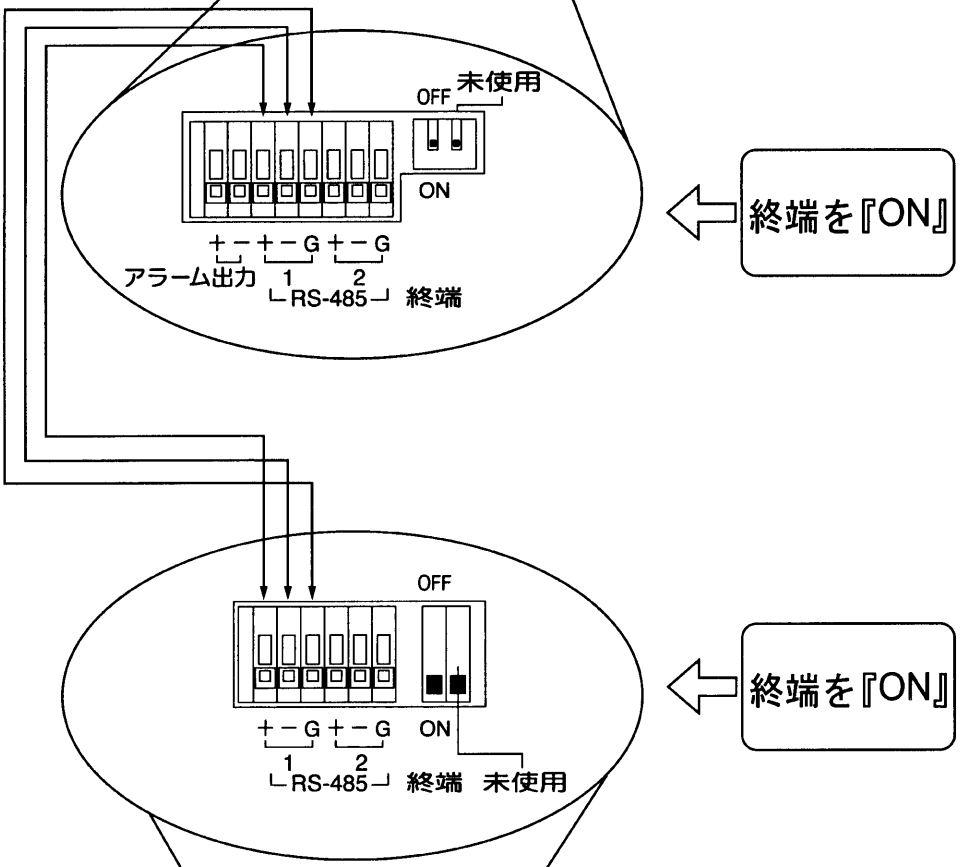
シリアル通信（送受信）

【プログラム設定】

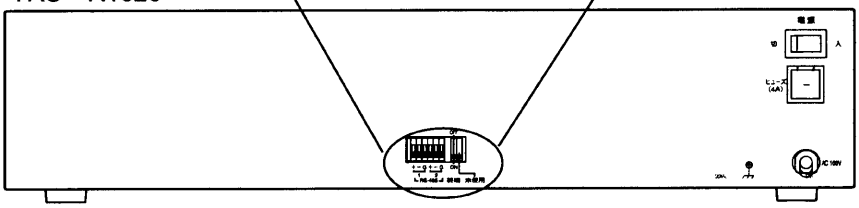
“デジタルセレクタ設定”（73 ページ）でデジタルセレクタを ON に設定してください。設定変更後、再起動することで設定内容が更新されます。

TSAM－R930





デジタルセレクタ
TRS－R1620



ご注意

- デジタルセレクタの電源は、本体の電源投入以前に投入してください。本体の電源投入以後に電源を入れますと、正常に動作しない場合があります。
- RS-485 出力 2 を使用しない場合は終端を “ON” にしてください。

■ コンビネーションカメラ（TXD-7610 等）との接続

- コンビネーションカメラ（TXD-7610 等）は、RS-485 出力2（スクリューレス端子）に接続してください。
- 接続の詳細はコンビネーションカメラの取扱説明書を参照してください。
- コンビネーションカメラにて RS-485 のカメラ ID 番号を設定してください。
  （リモコンの ID 設定とは違います）

【接続コネクタ】

スクリューレス端子（3 端子）

【配線ケーブル】

ツイストペアケーブル 2 対（シールド付）
導体：0.5　mm 以上
最大配線距離：500 m

ご注意

- RS-485 の出力 1 と出力 2 は同一ポートとなっています。
- 出力 1 もしくは出力 2 どちらか片方のみを使用する場合は、本体から接続されている終端された機器までの配線距離が最大 500 m となります。
- 出力 1 と出力 2 の両方を使用する場合は、出力 1 に接続されている終端された機器から、出力 2 に接続されている終端された機器までの配線距離が合計最大 500 m となります。

【接続方法】

コンビネーションカメラとの接続方法（下表）に従って、接続してください。

〔本体とコンビネーションカメラとの接続方法〕

TSAM-R930 RS-485 出力2	TXD-7610 RS-485 入力	信号
＋	＋	信号線＋
－	－	信号線－
GND	GND	信号アース

〔コンビネーションカメラ同士の接続方法〕

TXD-7610 RS-485 出力	TXD-7610 RS-485 入力	信号
＋	＋	信号線＋
－	－	信号線－
GND	GND	信号アース

【信号方式】

シリアル通信（送受信）

【プログラム設定】

“コンビネーションカメラ設定”（76 ページ）にて各カメラ番号に対してカメラにて RS-485 の ID 設定して番号を設定してください。設定変更後、再起動することで設定内容が更新されます。

【コンビネーションカメラ（TXD-7610）の設定】

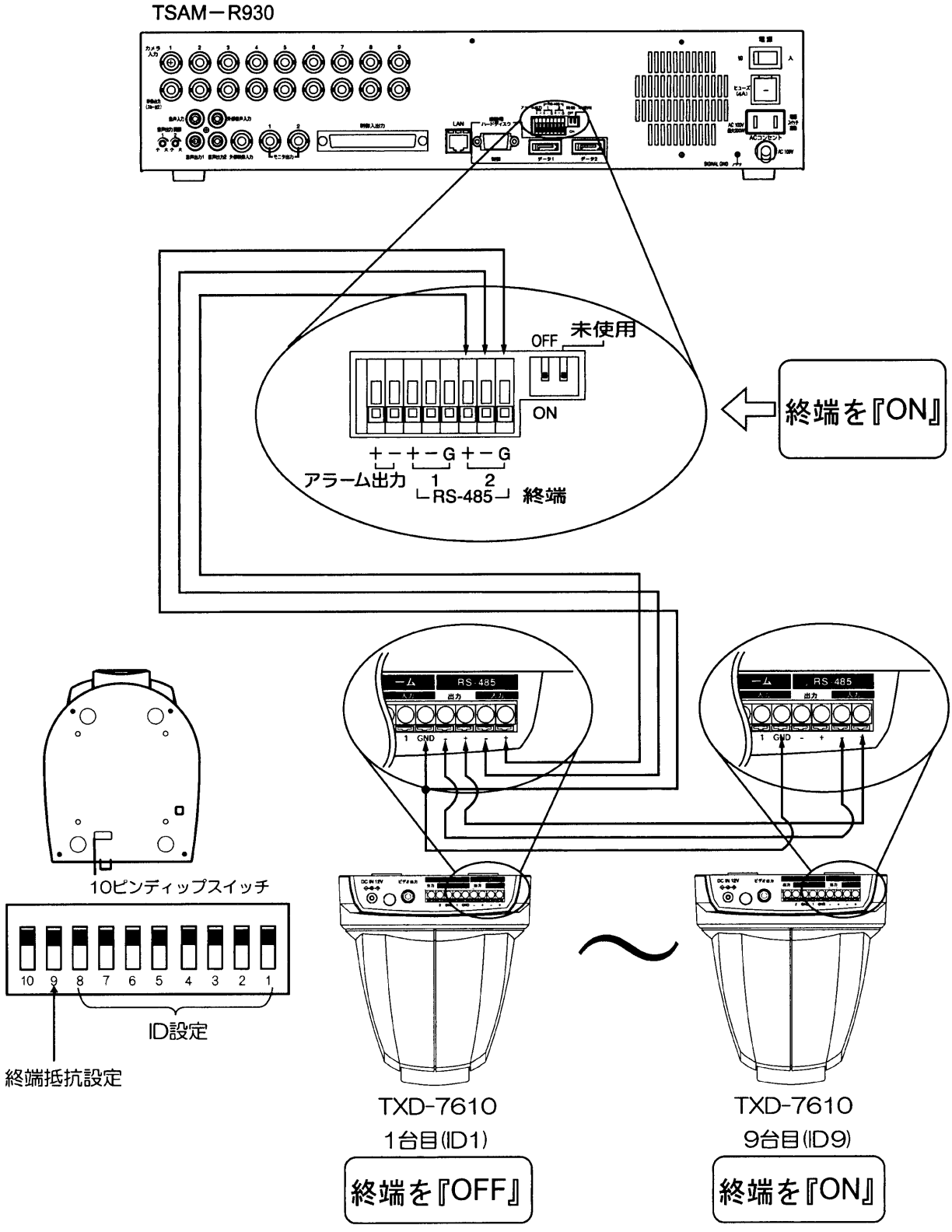
コンビネーションカメラ(TXD-7610)の上面の 10 ピンディップスイッチと、4 ピンディップスイッチで設定します。

応答時間 ：DIPSW 4 ピンの 4 を ON に設定
ID　　：DIPSW 10 ピンの 1～8 にて設定
終端抵抗 ：DIPSW 10 ピンの 9 にて設定（ON：終端あり、OFF：終端なし）

ID	DIPSW 10ピン 8	7	6	5	4	3	2	1
1	0	0	0	0	0	0	0	1
2	0	0	0	0	0	0	1	0
3	0	0	0	0	0	0	1	1
4	0	0	0	0	0	1	0	0
5	0	0	0	0	0	1	0	1
6	0	0	0	0	0	1	1	0
7	0	0	0	0	0	1	1	1
8	0	0	0	0	1	0	0	0

ID	DIPSW 10ピン 9	7	6	5	4	3	2	1
9	0	0	0	0	1	0	0	1
10	0	0	0	0	1	0	1	0
11	0	0	0	0	1	0	1	1
12	0	0	0	0	1	1	0	0
13	0	0	0	0	1	1	0	1
14	0	0	0	0	1	1	1	0
15	0	0	0	0	1	1	1	1
16	0	0	0	1	0	0	0	0

＜生産完了 2009年01月01日＞
TSAM-R930 (20／93)



ご注意

- コンビネーションカメラの電源は、本機の電源投入以前に投入してください。本機の電源投入以後に電源を入れますと、正常に動作しない場合があります。
- コンビネーションカメラのRS-485出力を使用しない場合は終端を“ON”にしてください。

■センサーとの接続

センサー入力

● センサーは、外部制御入出力端子（D-sub37 ピン、メス）
に接続してください。

【センサー入力端子】

TSAM−R930 外部制御入出力端子	連動する カメラ入力
1	カメラ1
20	カメラ2
2	カメラ3
21	カメラ4
3	カメラ5
22	カメラ6
4	カメラ7
23	カメラ8
5	カメラ9
9	信号アース
28	信号アース
10	信号アース

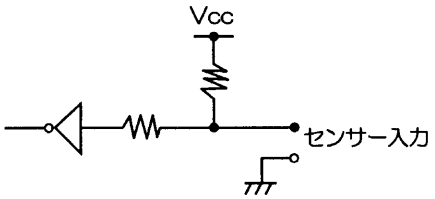
【接続コネクタ】

D-sub37 ピン（オス）コネクタ（止めねじ：M2.6）
（コネクタは付属していませんので、電器店等でお求めください。）

【センサーの信号】

無電圧メイク接点（メイク信号の立下り時信号を受け付けます。）
パルス幅　100 m sec 以上
（開放電圧：DC5V　制御電流：100mA 以下）

【入力端子回路】



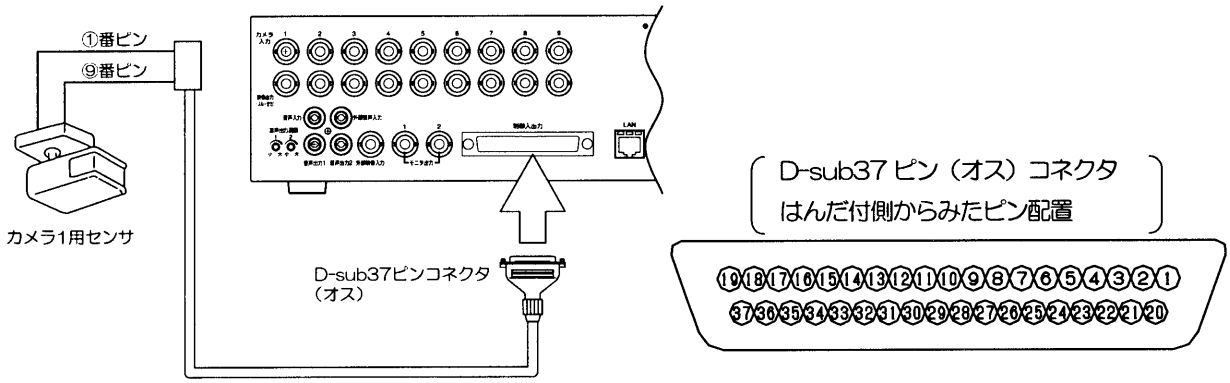
【プログラム設定】

“センサ/モーション検出設定”（60 ページ）と“アラーム録画設定”（64 ページ）の項目を設定してください。

【接続方法】

外部制御入出力端子（右表）に接続してください。
（例）カメラ１センサーの場合、ピン番号①と⑨にセンサーを接続してください。

カメラ１センサーの接続例



アラーム出力

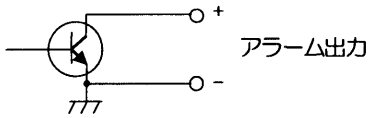
● センサー入力又は、モーション検出により、センサー動作した場合
アラーム録画設定内容で設定した時間、アラーム出力を出力します。

【接続コネクタ】
D-sub37 ピン（オス）コネクタ（止めねじ：M2.6）
（コネクタは付属していませんので、電器店等でお求めください。）

【接続コネクタ】
スクリューレス端子（2端子）

【出力接点】
オープンコレクタ接点
（耐電圧：DC24V　制御電流：100mA 以下）

【出力端子回路】



【アラーム出力端子】

TSAM-R930 アラーム出端子	信号
＋	アラーム出力＋側
－	信号アース

【プログラム設定】
“アラーム録画設定のアラーム出力設定”（64 ページ）項目を設定してください。

■リモコンチェンジャーとの接続

● リモコンチェンジャーTRC-1000 の外部選択入力端子 TB1 と、本機の制御入出力端子（D-sub37 ピン、メス）を接続してください。

● 接続の詳細は、リモコンチェンジャーTRC-1000 の取扱説明書を参照ください。

【接続コネクタ】
D-sub37 ピン（オス）コネクタ
（止めねじ：M2.6）
（付属していませんので、電器店等でお求めください。）

【配線ケーブル】
ツイストペアケーブル（シールド付）
導体直径：0.5 mm 以上
最大配線距離：500 m

【接続方法】
リモコンチェンジャーとの接続方法（右表）に従って接続してください。

【リモコンチェンジャーへの信号内容】
映像連動制御出力
（モニタ 1 又はモニタ 2 のカメラ単画面映像に連動して出力）

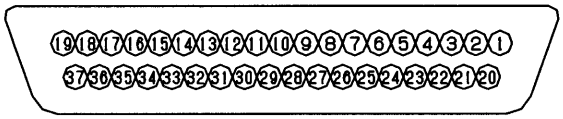
ご注意
●自動切換時のカメラ単画面時には出力しません。

【出力接点】
オープンコレクタ接点
（開放電圧：DC24V　制御電流：100mA 以下）

【リモコンチェンジャーとの接続方法例】

TSAM-R930 外部制御入出力端子ピン番号	TRC-1000 端子台 TB1 の端子番号	映像連動制御出力信号
29	1～4のいずれか	カメラ1
11		カメラ2
30		カメラ3
12		カメラ4
31		カメラ5
13		カメラ6
32		カメラ7
14		カメラ8
33		カメラ9
37	5	信号アース
19		信号アース

D-sub37 ピン（オス）コネクタ
はんだ付側からみたピン配置



【プログラム設定】
“映像連動制御出力設定”（75 ページ）にてモニタ 1 又はモニタ 2 を設定してください。

■BNC コネクタ（付属品）と同軸ケーブルの接続のしかた

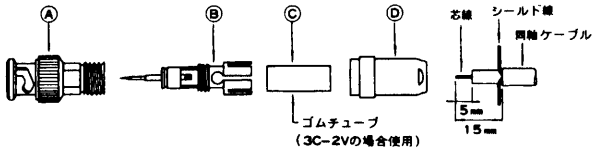
●付属のBNCコネクタを図Ⅰのように Ⓐ ～ Ⓓ に分解し、Ⓓ 、Ⓒ（3C-2Vの場合使用）を同軸ケーブルに通します。

●同軸ケーブルの先端から15㎜のところまで外皮をナイフで取り除きます。

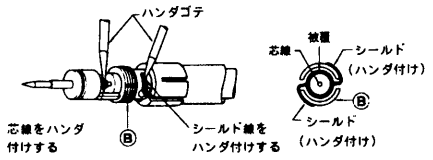
●シールド線は２等分してよりあわせ、芯線は5㎜出るよう絶縁物を取り除きます。（図Ⅰ）

● Ⓑ を同軸ケーブルに通し図Ⅱのようにシールド線を Ⓑ にまきつけシールド線、芯線を各々ハンダ付けします。

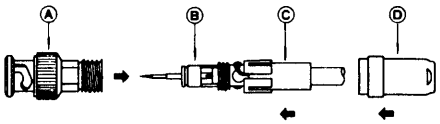
●図Ⅲのように Ⓑ と同軸ケーブルの間に Ⓒ を通しスパナで Ⓐ を Ⓑ にねじ込み次に Ⓐ に Ⓓ をねじ込んで固定して完了です。（図Ⅳ）



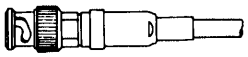
図Ⅰ



図Ⅱ



図Ⅲ


図Ⅳ

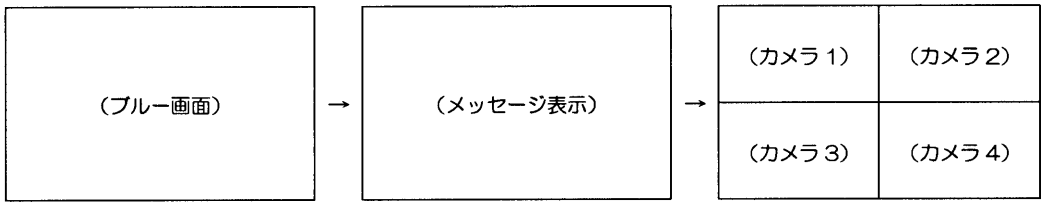
使いかた

ここでは、本機の基本的な操作を説明します。

本機の起動

① 各機器が正しく接続されているか確認してください。

② リアパネルの「電源」スイッチを「入」にします。
電源ランプが点灯し、下図の画面を表示して内部の初期化とシステムチェックを行います。
ブルー画面が約１分間表示し、ライブ画面（４分割）が表示されます。



本機の終了

① 録画動作及び再生動作を停止します。

② リアパネルの「電源」スイッチを「切」にします。

ご注意

●録画中や再生中または、データ保存中は電源スイッチを絶対に切にしないでください。電源を切にされますと、記録データを破壊する恐れがあります。

＜生産完了 2009年01月01日＞
TSAM-R930 (24 / 93)

■ 初期設定について

時刻日付の設定

- 初めて電源を「入」にしますと、画面の日付、時刻が正しく表示されない場合があります。そのときは、時刻と日付を設定してください。設定のしかたは、“時刻設定手順”（55 ページ）を参照してください。

ご注意

●数日間の停電（又は電源が「切」）の状態の後、電源を投入しますと、正しい時計表示がされない場合がありますので、その場合は時刻と日付を再設定してください。

プログラムの設定

- “プログラムのしかた”（42～82 ページ）に従ってプログラム設定してください。

■ キーロックについて

キーロックを有効にすることにより、スイッチ操作を受け付けなくすることができます。

- キーロックは異常／ブザー停止以外全てのスイッチ（電源スイッチを除く）をロックできます。
- 電源を OFF してもキーロックは保持されます。
- キーロック中に異常／ブザー停止以外のスイッチを押した場合、ブザー音が鳴り画面上に“キーロック”と表示されます。

キーロックパスワードの設定のしかた

キーロックパスワードは、任意の数字４桁で設定ができます。
キーロックパスワードの変更の仕方は、“キーロックパスワード設定”（78 ページ）を参照してください。
（初期設定は１１１１です）

キーロックのしかた

「異常／ブザー停止」スイッチを押しながら、「文字表示／セット」スイッチを同時に約３秒間長押しします。
ブザー音が鳴り画面左下に“キーロック”と表示され、キーロックされます。

キーロック解除のしかた

① 「異常／ブザー停止」スイッチを押しながら、「文字表示／セット」スイッチを同時に約３秒間長押しします。
（画面に“パスワードを入力してください”と表示されます）
② ４桁のキーロックパスワードを押します。
③ 「異常／ブザー停止」スイッチを押しながら、「文字表示／セット」スイッチを同時に約３秒間長押しします。
キーロックが解除されます。ブザー音が鳴り、画面左下に“キーロック解除”と表示されます。

＜生産完了 2009年01月01日＞
TSAM-R930 (25／93)

操作のしかた

■画面切換について

- 本機には、単画面と分割画面を表示する機能を持っています。
- 分割画面は、４分割（４パターン）、６分割（３パターン）、８分割（３パターン）、９分割（３パターン）、10分割（４パターン）の５種類（17パターン）があります。
- メニュー画面にて分割画面のパターンそれぞれに表示するカメラを設定することができます。

単画面表示と分割画面表示の切換のしかた

① 「分割画面」スイッチを押します。
② 単画面を表示していた場合は、「分割画面」スイッチのランプが点灯し、分割画面表示に切換わります。
分割画面を表示していた場合は、「分割画面」スイッチのランプが消灯し、単画面表示に切換わります。
③ 次ページの「カメラ、分割画面選択方法」を参考にして、見たい画像を表示してください。

ご注意

●メニュー画面、保存画面、検索画面、コンビネーションカメラ操作、ズーム時は操作できません。

再生中のライブ画面と再生映像の切換のしかた

① 「再生選択」スイッチを押します。
② ライブ画面を表示していた場合は、「再生選択」スイッチのランプが点灯し、再生映像表示（一時停止）に切換わります。
再生映像を表示していた場合は、「再生選択」スイッチのランプが消灯し、ライブ画面映像表示に切換わります。
（再生動作は一時停止となります。）
③ 次ページの「カメラ、分割画面選択方法」を参考にして、見たい画像を表示してください。

ご注意

●再生動作していない場合は、ライブ画面表示時に「再生選択」スイッチを押しても再生映像に切換わりません。（“ピッ”とエラー音が鳴ります。）
●メニュー画面、保存画面、検索画面、コンビネーションカメラ操作、ズーム時は操作できません。

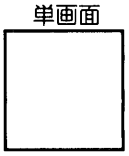
カメラ、分割画面選択方法

各画面の設定は、“モニタチャンネルの設定”“分割画面設定手順”（57 ページ）を参考にしてください。

[1 台のカメラを単画面表示で見るとき]

① 「分割画面」スイッチにて単画面表示に切換えます。（分割画面スイッチのランプ消灯）
② 単画面表示したいカメラのチャンネルのカメラ番号を選択します。

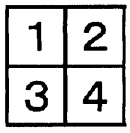
単画面



[4分割画面で見るとき]

① 「分割画面」スイッチにて分割画面表示に切換えます。（分割画面スイッチのランプ点灯）
② 「1／田」スイッチを押します。4－A で表示されます。
③ 4－B、4－C、4－D を見たい場合は、「1／田」スイッチを 1，2，3 回押します。

4分割



[6分割画面で見るとき]

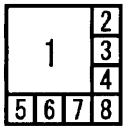
① 「分割画面」スイッチにて分割画面表示に切換えます。（分割画面スイッチのランプ点灯）
② 「2／田」スイッチを押します。6－A で表示されます。
③ 6－B、6－C を見たい場合は、「2／田」スイッチを 1，2 回押します。

6分割

[8分割画面で見るとき]

① 「分割画面」スイッチにて分割画面表示に切換えます。（分割画面スイッチのランプ点灯）
② 「3／田」スイッチを押します。8－A で表示されます。
③ 8－B、8－C を見たい場合は、「3／田」スイッチを 1，2 回押します。

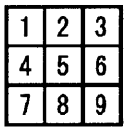
8分割



[9分割画面で見るとき]

① 「分割画面」スイッチにて分割画面表示に切換えます。（分割画面スイッチのランプ点灯）
② 「4／田」スイッチを押します。9－A で表示されます。
③ 9－B、9－C を見たい場合は、「4／田」スイッチを 1，2 回押します。

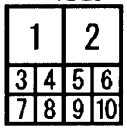
9分割



[10分割画面で見るとき]

① 「分割画面」スイッチにて分割画面表示に切換えます。（分割画面スイッチのランプ点灯）
② 「5／田」スイッチを押します。10－A で表示されます。
③ 10－B、10－C、10－D を見たい場合は、「5／田」スイッチを 1，2，3 回押します。

10 分割



ご注意

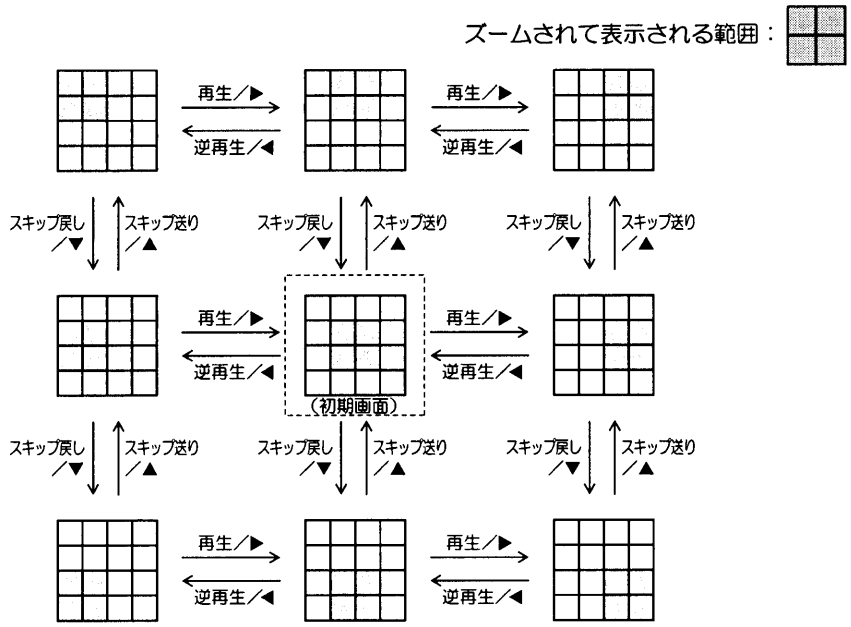
●メニュー画面設定で、分割画面の中のすべての画面に OFF を設定した場合は、自動的にその画面はスキップされ表示されません。

＜生産完了 2009年01月01日＞
TSAM-R930 (27／93)

■ズームについて

- 本機は、単画面表示時に２倍のデジタルズーム機能をもっています。
- ライブ画面時または、再生画面時に単画面で表示している場合のみズームを行うことができます。
- ズーム表示中は「ズーム」、「スキップ送り／▲」、「スキップ戻し／▼」、「逆再生／◀」、「再生／▶」スイッチ以外は操作できません。
- ズームできる範囲は下記の９ヶ所です。

【ズームでできる範囲の説明図】　（モニタ画面に格子は表示されません。）



［ズーム操作］

① ライブ画面または、再生画面にてズームしたいカメラを単画面表示します。
② 「ズーム」スイッチを押します。（ズームスイッチのランプが点灯し、画面に“ズーム”と表示されます）
③ 画面の中央部が２倍にズームされて表示されます。
④ 別の部分をズームしたい場合は、「スキップ送り／▲」、「スキップ戻し／▼」、「逆再生／◀」、「再生／▶」スイッチ操作で位置を変更できます。

［ズーム操作終了］

① 「ズーム」スイッチを押します。（ズームスイッチのランプが消灯し、画面の“ズーム”文字が消えます）
② 単画面表示にもどります。

ご注意
●分割画面ではズームを行うことができません。

■センサ入力/モーション検出時のモニタ表示について

- モニタ表示がライブ画面時にセンサ入力またはモーション検出された場合は、モニタ表示がアラーム録画設定されたカメラを単画面で2秒間隔にて自動切換表示します。（モニタ１、モニタ２の両方で表示します。）
- 画面左上に“アラーム”と表示され、ブザーが鳴動します。
  （メニュー画面の“ブザーの設定”（76 ページ）で、センサ/モーション検出時の設定が ON と設定した場合は、ブザーが鳴動します。「異常/ブザー停止」スイッチを押すと、ブザー停止します。）
- 画面表示（“アラーム”）は、アラーム録画時間（基本録画＋オフディレイ時間）の間は、表示が継続します。その間に画面表示を切換えたい場合は、「分割画面選択スイッチ」等を押してください。

＜生産完了 2009年01月01日＞
TSAM-R930 (28／93)

■録画について

- 本機には、ハードディスクが２つ内蔵されていて、映像と音声をデジタル記録できます。
- 録画設定は次の３種類があります。

録画の種類	内　容
通常録画	手動操作により録画を開始して手動操作で録画を停止するまで録画を行います。
タイマ録画	指定した日時や曜日にて自動的に録画を行います。
アラーム録画	センサ入力またはモーション検知により自動的に録画を行います。

- ハードディスク記録設定は次の４種類があります。

設定項目	内　容
上書録画	ハードディスク１台ずつに録画し、ハードディスクの空き容量がなくなった場合、最古データを消しながら録画します。
上書禁止録画	ハードディスク１台ずつに録画し、録画データを保存する為、ハードディスクの空き容量がなくなった場合録画を停止します。
上書ミラー録画	２台のハードディスクに同時に録画し、ハードディスクの空き容量がなくなった場合、最古データを消しながら録画します
上書禁止ミラー録画	２台のハードディスクに同時に録画し、録画データを保存する為、ハードディスクの空き容量がなくなった場合録画を停止します。

- 録画間隔（１秒あたりの録画コマ数）および画質レベルが設定できます。
  設定はそれぞれの録画設定手順（62~72 ページ）を参照してください。
- 録画設定による記録可能時間は別紙の記録可能時間目安表を参照してください。

ご注意

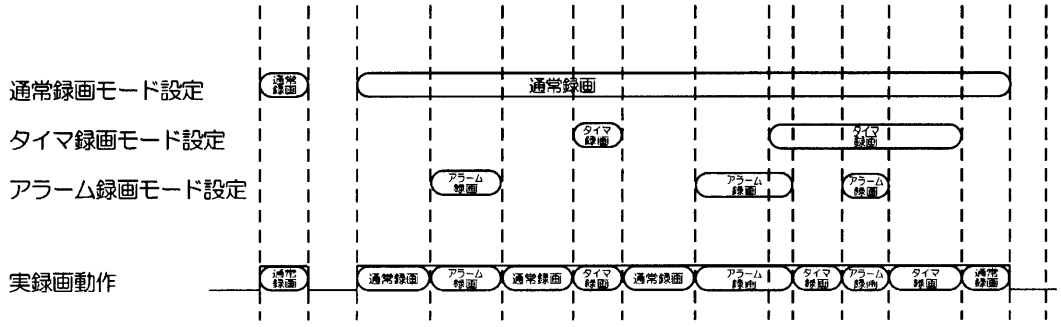
- 記録設定を変更する場合は、メニュー画面で設定します。“録画ハードディスクモード設定手順”（79 ページ）を参照してください。
- “特別保存”（40 ページ）する場合は、録画スタート前に必ず“特別保存設定”をメニュー画面で設定してください。（80 ページ）
- ミラー録画設定時、ハードディスク台数が奇数台の場合、最後の奇数番号のハードディスクには録画しません。

録画の優先について

３種類の録画モードがあります。
録画のモードが重なった場合は優先が高い録画モード設定で録画を行います。

優先	録画モード
1	アラーム録画
2	タイマ録画
3	通常録画

【録画の優先動作の例】



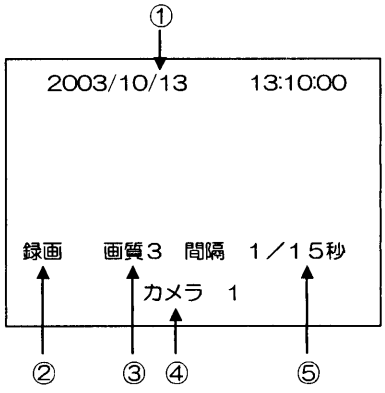
録画時のモニタ表示について

① 現在の日時を表示します。
② 録画モードを表示します。

モード	内　容
録画	通常録画中を表します。
アラーム録画	アラーム録画中を表します。
タイマ録画#	タイマ予約#の録画中を表します。

（#：タイマ録画設定番号が入ります）

③ 録画中の画質を表示します。
レベル１～レベル 10 の 10 段階を表示します。
④ カメラタイトルを表示します。
⑤ 録画間隔を表示します。
１／30 秒～60 秒の 14 段階を表示します。
※ 表示の内容は“画面表示設定”（59 ページ）にて変更できます。



録画のしかた

録画には、「通常録画」「タイマ録画」「アラーム録画」の３種類あります。

● 通常録画モード

通常録画モードは、手動操作により録画を開始し、手動操作で録画を停止するまで録画を行います。

[録画開始方法]
① 「通常録画」スイッチを押します。
② 通常録画スイッチのランプが点灯し、通常録画を開始します。

[録画停止方法]
① 「通常録画」スイッチを押しながら「停止」スイッチを押しします。
② 通常録画スイッチのランプが消灯し、通常録画を停止します。

ご注意
- 初めてご使用になられる場合は、通常録画用の設定を行ってください。（設定方法は 62～63 ページを参照）
- 通常録画中でもタイマ録画やアラーム録画が開始した場合タイマ録画または、アラーム録画に切換わり、一時的に通常録画を中断します。（タイマ録画、アラーム録画共に録画モードではなくなった場合通常録画を再開します）

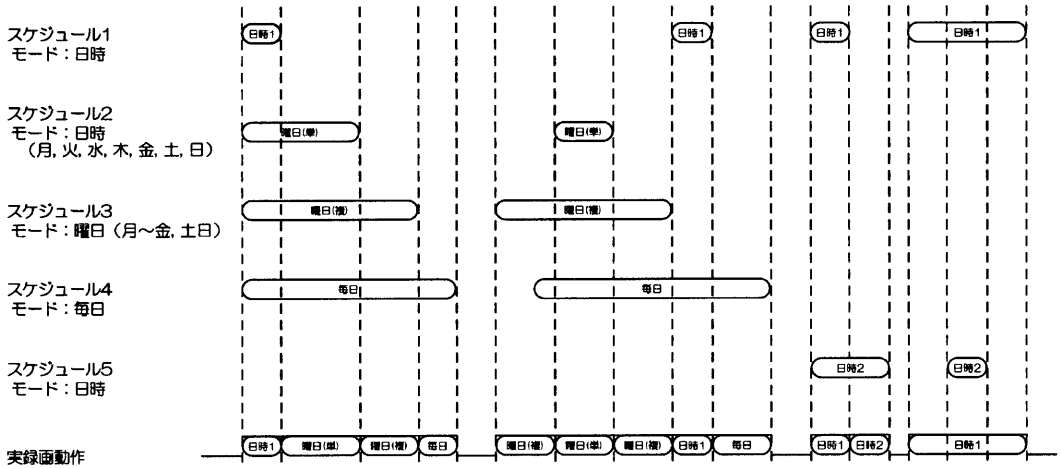
● タイマ録画モード

タイマ録画モードは、指定した日時や曜日にて自動的に録画を行います。
タイマ録画スケジュールは 10 パターン設定できます。
（タイマ録画条件は、5 パターン設定できます。）

[タイマ録画の優先度]

タイマ録画設定が重なった場合は優先度が高いタイマ録画の設定で録画を行います。
優先度が同じ場合は、スケジュール番号の小さいほうが優先度が高くなります。

優先度	タイマ録画モード
1	日時
2	曜日（月、火、水、木、金、土、日）
3	曜日（月～金、土日）
4	毎日



[タイマ録画開始方法]

タイマ録画設定にて指定した開始日時になると自動的にタイマ録画を開始します。

[タイマ録画停止方法]

タイマ録画設定にて指定した終了日時になると自動的にタイマ録画を停止します。

[タイマ録画の強制停止方法]

① 「タイマ録画」スイッチを押しながら、「停止」スイッチを押します。
② タイマ録画スイッチの上のランプが消灯し、タイマ録画を停止します。

[タイマ録画強制停止後、再度タイマ録画を開始する方法]

タイマ録画を強制停止した後でも、タイマ録画設定時間内であればタイマ録画を再開することができます。
① 「タイマ録画」スイッチを押します。
② タイマ録画スイッチのランプが点灯します。

ご注意

- 初めてご使用になられる場合は、タイマ録画用の設定を行ってください。（設定方法は 69～72 ページを参照）
- タイマ録画設定開始時間であってもアラーム録画中であればタイマ録画を開始しません。アラーム録画終了後、タイマ録画設定時間内であればタイマ録画を自動的に開始します。
- タイマ録画動作を OFF に設定している場合は、タイマ設定時間になっても録画を開始しません。
- タイマ録画中でもセンサ入力（又はモーション検知）があり、アラーム録画が有効になっている場合には、アラーム録画となります。アラーム録画終了後、タイマ録画設定時間内であればタイマ録画を自動的に開始します。

＜生産完了 2009年01月01日＞
TSAM-R930 (31／93)

● アラーム録画モード

アラーム録画モードは、センサ入力または、モーション検知設定条件に一致した場合録画を行います。

［アラーム録画開始方法］

アラーム録画設定にて設定した条件に一致した場合アラーム録画を開始します。

［アラーム録画停止方法］

アラーム録画設定にて設定した内容の録画を行った後、自動的にアラーム録画を停止しします。

［アラーム録画の強制停止方法］

① 「アラーム録画」スイッチを押しながら、「停止」スイッチ長押しします。
② アラーム録画スイッチのランプが消灯します。

ご注意

- アラーム録画用の設定をすることにより、センサ入力またはモーション検知によりアラーム録画を自動的に開始します。（設定方法は64～68ページを参照）
- センサ入力（又はモーション検知）があっても、アラーム動作をOFFに設定してある場合は、アラーム録画を行いません。
- センサ入力または、モーション検知は後入力優先です。

■ 検索について

検索方法は下記の下記の３種類あります。

① 日時検索　　：年、月、日、時、分、秒を指定して検索します。
② 録画開始サーチ　　：録画開始（通常録画、アラーム録画、タイマ録画）位置の検索を行います。
③ アラーム録画開始サーチ　　：アラーム録画開始位置の検索を行います。

検索のしかた

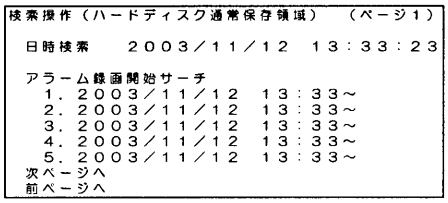
● 日時検索

指定した時刻の録画データがある場合　・・・　指定された時刻の録画映像が一時停止した状態で表示されます。

指定した時刻の録画データがない場合　・・・　指定した時刻よりも後の、もっとも近い時刻の録画映像が、一時停止した状態で表示されます。指定した時刻以降の、録画データがない場合は、エラーメッセージを表示して、検索画面に戻ります。

［日時検索の方法］

① 「検索」スイッチを押します。
② 検索画面が表示されます。
③ 「早送り」スイッチまたは、「早戻し」スイッチで検索対象を変更します。
（検索画面を押した直後の検索対象はハードディスク通常保存領域です）



検索対象	内　容
ハードディスク通常保存領域	録画データを検索する時に指定します。
ハードディスク特別保存領域	特別保存領域に保存した録画データを検索するときに指定します。

④ 「再生／▶」スイッチ「逆再生／◀」スイッチでカーソルを変更した項目に合わせます。
⑤ 「スキップ送り／▲」スイッチ「スキップ戻し／▼」スイッチで設定値を変更します。
同様にして、他の項目（年、月、日、時、分、秒）も変更できます。
⑥ 日時の設定を行ったら「文字表示／セット」スイッチを押して検索します。
指定した時刻があれば一時停止した状態で表示されますので、「一時停止」スイッチ、「再生」スイッチ、「逆再生」スイッチを押して再生してください。

※ 検索を中止する場合は「検索」スイッチで中止できます。

ご注意

- メニュー画面、保存画面、コンビネーションカメラ操作、ズーム時は操作できません。
- セレクタまたは、LAN 接続されたパソコンにて再生・保存している時は操作できません。

● 録画開始サーチ

録画開始サーチは再生モード時に行うことができます。
通常録画、タイマ録画、アラーム録画の録画開始を検索します。

録画開始位置がある場合　・・・　録画開始位置の録画映像が一時停止した状態で表示されます。
録画開始位置がない場合　・・・　エラーメッセージを５秒間表示し、現在の再生モードを継続します。

[再生位置より後の録画開始位置の検索方法]

① 再生中に「スキップ送り／▲」スイッチを押します。
② 再生位置から後ろの録画開始を検索し、開始位置がある場合は、録画開始位置で一時停止した状態で表示しますので、「再生」スイッチを押して再生してください。（録画開始位置がない場合は、現在の再生モードを継続します。）

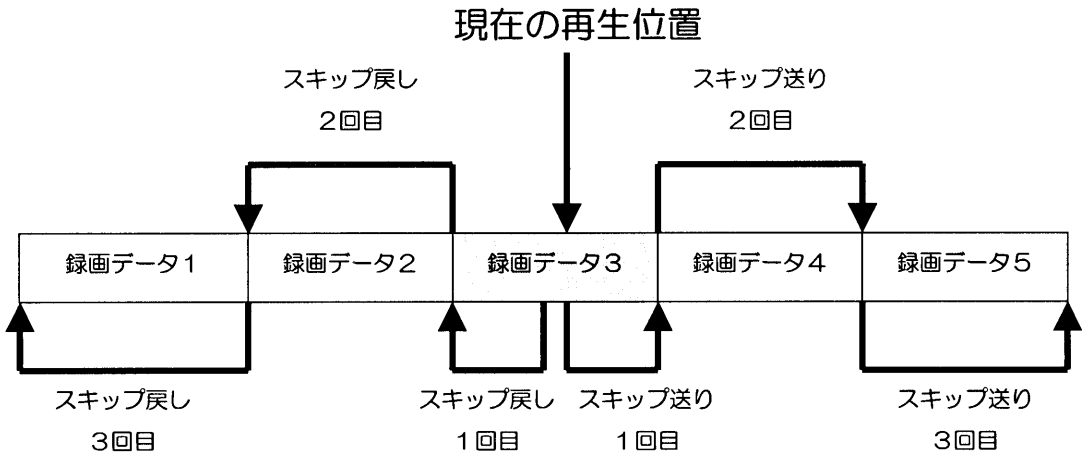
[再生位置より前の録画開始位置の検索方法]

① 再生中に「スキップ戻し／▼」スイッチを押します。
② 再生位置から前の録画開始を検索し、開始位置がある場合は、録画開始位置で一時停止した状態で表示しますので、「再生」スイッチまたは「一時停止」スイッチを押して再生してください。（録画開始位置がない場合は、現在の再生モードを継続します。）

ご注意

●再生モード時で、モニタ表示が再生選択中の場合に、スキップ送り、スキップ戻しの操作をすることができます。

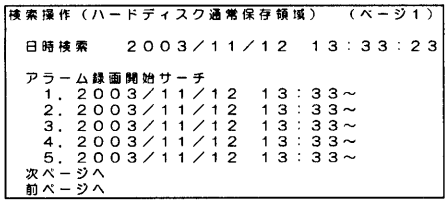
[録画開始サーチの説明図]



● アラーム録画開始サーチ

50 個前までのアラーム録画の開始位置を検索できます。

① 「検索」スイッチを押します。
② 検索画面が表示されます。
③ 「早送り」スイッチまたは、「早戻し」スイッチで検索対象を“ハードディスク通常保存領域”に変更します。
（検索画面を押した直後の検索対象はハードディスク通常保存領域ですので変更する必要はありません）



④ 「再生／▶」スイッチまたは、「逆再生／◀」スイッチでカーソルを移動します。アラーム録画開始番号を選び、「文字表示／セット」スイッチを押して検索します。
１～５以外の開始位置を検索する場合は「次ページ」または「前ページ」でページを変更し、再生したいアラーム録画開始番号を選び、「文字表示／セット」スイッチを押して検索します。アラーム録画開始位置で一時停止した状態で表示します。

※ 検索を中止する場合は「検索」スイッチで中止できます。

ご注意

- メニュー画面、保存画面、コンビネーション操作時、ズーム時は操作できません。
- セレクタまたは、LAN 接続されたパソコンにて再生・保存している時は操作できません。

■ 再生について

● 再生機能は録画機能と独立しているため、録画中でも記録データを再生することができます。

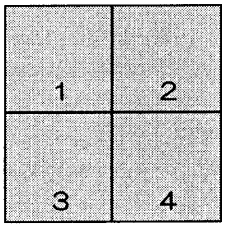
再生時の分割画面表示モードについて

再生表示モードは２種類あります。

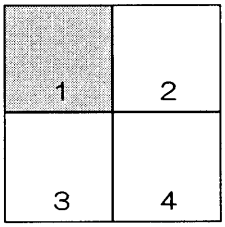
① 再生のみ表示モード　：再生モードの分割画面表示時にモニタ表示している全ての画面が再生映像になります。

② 再生・ライブ同時表示モード　：再生モードの分割画面表示時にモニタの左上１画面のみ再生映像、それ以外の画面はライブ画面となります。
※　単画面時は再生映像となります。

〔４分割時の例〕



再生のみ表示モード
（CH1, 2, 3, 4 再生映像）



再生・ライブ同時表示モード
（CH1 再生映像、CH2～4 はライブ画面）

● 再生表示モードの設定は、“再生設定手順”（72 ページ）を参照してください。

● 再生・ライブ同時表示モード時の、再生チャンネルの切換は特別な操作方法となります。
（その他の画面切換操作方法は、再生モードやライブ画面時に関係なく操作方法は同じです）

再生・ライブ同時表示モード時の表示について

再生・ライブ同時表示モードで分割画面表示の場合、再生しているチャンネルの切換方法

① 「再生選択」スイッチを３秒間長押しします。（再生選択ボタン点滅）

② 表示したいチャンネルのスイッチを押します。

③ 「再生選択」スイッチを３秒間長押しして元の状態に戻ります。（再生選択ボタン点灯）

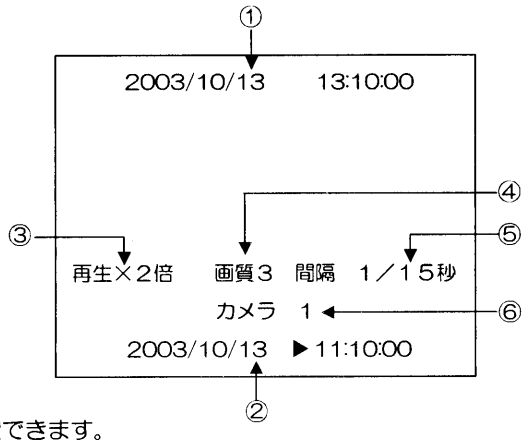
再生時の表示について

① 現在時刻を表示します。

② 再生時刻を表示します。

③ 再生モードを表示します。

表示内容	動　作
再生	再生中です。
逆再生	逆再生中です。
再生×ｎ倍	ｎ倍で早送り中です。
逆再生×ｎ倍	ｎ倍で早戻し中です。
一時停止	一時停止しています。



④ 再生している録画データの画質を表示します。
レベル１～レベル 10 の 10 段階です。

⑤ 再生している録画データの録画間隔を表示します。
※ 表示内容は “画面表示設定”（59 ページ）にて、設定できます。

⑥ カメラタイトル表示

再生開始のしかた

[検索画面からの再生の方法]

① 検索画面にて検索を行います。(“検索のしかた”33~35 ページ参照)
② 「再生」スイッチを押します。
③ 検索をした位置から再生を開始します。

[検索画面からの逆再生の方法]

① 検索画面にて検索を行います。(“検索のしかた”33~35 ページ参照)
② 「逆再生」スイッチを押します。
③ 検索をした位置から逆再生を開始します。

[最古データから再生する方法]

① 再生停止時に「再生」スイッチを押します。
② 最古データ位置から再生します。

[最新データから逆再生する方法]

① 再生停止時に「逆再生」スイッチを押します。
② 最新データ位置から逆再生します。

再生中の操作の仕方

[早送りの方法]

① 再生中に「早送り」スイッチを押します。
② 早送り中に「早送り」スィチを押すと倍速速度が変化します。
(→2倍→4倍→6倍→8倍→10 倍→12 倍→20 倍→24 倍→0.5 倍→)

[早戻しの方法]

① 逆再生中に「早戻し」スイッチを押します。
② 早戻し中に「早戻し」スィチを押すと倍速速度が変化します。
(→2倍→4倍→6倍→8倍→10 倍→12 倍→20 倍→24 倍→0.5 倍→)

[一時停止の方法]

① 再生、早送り、逆再生、早戻し中に「一時停止」スイッチを押します。
＊一時停止中に「一時停止」スイッチ、「再生」スイッチ、「逆再生」スイッチのどれかを押すと一時停止を解除します。

[コマ送りの方法]

① 一時停止中に「早送り」スイッチを押すとコマ送りとなります。

[コマ戻しの方法]

① 一時停止中に「早戻し」スイッチを押すとコマ戻しとなります。

ご注意

● メニュー画面、保存画面、検索画面、コンビネーションカメラ操作時、ズーム時は操作できません。

■ コンパクトフラッシュ静止画保存について

再生映像の単画面を静止画としてコンパクトフラッシュに保存できます。

● 初めに、コンパクトフラッシュを必ずフォーマットしてください。（“コンパクトフラッシュフォーマット操作手順”（82 ページ）参照）

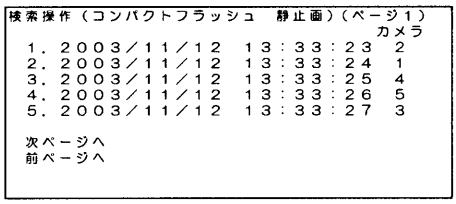
[静止画を保存する方法]

① コンパクトフラッシュをコンパクトフラッシュ挿入口に挿入します。
② 再生単画面表示とし、保存したい映像のときに一時停止します。
③ 「保存」スイッチを押します。
④ “保存しますか？”と表示されます。
⑤ 保存する場合は「はい」を選択して「文字表示/セット」スイッチを押します。
保存しない場合は「いいえ」を選択して「文字表示/セット」スイッチを押します。
※ファイル名は録画時の時刻となります。
※１回の保存で、TSAMssnn.jpg と TSAMssnn.tjp の２つのファイルが作成されます。
（ss＝秒、nn＝番号）

ご注意

●保存中はコンパクトフラッシュを絶対に抜かないでください。
保存中にコンパクトフラッシュが抜かれた場合、コンパクトフラッシュ内のデータが破壊される恐れがあります。
●映像のみで、時刻等の文字表示は、保存できません。

[保存した静止画を本体でみる方法]

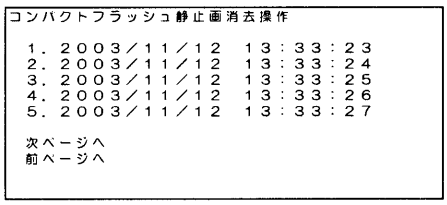


① コンパクトフラッシュが正しく装着されているか確認をします。
② 「検索」スイッチを押します。
③ 「早送り」スイッチまたは、「早戻し」スイッチで検索対象を“コンパクトフラッシュ　静止画”にします。
④ リストから見たい静止画のデータにカーソルを合わせ「セット」スイッチを押します。
⑤ 選択が正しければ、再度「セット」スイッチを押します。
静止画が単画面で表示されます。（「検索」スイッチのランプは点滅します。）
※静止画の単画面表示時はズーム操作が可能です。（それ以外の操作はできません）
※「検索」スイッチを押すと検索画面に戻ります。
※最新の 100 個の映像を検索できます。

ご注意

TSAMssnn.jpg のファイルがあっても TSAMssnn.tjp のファイルがないと本体では映像をみることができません。パソコン等にて消去しないでください。

[保存した静止画を消去する方法]



① コンパクトフラッシュが正しく装着されているか確認をします。
② メニュー画面で“コンパクトフラッシュ静止画消去操作”画面を選択します。（81 ページ参照）
③ 消去対象にカーソルを合わせ、「文字表示/セット」スイッチを押します。
④ “消去しますか？”と表示されますので、消去する場合は「はい」を選択して「文字表示/セット」スイッチを押します。
消去しない場合は「いいえ」を選択して「文字表示/セット」スイッチを押します。
※最新の 100 個の映像に対して消去を行います。

ご注意

一回の消去で、TSAMssnn.jpg と TSAMssnn.tjp の２つのファイルが消去されます。

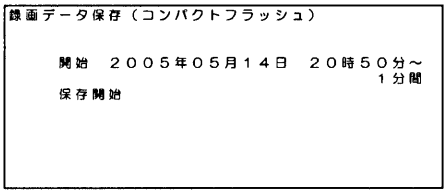
[パソコンで保存データを見る場合]

① 録画時の時刻のフォルダとファイル名で検索します。
TSAMyyyy（年）－TSAMmmdd（月日）－TSAMhhmm（時分）
├── TSAMssnn.jpg（秒、番号）
└── TSAMssnn.tjp（秒、番号）
② 拡張子が.jpg のファイルをダブルクリックしてください。

■ コンパクトフラッシュ動画保存について（本体では再生できません。）

- 通常保存領域の録画データを動画としてコンパクトフラッシュに保存できます。
  （特別保存領域の録画データは、コンパクトフラッシュ動画保存できません。）
- コンパクトフラッシュに保存した動画データは本体では再生できません。パソコンで別売のデジタルレコーダー用ソフト（TXU-CD1630）を使って再生できます。
- 初めに、コンパクトフラッシュを必ずフォーマットしてください。（“コンパクトフラッシュフォーマット操作手順”（82 ページ）参照）

［動画を保存する方法］

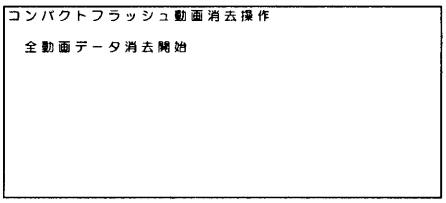


① コンパクトフラッシュをコンパクトフラッシュ挿入口に挿入します。
② 「保存」スイッチを約３秒間長押しします。
③ 「早送り」スイッチまたは、「早戻し」スイッチで保存対象を“コンパクトフラッシュ”に変更します。
④ 録画データの開始時間を設定します。
⑤ 開始時間から何分間保存するかを設定します。
（設定可能時間：１分～１０分）
⑥ “保存開始”にカーソルを合わせ「セット」スイッチを押します。
⑦ “保存しますか？”と表示されますので保存する場合は、再度「セット」スイッチを押します。
⑧ 保存する場合は“はい”を選択して「セット」スイッチを押します。
“いいえ”を選択した場合は、保存されません。
＊中止する場合は、「保存」スイッチを押します。

ご注意

- 保存中はコンパクトフラッシュを絶対に抜かないでください。
  保存中にコンパクトフラッシュが抜かれた場合、コンパクトフラッシュ内のデータが破壊される恐れがあります。
- 録画データの保存を開始してもコンパクトフラッシュの空容量がなくなった場合は、メッセージを表示し保存を中止します。

［保存した動画を全て消去する方法］



① コンパクトフラッシュが正しく装着されているか確認をします。
② メニュー画面で“コンパクトフラッシュ動画消去操作”画面を選択します。（81 ページ参照）
③ 消去対象にカーソルを合わせ、「文字表示/セット」スイッチを押します。
④ “消去しますか？”と表示されますので、消去する場合は「はい」を選択して「文字表示/セット」スイッチを押します。
消去しない場合は「いいえ」を選択して「文字表示/セット」スイッチを押します。

ご注意

- 保存した動画の一部分のみ消去することはできません。

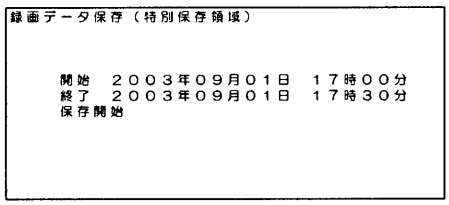
■ 特別保存について

ハードディスクモードが上書録画（上書ミラー録画含む）設定した場合で、ハードディスクの空領域がなくなった場合、上書き録画を行います。そこで、上書されたくない録画データを指定して他の領域に保存し、上書きせずに保存することができます。
指定した時間のみの録画データを上書きせずに特別に保存することができます。
（一時保存できる時間は、録画画質、録画間隔設定により変わります。）

ご注意

- 録画データを保存する前に必ず、特別保存領域設定を“ON”に設定しておいてください。（設定方法は 80 ページ参照）
- ハードディスク内の一部領域に保存するため、録画可能時間目安表より録画可能時間が少なくなります。
  （録画可能時間については、録画間隔、録画画質により異なります）

[録画データを特別保存する方法]

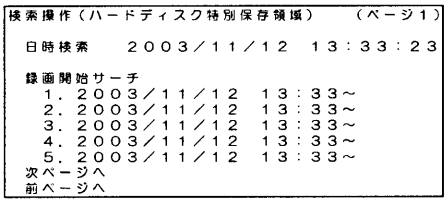


① 「保存」スイッチを約３秒間長押します。
② 「早送り」スイッチまたは、「早戻し」スイッチで保存対象を“特別保存領域”に変更します。
③ 録画データの開始時間を設定します。
④ 録画データの終了時間を設定します。
④ “保存開始”にカーソルを合わせ「セット」スイッチを押します。
⑤ “保存しますか？”と表示されますので保存する場合は、再度「セット」スイッチを押します。
⑥ 保存する場合は“はい”を選択して「セット」スイッチを押します。
“いいえ”を選択した場合は、保存されません。
＊中止する場合は、「保存」スイッチを押します。

ご注意

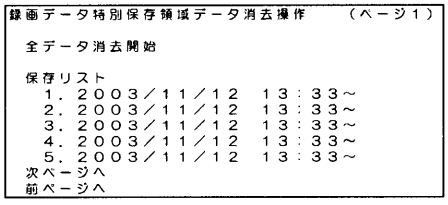
- 録画データの保存を開始しても特別保存領域の空容量がなくなった場合は、メッセージを表示し保存を中止します。

[特別保存した録画データを再生する方法]



① 「検索」スイッチを押します。
② 「早送り」スイッチまたは、「早戻し」スイッチで検索対象を“ハードディスク特別保存領域”に設定します。
③ 日時検索設定、または録画開始リストを選択し「セット」スイッチを押します。
④ 再生操作、画面切換等は通常の再生動作と同じです。

[特別保存した録画データを消去する方法]



- メニュー画面で“録画データ特別保存領域データ消去操作”によりブロック単位で録画データを消去します。（81 ページ参照）
  ① メニュー画面で、“録画データ特別保存領域消去操作”を選択します。
  ② 消去対象にカーソルを合わせ「文字表示／セット」スイッチを押します。
  ③ “消去しますか？”と表示されますので消去する場合は“はい”を選択して「セット」スイッチを押します。消去しない場合は“いいえ”を選択し「セット」スイッチをします。

＜生産完了 2009年01月01日＞
TSAM-R930 (40 / 93)

■コンビネーションカメラ操作について

●コンビネーションカメラを操作することができます。

[コンビネーションカメラ操作]

① ライブ画面にて操作したいコンビネーションカメラを単画面表示します。
② 「スキップ送り／▲」スイッチを押しながら、「スキップ戻し／▼」スイッチを約３秒間長押しします。
③ 操作できるスイッチが点灯し、モニタに“カメラ操作中”と表示されます。
各スイッチを押してカメラを操作してください。

[スイッチと動作説明]

スイッチ名称	動作説明
「スキップ送り／▲」	上
「スキップ戻し／▼」	下
「逆再生／◀」	左
「再生／▶」	右
「早戻し」	望遠
「早送り」	広角
「7」	絞り開
「8」	絞り閉
「9」	絞り自動
「1」～「6」	プリセット動作「1」～「6」

[プリセット登録方法]

① ライブ画面にてプリセット登録したいコンビネーションカメラを単画面表示します。
② 「スキップ送り／▲」スイッチを押しながら、「スキップ戻し／▼」スイッチを約３秒間長押しします。
③ カメラ位置をプリセット登録したい箇所に操作します。
④ 「セット」スイッチを押しながら、プリセット登録番号のスイッチを約３秒間長押しします。
（選択番号：1～6）

[コンビネーションカメラ操作終了]

① 「スキップ送り／▲」スイッチと、「スキップ戻し／▼」スイッチを約３秒間長押しします。
② 単画面表示に戻ります。

ご注意

●コンビネーションカメラ操作を行う前に必ず、“コンビネーションカメラ設定”にてカメラにID番号を設定しておいてください。（設定は76ページ参照）

プログラムのしかた

● 本機にはモニタ画面を見ながら、スイッチ操作によりプログラム設定する項目があります。

■ 設定の初期化

● 設定内容を出荷時の初期設定内容に戻したいときは、設定の初期化の操作をしてください。

設定内容の初期化のしかた

設定データリセットの方法は 78 ページを参照ください。

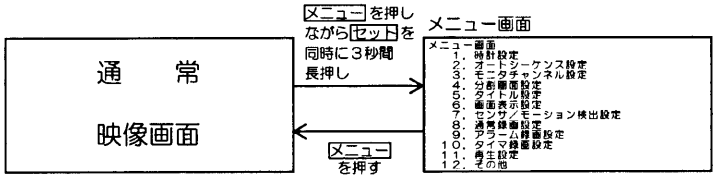
- データ設定画面内の設定項目内容は初期化されません。
- ハードディスク内の録画データは消去されません。（録画データの保護のため）
  ハードディスク内の録画データの初期化は“ハードディスクフォーマット操作手順”（82 ページ）を参照してください。
- LAN 設定は初期化されません。

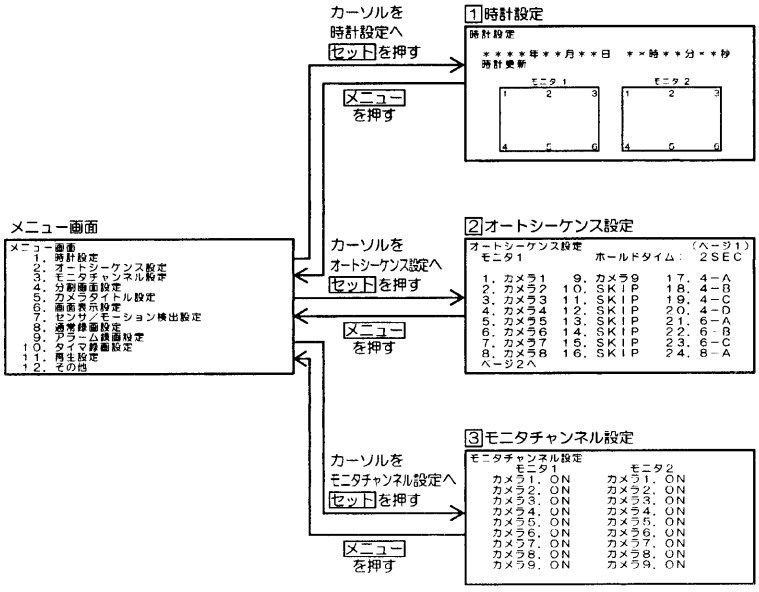
■ 画面選択の手順

通常動作状態の時、「メニュー」スイッチを押しながら、「文字表示／セット」スイッチを約３秒間長押しすると、下図のメインメニュー画面が表示されます。録画中は、センサ／モーション検出設定、通常録画設定、アラーム録画設定、タイマ録画設定、再生設定、設定データリセット、データ設定画面は選択できません。
パソコンログイン中は、ＬＡＮ設定、コンビネーションカメラ設定、設定データリセット、データ設定画面は変更できません。

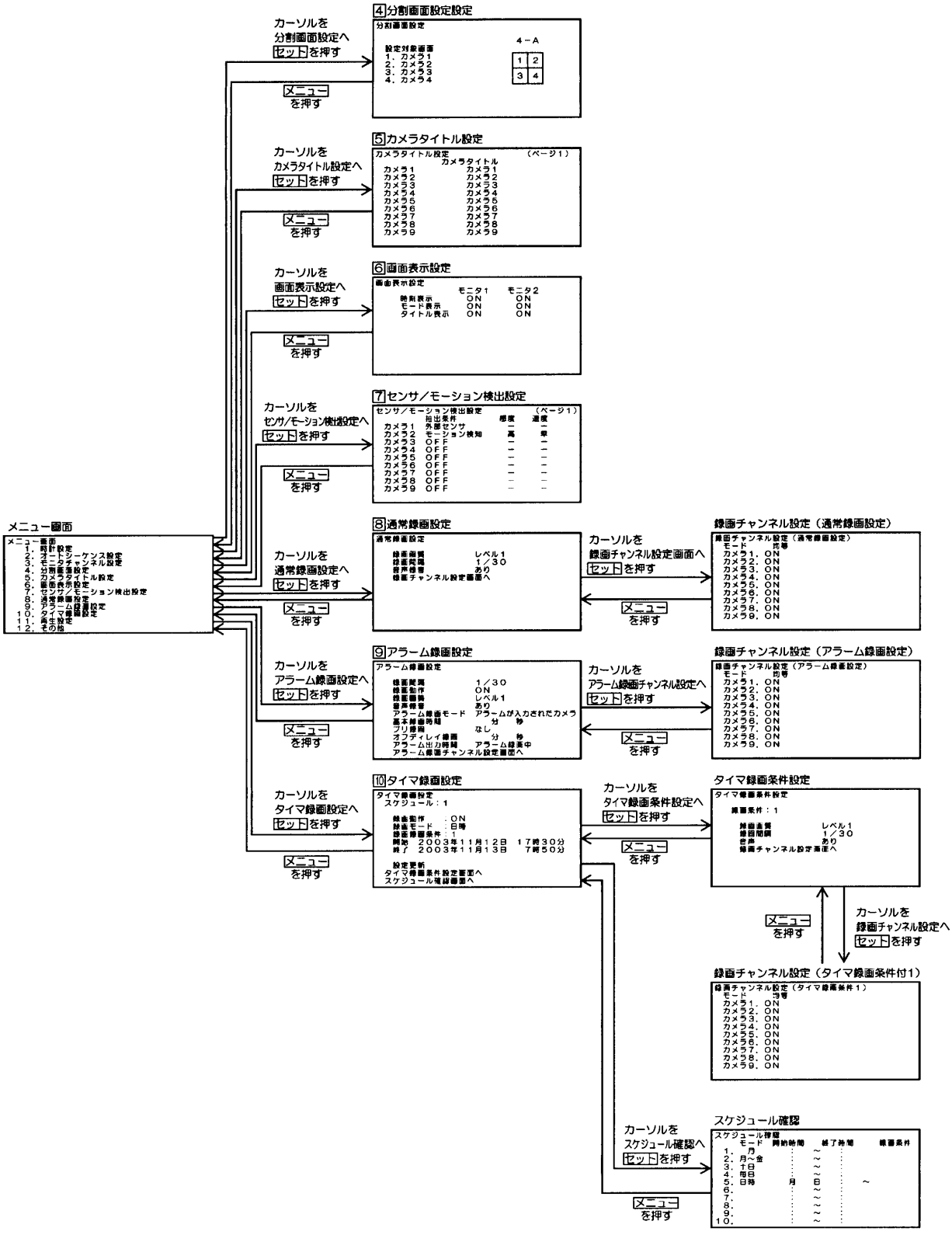
ご注意

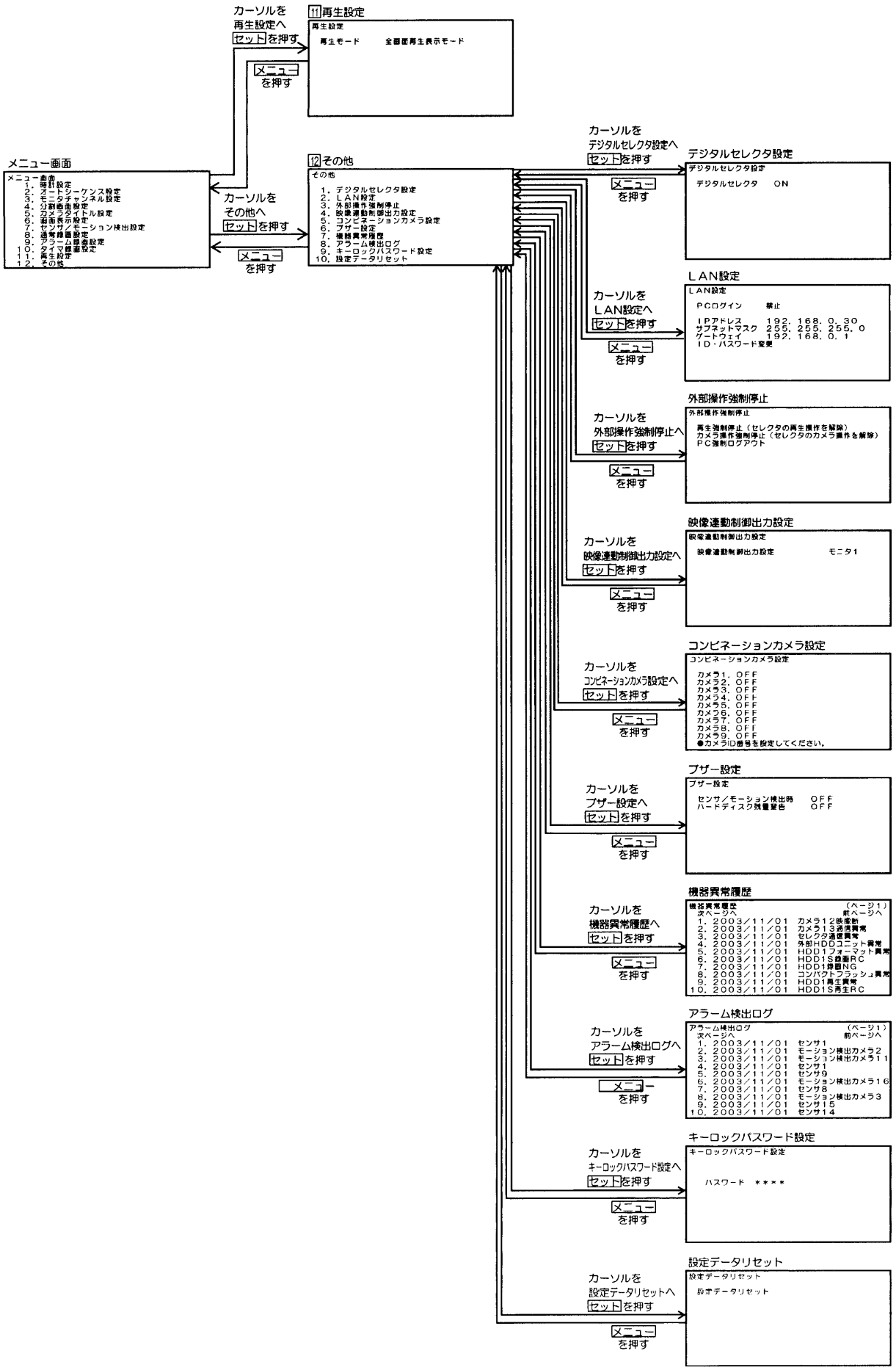
●再生動作中、保存動作中、カメラ操作中は、メニュー画面に入れません。
●設定中にアラーム録画またはタイマ録画の開始条件となっても設定変更中の為アラーム録画またはタイマ録画は行いません。

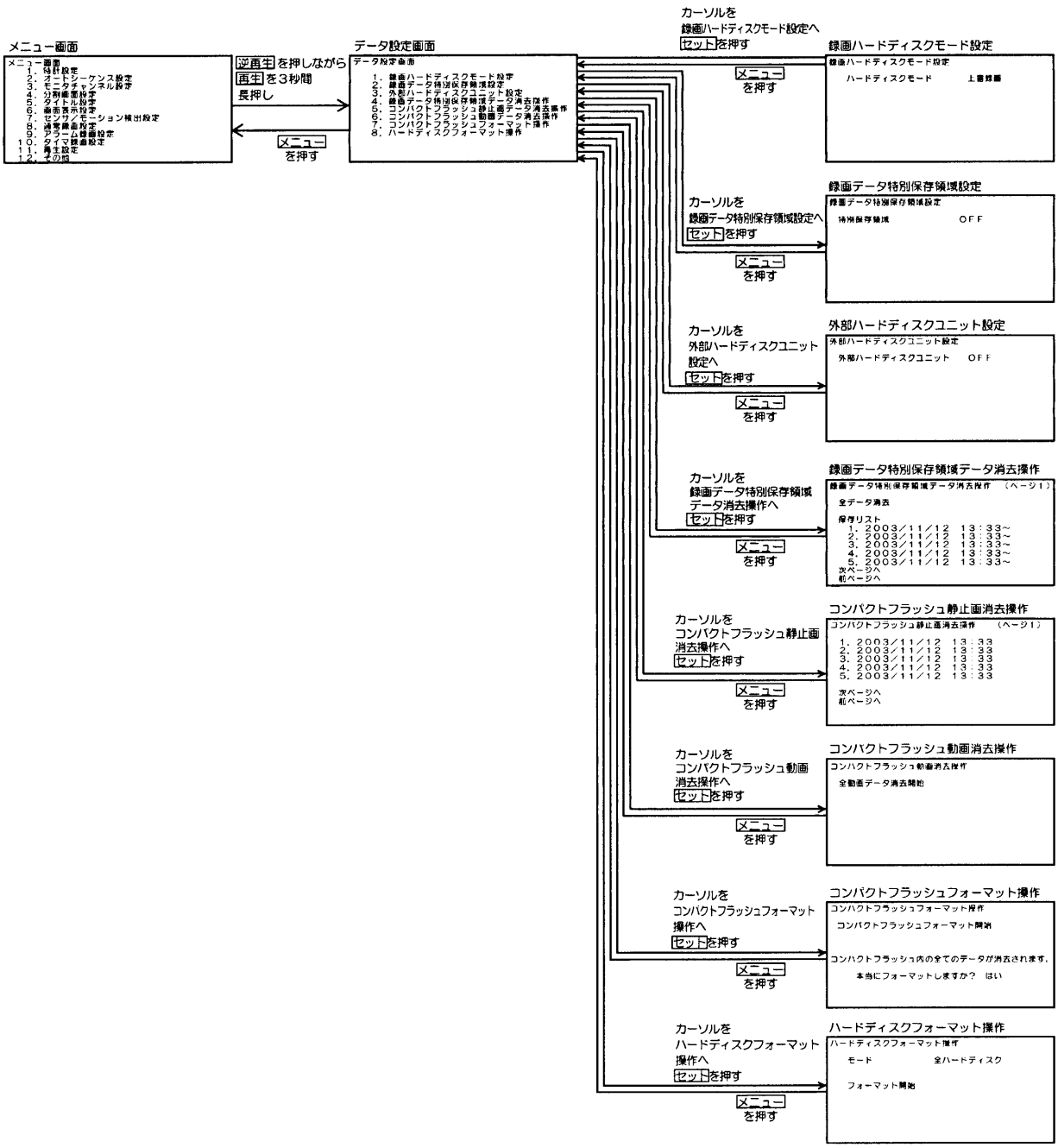




＜生産完了 2009年01月01日＞
TSAM-R930 (42／93)


4 分割画面設定設定
分割画面設定
設定対象画面
1．カメラ1
2．カメラ2
3．カメラ3
4．カメラ4
4－A
1 2
3 4
カーソルを
分割画面設定へ
セットを押す
メニュー
を押す
5 カメラタイトル設定
カメラタイトル設定 （ページ1）
カメラタイトル
カメラ1 カメラ1
カメラ2 カメラ2
カメラ3 カメラ3
カメラ4 カメラ4
カメラ5 カメラ5
カメラ6 カメラ6
カメラ7 カメラ7
カメラ8 カメラ8
カメラ9 カメラ9
カーソルを
カメラタイトル設定へ
セットを押す
メニュー
を押す
6 画面表示設定
画面表示設定
モニタ1 モニタ2
時刻表示 ON ON
モード表示 ON ON
タイトル表示 ON ON
カーソルを
画面表示設定へ
セットを押す
メニュー
を押す
7 センサ／モーション検出設定
センサ／モーション検出設定 （ページ1）
検出条件 感度 速度
カメラ1 外部センサ ― ―
カメラ2 モーション検知 高 早
カメラ3 OFF ― ―
カメラ4 OFF ― ―
カメラ5 OFF ― ―
カメラ6 OFF ― ―
カメラ7 OFF ― ―
カメラ8 OFF ― ―
カメラ9 OFF ― ―
カーソルを
センサ/モーション検出設定へ
セットを押す
メニュー
を押す
メニュー画面
メニュー画面
1．時計設定
2．オートシーケンス設定
3．モニタチャンネル設定
4．分割画面設定
5．カメラタイトル設定
6．画面表示設定
7．センサ／モーション検出設定
8．通常録画設定
9．アラーム録画設定
10．タイマ録画設定
11．色々設定
12．その他
8 通常録画設定
通常録画設定
録画画質 レベル1
録画間隔 1／30
音声録音 あり
録画チャンネル設定画面へ
カーソルを
通常録画設定へ
セットを押す
メニュー
を押す
録画チャンネル設定（通常録画設定）
録画チャンネル設定（通常録画設定）
モード 同等
カメラ1．ON
カメラ2．ON
カメラ3．ON
カメラ4．ON
カメラ5．ON
カメラ6．ON
カメラ7．ON
カメラ8．ON
カメラ9．ON
カーソルを
録画チャンネル設定画面へ
セットを押す
メニュー
を押す
9 アラーム録画設定
アラーム録画設定
録画間隔 1／30
録画動作 ON
録画画質 レベル1
音声録音 あり
アラーム録画モード アラームが入力されたカメラ
基本録画時間 分 秒
プリ録時 なし
オフディレイ録画 分 秒
アラーム出力時間 アラーム録画中
アラーム録画チャンネル設定画面へ
カーソルを
アラーム録画設定へ
セットを押す
メニュー
を押す
録画チャンネル設定（アラーム録画設定）
録画チャンネル設定（アラーム録画設定）
モード 同等
カメラ1．ON
カメラ2．ON
カメラ3．ON
カメラ4．ON
カメラ5．ON
カメラ6．ON
カメラ7．ON
カメラ8．ON
カメラ9．ON
カーソルを
アラーム録画チャンネル設定へ
セットを押す
メニュー
を押す
10 タイマ録画設定
タイマ録画設定
スケジュール：1
録画動作 ：ON
録画モード ：日毎
録画録画条件：1
開始 2003年11月12日 17時30分
終了 2003年11月13日 7時50分
設定変更
タイマ録画条件設定画面へ
スケジュール確認画面へ
カーソルを
タイマ録画設定へ
セットを押す
メニュー
を押す
タイマ録画条件設定
タイマ録画条件設定
録画条件：1
録画画質 レベル1
録画間隔 1／30
音声 あり
録画チャンネル設定画面へ
カーソルを
タイマ録画条件設定へ
セットを押す
メニュー
を押す
録画チャンネル設定（タイマ録画条件付1）
録画チャンネル設定（タイマ録画条件1）
モード 同等
カメラ1．ON
カメラ2．ON
カメラ3．ON
カメラ4．ON
カメラ5．ON
カメラ6．ON
カメラ7．ON
カメラ8．ON
カメラ9．ON
メニュー
を押す
カーソルを
録画チャンネル設定へ
セットを押す
スケジュール確認
スケジュール確認
モード 開始時間 終了時間 録画条件
1．月
2．月～金
3．1日
4．毎日
5．日時 月 ～
6．
7．
8．
9．
10．
カーソルを
スケジュール確認へ
セットを押す
メニュー
を押す


メニュー画面
メニュー画面
1. 時計設定
2. オートシーケンス設定
3. モニタチャンネル設定
4. 分割画面設定
5. カメラタイトル設定
6. 画面表示設定
7. センサ/モーション検出設定
8. 通常録画設定
9. アラーム録画設定
10. タイマ録画設定
11. 再生設定
12. その他
カーソルを
再生設定へ
セットを押す
メニュー
を押す
11 再生設定
再生設定
再生モード 全画面再生表示モード
カーソルを
その他へ
セットを押す
メニュー
を押す
12 その他
その他
1. デジタルセレクタ設定
2. LAN設定
3. 外部操作強制停止
4. 映像連動制御出力設定
5. コンビネーションカメラ設定
6. ブザー設定
7. 機器異常履歴
8. アラーム検出ログ
9. キーロックパスワード設定
10. 設定データリセット
カーソルを
デジタルセレクタ設定へ
セットを押す
メニュー
を押す
デジタルセレクタ設定
デジタルセレクタ設定
デジタルセレクタ ON
カーソルを
LAN設定へ
セットを押す
メニュー
を押す
LAN設定
LAN設定
PCログイン 禁止
IPアドレス 192. 168. 0. 30
サブネットマスク 255. 255. 255. 0
ゲートウェイ 192. 168. 0. 1
ID・パスワード変更
カーソルを
外部操作強制停止へ
セットを押す
メニュー
を押す
外部操作強制停止
外部操作強制停止
再生強制停止（セレクタの再生操作を解除）
カメラ操作強制停止（セレクタのカメラ操作を解除）
PC強制ログアウト
カーソルを
映像連動制御出力設定へ
セットを押す
メニュー
を押す
映像連動制御出力設定
映像連動制御出力設定
映像連動制御出力設定 モニタ1
カーソルを
コンビネーションカメラ設定へ
セットを押す
メニュー
を押す
コンビネーションカメラ設定
コンビネーションカメラ設定
カメラ1. OFF
カメラ2. OFF
カメラ3. OFF
カメラ4. OFF
カメラ5. OFF
カメラ6. OFF
カメラ7. OFF
カメラ8. OFF
カメラ9. OFF
●カメラID番号を設定してください。
カーソルを
ブザー設定へ
セットを押す
メニュー
を押す
ブザー設定
ブザー設定
センサ/モーション検出時 OFF
ハードディスク残量警告 OFF
カーソルを
機器異常履歴へ
セットを押す
メニュー
を押す
機器異常履歴
機器異常履歴 （ページ1）
次ページへ 前ページへ
1. 2003/11/01 カメラ12映像断
2. 2003/11/01 カメラ13通信異常
3. 2003/11/01 セレクタ通信異常
4. 2003/11/01 外部HDDユニット異常
5. 2003/11/01 HDD1フォーマット異常
6. 2003/11/01 HDD1S録画RC
7. 2003/11/01 HDD1録画NG
8. 2003/11/01 コンパクトフラッシュ異常
9. 2003/11/01 HDD1再生異常
10. 2003/11/01 HDD1S再生RC
カーソルを
アラーム検出ログへ
セットを押す
メニュー
を押す
アラーム検出ログ
アラーム検出ログ （ページ1）
次ページへ 前ページへ
1. 2003/11/01 センサ1
2. 2003/11/01 モーション検出カメラ2
3. 2003/11/01 モーション検出カメラ11
4. 2003/11/01 センサ1
5. 2003/11/01 センサ9
6. 2003/11/01 モーション検出カメラ16
7. 2003/11/01 センサ8
8. 2003/11/01 モーション検出カメラ3
9. 2003/11/01 センサ15
10. 2003/11/01 センサ14
カーソルを
キーロックパスワード設定へ
セットを押す
メニュー
を押す
キーロックパスワード設定
キーロックパスワード設定
パスワード ****
カーソルを
設定データリセットへ
セットを押す
メニュー
を押す
設定データリセット
設定データリセット
設定データリセット


メニュー画面
メニュー画面
1. 時計設定
2. ゲートシーケンス設定
3. モニターチャンネル設定
4. 分割画面設定
5. タイトル設定
6. 画面表示設定
7. センサー/モーション検出設定
8. 通常録画設定
9. アラーム録画設定
10. タイマ録画設定
11. 再生設定
12. その他
逆再生を押しながら
再生を3秒間
長押し
メニュー
を押す
データ設定画面
データ設定画面
1. 録画ハードディスクモード設定
2. 録画データ特別保存領域設定
3. 外部ハードディスクユニット設定
4. 録画データ特別保存領域データ消去操作
5. コンパクトフラッシュ静止画データ消去操作
6. コンパクトフラッシュ動画データ消去操作
7. コンパクトフラッシュフォーマット操作
8. ハードディスクフォーマット操作
カーソルを
録画ハードディスクモード設定へ
セットを押す
録画ハードディスクモード設定
メニュー
を押す
録画ハードディスクモード設定
ハードディスクモード 上書録画
カーソルを
録画データ特別保存領域設定へ
セットを押す
録画データ特別保存領域設定
メニュー
を押す
録画データ特別保存領域設定
特別保存領域 OFF
カーソルを
外部ハードディスクユニット
設定へ
セットを押す
外部ハードディスクユニット設定
メニュー
を押す
外部ハードディスクユニット設定
外部ハードディスクユニット OFF
カーソルを
録画データ特別保存領域
データ消去操作へ
セットを押す
録画データ特別保存領域データ消去操作
メニュー
を押す
録画データ特別保存領域データ消去操作 (ページ1)
全データ消去
保存リスト
1. 2003/11/12 13:33~
2. 2003/11/12 13:33~
3. 2003/11/12 13:33~
4. 2003/11/12 13:33~
5. 2003/11/12 13:33~
次ページへ
前ページへ
カーソルを
コンパクトフラッシュ静止画
消去操作へ
セットを押す
コンパクトフラッシュ静止画消去操作
メニュー
を押す
コンパクトフラッシュ静止画消去操作 (ページ1)
1. 2003/11/12 13:33
2. 2003/11/12 13:33
3. 2003/11/12 13:33
4. 2003/11/12 13:33
5. 2003/11/12 13:33
次ページへ
前ページへ
カーソルを
コンパクトフラッシュ動画
消去操作へ
セットを押す
コンパクトフラッシュ動画消去操作
メニュー
を押す
コンパクトフラッシュ動画消去操作
全動画データ消去開始
カーソルを
コンパクトフラッシュフォーマット
操作へ
セットを押す
コンパクトフラッシュフォーマット操作
メニュー
を押す
コンパクトフラッシュフォーマット操作
コンパクトフラッシュフォーマット開始
コンパクトフラッシュ内の全てのデータが消去されます.
本当にフォーマットしますか? はい
カーソルを
ハードディスクフォーマット
操作へ
セットを押す
ハードディスクフォーマット操作
メニュー
を押す
ハードディスクフォーマット操作
モード 全ハードディスク
フォーマット開始

■ プログラムの設定項目

● プログラムの設定項目と出荷時の初期設定は、プログラムの設定項目表（下表）のとおりです。

プログラムの設定項目表

1 時計設定

設 定 項 目	設 定 内 容	初期設定
〈1〉時刻設定	日付および、時刻を設定します。 年設定は 2000 年～2050 年まで設定可能です。 （“時計更新” ボタンを押すと設定値が確定します）	—
〈2〉時計表示位置	モニタ画面上の表示位置を６ヵ所から選択できます。 （モニタ１、モニタ２それぞれに対して設定できます。）	モニタ１：上部中央 モニタ２：上部中央

2 オートシーケンス設定

設 定 項 目	設 定 内 容	初期設定
〈1〉モニタ１	モニタ１の自動切換パターンを設定します。 ①ホールドタイム　：１秒～60 秒 ②設定可能画面　　：最大 34 ステップ設定可能 カメラ１～９の１画面 ４/６/８/ ９/１０分割画面	 ①２秒 ②４－A～４－C
〈1〉モニタ２	モニタ２の自動切換パターンを設定します。 ①ホールドタイム　：１秒～60 秒 ②設定可能画面　　：最大 34 ステップ設定可能 カメラ１～９の１画面 ４/６/８/ ９/１０分割画面	 ①２秒 ②４－A～４－C

3 モニタチャンネル設定

設 定 項 目	設 定 内 容	初期設定
〈1〉モニタ１	モニタ１に表示するカメラのチャンネルを設定します。 ON　：カメラ表示 OFF：カメラ未表示（グレー映像）	カメラ１～９：ON
〈2〉モニタ２	モニタ２に出画するカメラのチャンネルを設定します。 ON　：カメラ表示 OFF：カメラ未表示（グレー表示）	カメラ１～９：ON

4 分割画面設定

設定項目	設定内容	初期設定
〈1〉4分割画面	4分割画面に表示するカメラのチャンネルを設定します。	
	①4－A ：4－Aに表示するカメラを設定します。 カメラ1～9とOFFから選択します。	①1：カメラ1　2：カメラ2 3：カメラ3　4：カメラ4
	②4－B ：4－Bに表示するカメラを設定します。 カメラ1～9とOFFから選択します。	②1：カメラ5　2：カメラ6 3：カメラ7　4：カメラ8
	③4－C ：4－Cに表示するカメラを設定します。 カメラ1～9とOFFから選択します。	③1：カメラ9　2：OFF 3：OFF　4：OFF
	④4－D ：4－Dに表示するカメラを設定します。 カメラ1～9とOFFから選択します。	④1：OFF　2：OFF 3：OFF　4：OFF
〈2〉6分割画面	6分割画面に表示するカメラのチャンネルを設定します。	
	①6－A ：6－Aに表示するカメラを設定します。 カメラ1～9とOFFから選択します。	①1：カメラ1　2：カメラ2 3：カメラ3　4：カメラ4 5：カメラ5　6：カメラ6
	②6－B ：6－Bに表示するカメラを設定します。 カメラ1～9とOFFから選択します。	②1：カメラ7　2：カメラ8 3：カメラ9　4：OFF 5：OFF　6：OFF
	③6－C ：6－Cに表示するカメラを設定します。 カメラ1～9とOFFから選択します。	③1：OFF　2：OFF 3：OFF　4：OFF 5：OFF　6：OFF
〈3〉8分割画面	8分割画面に表示するカメラのチャンネルを設定します。	
	①8－A ：8－Aに表示するカメラを設定します。 カメラ1～9とOFFから選択します。	①1：カメラ1　2：カメラ2 3：カメラ3　4：カメラ4 5：カメラ5　6：カメラ6 7：カメラ7　8：カメラ8
	②8－B ：8－Bに表示するカメラを設定します。 カメラ1～9とOFFから選択します。	②1：カメラ9　2：OFF 3：OFF　4：OFF 5：OFF　6：OFF 7：OFF　8：OFF
	③8－C ：8－Cに表示するカメラを設定します。 カメラ1～9とOFFから選択します。	③1：OFF　2：OFF 3：OFF　4：OFF 5：OFF　6：OFF 7：OFF　8：OFF
〈4〉9分割画面	9分割画面に表示するカメラのチャンネルを設定します。	
	①9－A ：9－Aに表示するカメラを設定します。 カメラ1～9とOFFから選択します。	①1：カメラ1　2：カメラ2 3：カメラ3　4：カメラ4 5：カメラ5　6：カメラ6 7：カメラ7　8：カメラ8 9：カメラ9
	②9－B ：9－Bに表示するカメラを設定します。 カメラ1～9とOFFから選択します。	②1：OFF　2：OFF 3：OFF　4：OFF 5：OFF　6：OFF 7：OFF　8：OFF 9：OFF
	③9－C ：9－Cに表示するカメラを設定します。 カメラ1～9とOFFから選択します。	③1：OFF　2：OFF 3：OFF　4：OFF 5：OFF　6：OFF 7：OFF　8：OFF 9：OFF

設 定 項 目	設 定 内 容	初期設定
〈5〉10分割画面	10分割画面に表示するカメラのチャンネルを設定します。	
	①10−A ：10−Aに表示するカメラを設定します。 カメラ1〜9とOFFから選択します。	①1：カメラ1　2：カメラ2 3：カメラ3　4：カメラ4 5：カメラ5　6：カメラ6 7：カメラ7　8：カメラ8 9：カメラ9　10：OFF
	②10−B ：10−Bに表示するカメラを設定します。 カメラ1〜9とOFFから選択します。	②1：OFF　2：OFF 3：OFF　4：OFF 5：OFF　6：OFF 7：OFF　8：OFF 9：OFF　10：OFF
	③10−C ：10−Cに表示するカメラを設定します。 カメラ1〜9とOFFから選択します。	③1：OFF　2：OFF 3：OFF　4：OFF 5：OFF　6：OFF 7：OFF　8：OFF 9：OFF　10：OFF
	④10−D ：10−Dに表示するカメラを設定します。 カメラ1〜9とOFFから選択します。	④1：OFF　2：OFF 3：OFF　4：OFF 5：OFF　6：OFF 7：OFF　8：OFF 9：OFF　10：OFF

5 カメラタイトル設定

設 定 項 目	設 定 内 容	初期設定
〈1〉カメラタイトル設定	単画面表示時の各カメラのタイトル表示を設定します。 設定可能文字：ひらがな、カタカナ、アルファベット、数字、記号 設定文字数 ：12文字	
	①カメラ1 ：カメラ1のタイトルを設定します。	①カメラ1
	②カメラ2 ：カメラ2のタイトルを設定します。	②カメラ2
	③カメラ3 ：カメラ3のタイトルを設定します。	③カメラ3
	④カメラ4 ：カメラ4のタイトルを設定します。	④カメラ4
	⑤カメラ5 ：カメラ5のタイトルを設定します。	⑤カメラ5
	⑥カメラ6 ：カメラ6のタイトルを設定します。	⑥カメラ6
	⑦カメラ7 ：カメラ7のタイトルを設定します。	⑦カメラ7
	⑧カメラ8 ：カメラ8のタイトルを設定します。	⑧カメラ8
	⑨カメラ9 ：カメラ9のタイトルを設定します。	⑨カメラ9

6 文字表示設定

<table>
<tr><th>設 定 項 目</th><th>設 定 内 容</th><th>初期設定</th></tr>
<tr><td>〈1〉時刻表示設定</td><td>時刻の文字を表示/非表示を設定します。
<table><tr><th>設定</th><th>内 容</th></tr><tr><td>ON</td><td>時刻表示</td></tr><tr><td>OFF</td><td>時刻非表示</td></tr></table>＊ON 設定でもキー操作で文字表示消しを行った場合は一時的に時刻を非表示にします。</td><td>モニタ１：ON
モニタ２：ON</td></tr>
<tr><td>〈2〉モード表示設定</td><td>録画設定や再生時の再生速度の文字を表示/非表示を設定します。
<table><tr><th>設定</th><th>内 容</th></tr><tr><td>ON</td><td>モード表示</td></tr><tr><td>OFF</td><td>モード非表示</td></tr></table>＊ON 設定でもキー操作で文字表示消しを行った場合は一時的にモードを非表示にします。</td><td>モニタ１：ON
モニタ２：ON</td></tr>
<tr><td>〈3〉タイトル表示設定</td><td>タイトルの文字を表示/非表示を設定します。
<table><tr><th>設定</th><th>内 容</th></tr><tr><td>ON</td><td>タイトル表示</td></tr><tr><td>OFF</td><td>タイトル非表示</td></tr></table>＊ON 設定でもキー操作で文字表示消しを行った場合は一時的にタイトルを非表示にします。</td><td>モニタ１：ON
モニタ２：ON</td></tr>
</table>

7 センサ/モーション検出設定

<table>
<tr><th>設 定 項 目</th><th>設 定 内 容</th><th>初期設定</th></tr>
<tr><td>〈1〉センサ/モーション検出設定</td><td>センサ/モーション検出の設定します。
①検出条件：
<table><tr><th>設定項目</th><th>内 容</th></tr><tr><td>OFF</td><td>センサ/モーション検出を行わない。</td></tr><tr><td>外部センサ</td><td>センサ入力があった場合検出します。
（背面のセンサ入力により検出）</td></tr><tr><td>モーション検知</td><td>モーション検知により検出します。
（映像の変化により検出）</td></tr></table>②感度：明るさの変化のレベルに対する検出設定です。
<table><tr><th>設定項目</th><th>内 容</th></tr><tr><td>低</td><td>明るさの感度を低くします。</td></tr><tr><td>普</td><td>明るさの感度の基準です。
（通常は普を選択してください）</td></tr><tr><td>高</td><td>明るさの感度を高くします。</td></tr></table>＊感度設定は検出条件がモーション検知時のみ設定可能です。
③速度：変化の速度に対しての検出設定です。
<table><tr><th>設定項目</th><th>内 容</th></tr><tr><td>遅</td><td>変化の検出速度を遅くします。
この設定により、変化の速い動きに対して検出を行いません。</td></tr><tr><td>普</td><td>変化の検出速度の基準です。
（通常は普を選択してください）</td></tr><tr><td>速</td><td>変化の検出速度を速くします。
この設定により、変化の速い動きに対して検出を行います。</td></tr></table>＊速度設定は検出条件がモーション検知時のみ設定可能です。</td><td>カメラ 1～9：OFF</td></tr>
</table>

8 通常録画設定

<table>
<tr><th>設 定 項 目</th><th>設 定 内 容</th><th>初期設定</th></tr>
<tr><td>〈1〉録画画質</td><td>通常録画時の録画画質レベルを10段階で設定します。
（レベル1、レベル2、レベル3、レベル4、レベル5、レベル6、
レベル7、レベル8、レベル9、レベル10）</td><td>レベル2</td></tr>
<tr><td>〈2〉録画間隔</td><td>通常録画時の録画間隔を14段階で設定します。
（1／30秒、1／15秒、1／10秒、1／5秒、1／3秒、1／2秒、
1秒、2秒、3秒、5秒、10秒、20秒、30秒、60秒）</td><td>1／15</td></tr>
<tr><td>〈3〉音声録音</td><td>通常録画時の音声録音の設定します。
あり　：音声録音あり
なし　：音声録音なし</td><td>あり</td></tr>
<tr><td>〈4〉録画チャンネル
設定</td><td>通常録画時の録画モードと録画チャンネルを設定します。
①モード：均等録画か割合録画を設定します。
<table><tr><th>モード</th><th>内　容</th></tr><tr><td>均等</td><td>録画チャンネルがONになっている
カメラを順に録画します。</td></tr><tr><td>割合</td><td>30枚にたいして、各カメラを何枚
録画するか設定します。</td></tr></table>②録画チャンネル（各カメラに対して設定します）
<table><tr><th>設定項目</th><th>内　容</th></tr><tr><td>OFF</td><td>録画を行いません</td></tr><tr><td>ON</td><td>録画を行います</td></tr><tr><td>1～30</td><td>カメラに対しての録画枚数を設定します。
（モードが割合設定時のみ）</td></tr></table>ご注意
割合録画設定した場合は、1つのカメラが等間隔で録画されない場合があります。</td><td>①均等

②カメラ1～9：ON</td></tr>
</table>

9 アラーム録画設定

<table>
<tr><th>設 定 項 目</th><th>設 定 内 容</th><th>初期設定</th></tr>
<tr><td>〈1〉アラーム録画動作</td><td>アラーム録画全体の動作の有効／無効を設定します。
ON　：アラーム録画動作有効
OFF　：アラーム録画動作無効</td><td>OFF</td></tr>
<tr><td>〈2〉録画画質</td><td>アラーム録画時の録画画質レベルを10段階で設定します。
（レベル1、レベル2、レベル3、レベル4、レベル5、レベル6、
レベル7、レベル8、レベル9、レベル10）</td><td>レベル1</td></tr>
<tr><td>〈3〉録画間隔</td><td>アラーム録画時の録画間隔を7段階で設定します。
（1／30秒、1／15秒、1／10秒、1／5秒、1／3秒、
1／2秒、1秒）</td><td>1／30</td></tr>
<tr><td>〈4〉音声録音</td><td>アラーム録画時の音声録音の設定します。
あり　：音声録音あり
なし　：音声録音なし</td><td>あり</td></tr>
<tr><td>〈5〉アラーム録画
モード</td><td>録画モードを設定します。
<table><tr><th>録画モード</th><th>内　容</th></tr><tr><td>全カメラ</td><td>センサ・モーションディ
テクタ検出時、アラーム録画チャンネルで設定した全カメラを録画します。</td></tr><tr><td>アラームが入力
されたカメラ</td><td>アラームを検知した全てのカメラを録画します。</td></tr><tr><td>最新のアラーム
カメラ</td><td>最新のアラームを検知したカメラのみ録画。</td></tr></table></td><td>アラームが入力された
カメラ</td></tr>
</table>

<table>
<tr>
<td>〈6〉基本録画時間</td>
<td>基本の録画時間を設定します。
<table>
<tr><th>設定項目</th><th>内　容</th></tr>
<tr><td>センサ検出中</td><td>センサ検出中のみ録画</td></tr>
<tr><td>1秒～30分</td><td>センサ入力後指定時間録画します。</td></tr>
</table>
</td>
<td>センサ検出中</td>
</tr>
<tr>
<td>〈7〉プリ録画</td>
<td>プリ録画の設定を行います。
<table>
<tr><th>設定項目</th><th>内　容</th></tr>
<tr><td>OFF</td><td>プリ録画を行いません。</td></tr>
<tr><td>1秒～30秒</td><td>センサ検出以前の指定時間
（1秒～30秒）録画します。</td></tr>
</table>
ご注意

プリ録画中は、録画モード設定に関係なく全カメラモードにて録画されます。（センサ/モーション検出後は、録画モード設定にて録画されます。）
録画動作中のセンサ/モーション検出時は、プリ録画動作しません。（プリ録画OFFのアラーム録画設定で動作します。）

</td>
<td>OFF</td>
</tr>
<tr>
<td>〈8〉オフディレイ録画</td>
<td>オフディレイ録画の設定を行います。
<table>
<tr><th>設定項目</th><th>内　容</th></tr>
<tr><td>OFF</td><td>オフディレイ録画を行いません。</td></tr>
<tr><td>1秒～30分</td><td>基本録画終了後、指定時間
（1秒～30分）録画します。</td></tr>
</table>
</td>
<td>OFF</td>
</tr>
<tr>
<td>〈9〉アラーム出力時間</td>
<td>アラーム出力を設定します。
<table>
<tr><th>設定項目</th><th>内　容</th></tr>
<tr><td>OFF</td><td>アラーム出力を行いません。</td></tr>
<tr><td>アラーム録画中</td><td>アラーム録画中に出力します。</td></tr>
<tr><td>センサ入力中</td><td>センサ検出中に出力します。</td></tr>
<tr><td>1秒～30分</td><td>指定時間（1秒～30分）出力します。</td></tr>
</table>
</td>
<td>センサ入力中</td>
</tr>
<tr>
<td>〈10〉アラーム録画
チャンネル設定</td>
<td>アラーム録画時の録画チャンネルを設定します。
①モード：均等録画か割合録画を設定します。
<table>
<tr><th>モード</th><th>内　容</th></tr>
<tr><td>均等</td><td>録画チャンネルがONになっている
カメラを順に録画します。</td></tr>
<tr><td>割合</td><td>30枚に対して、各カメラを何枚
録画するか設定します。</td></tr>
</table>
②録画チャンネル（各カメラに対して設定します）
<table>
<tr><th>設定項目</th><th>内　容</th></tr>
<tr><td>OFF</td><td>録画を行いません</td></tr>
<tr><td>ON</td><td>録画を行います</td></tr>
<tr><td>1～30</td><td>カメラに対しての録画枚数を設定します。
（モードが割合設定時のみ）</td></tr>
</table>
ご注意

アラーム録画チャンネル設定は、アラーム録画モードが全カメラ設定のときのみ設定できます。
割合録画設定した場合は、1つのカメラが等間隔で録画されない場合があります。

</td>
<td>①均等

②カメラ1～9：ON</td>
</tr>
</table>

10 タイマ録画設定

<table>
<tr><th>設 定 項 目</th><th>設 定 内 容</th><th>初期設定</th></tr>
<tr><td>〈1〉スケジュール</td><td>タイマスケジュールを 10 個設定することができます。</td><td>—</td></tr>
<tr><td>〈2〉録画動作</td><td>スケジュール毎に録画動作の有効／無効を設定します。
<table><tr><th>設定項目</th><th>内 容</th></tr><tr><td>ON</td><td>スケジュール有効</td></tr><tr><td>OFF</td><td>スケジュール無効</td></tr></table></td><td>スケジュール
1～10：OFF</td></tr>
<tr><td>〈3〉録画モード</td><td>録画モードを設定します。
<table><tr><th>設定項目</th><th>内 容</th></tr><tr><td>日時</td><td>特定の日に対して設定</td></tr><tr><td>曜日（単数）</td><td>特定の曜日に対して設定</td></tr><tr><td>曜日（複数）</td><td>複数の曜日に対して設定（月～金、土日）</td></tr><tr><td>毎日</td><td>毎日の設定</td></tr></table></td><td>—</td></tr>
<tr><td>〈4〉録画条件</td><td>タイマ録画条件を 5 つまで設定でき、タイマ録画条件はそれぞれ設定ができます。
（タイマ録画条件 1 つに対する設定項目）
①録画画質 ：10 段階
（レベル 1、レベル 2、レベル 3、レベル 4、レベル 5、レベル 6、レベル 7、レベル 8、レベル 9、レベル 10）
②録画間隔 ：14 段階
（1／30 秒、1／15 秒、1／10 秒、1／5 秒、1／3 秒、1／2 秒、1 秒、2 秒、3 秒、5 秒、10 秒、20 秒、30 秒、1 分）
③録画チャネル
モード ： カメラ順に均等録画か割合録画を設定します。
<table><tr><th>モード</th><th>内 容</th></tr><tr><td>均等</td><td>録画チャンネルが ON になっているカメラを順に録画します。</td></tr><tr><td>割合</td><td>30 枚に対して、各カメラを何枚録画するか設定します。</td></tr></table>録画チャンネル（各カメラに対して設定します）
<table><tr><th>設定項目</th><th>内 容</th></tr><tr><td>OFF</td><td>録画を行いません</td></tr><tr><td>ON</td><td>録画を行います</td></tr><tr><td>1～30</td><td>カメラに対しての録画枚数を設定します。
（モードが割合設定時のみ）</td></tr></table>ご注意
割合録画設定した場合は、1 つのカメラが等間隔で録画されない場合があります。</td><td>タイマ録画条件 1～5
画質 ：レベル 1
間隔 ：1／15
録画チャンネル
モード ：割合
1～9 ：ON</td></tr>
<tr><td>〈5〉開始日時</td><td>タイマ録画の開始日時を設定します。
ご注意
● 録画モードが日時以外の場合は、時、分のみ設定可能です。
● 年設定は、2000 年～2050 年まで設定可能です。</td><td>—</td></tr>
<tr><td>〈6〉終了日時</td><td>タイマ録画の終了日時を設定します。
ご注意
● 録画モードが日時以外の場合は、時、分のみ設定可能です。
● 録画モードが日時以外のモードで終了時間を録画開始時間より前の時間に設定した場合、翌日の時間となります。
● 年設定は、2000 年～2050 年まで設定可能です。</td><td></td></tr>
<tr><td>〈7〉設定更新</td><td>上記〈1〉～〈6〉で設定した内容に更新します。
ご注意
● 設定更新しなかった場合は、設定内容が変更されません。</td><td></td></tr>
</table>

11 再生設定

設定項目	設定内容	初期設定
〈1〉再生モード	再生時のモニタ表示モードを設定できます。 再生のみ表示モード　：モニタに表示している全チャンネル再生映像となります。 再生・ライブ同時表示モード：１ヶ所（左上）のみ再生映像となり、それ以外はライブ映像をモニタに表示します。	再生のみ表示モード

12 その他

設定項目	設定内容	初期設定
〈1〉リモート設定	外部の通信の設定を行います。 ①デジタルセレクタ　：デジタルセレクタ（TRS−R1620）使用時に設定します。 設定 / 内容 OFF / デジタルセレクタを使用しないとき ON / デジタルセレクタ使用時	①OFF
〈2〉LAN設定	LANの設定を行います。 ①PCログイン　：PCログインを許可するか設定します。 ②IPアドレス設定　：IPアドレスを設定します。 ③サブネットマスク設定：サブネットマスク設定します。 ④ゲートウェイ設定　：ゲートウェイ設定します。 ⑤ID設定　：IDを設定します。 ⑥パスワード設定　：パスワードを設定します。	①禁止 ②192.168.0.3 ③255.255.255.0 ④192.168.0.1 ⑤TSAM ⑥1111
〈3〉外部操作強制停止	外部からの操作を解除します。 ①再生強制停止　：セレクタからの再生操作を解除します。 ②カメラ操作強制停止：セレクタからのカメラ操作を解除します。 ③PC強制ログアウト：全PCを強制的にログアウトします。（パソコンの保存・再生操作も停止します）	
〈4〉映像連動制御出力設定	映像連動出力の設定を行います。 モニタ１：モニタ１の映像に連動して出力します。 モニタ２：モニタ２の映像に連動して出力します。	モニタ１
〈5〉コンビネーションカメラ設定	コンビネーションカメラを制御する場合に設定を行います。 ID番号 / 内容 OFF / 制御しない場合 1〜223 / カメラ側で設定したID番号を設定します。	カメラ1〜9：OFF
〈6〉ブザー設定	ブザーのOFF／ONの設定を行います。 ①センサ／モーション検出時　：OFF／ON ②ハードディスク残量警告　：OFF／ON ご注意 ● 機器異常時等の場合はブザーが鳴動します。（ブザー鳴動条件は他にもあります）	①ON ②ON
〈7〉機器異常履歴	機器異常の履歴を表示します。	—
〈8〉アラーム検出ログ	アラーム検出ログを表示します。	—
〈9〉キーロックパスワード設定	キーロックのパスワードを設定します。	1111
〈10〉設定データリセット	設定データをリセットします。 ご注意 設定データリセットを行っても下記設定項目はリセットされません。 ● データ設定画面の全設定項目 ● 録画データ設定 ● LAN設定	—

データ設定画面の項目

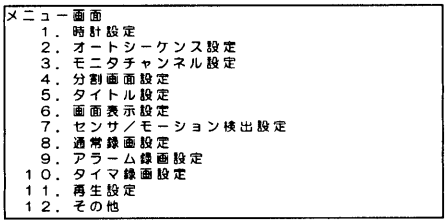
<table>
<tr><th>設 定 項 目</th><th>設 定 内 容</th><th>初期設定</th></tr>
<tr><td>〈1〉録画ハードディスクモード設定</td><td>録画ハードディスクモードの設定を行います。
<table><tr><th>設定項目</th><th>内　容</th></tr><tr><td>上書録画</td><td>ハードディスク 1 台ずつに録画し、ハードディスクの空き容量がなくなった場合、最古データを消しながら録画します。</td></tr><tr><td>上書禁止録画</td><td>ハードディスク1台ずつに録画し、録画データを保存する為、ハードディスクの空き容量がなくなった場合録画を停止します。</td></tr><tr><td>上書ミラー録画</td><td>2 台のハードディスクに同時に録画し、ハードディスクの空き容量がなくなった場合、最古データを消しながら録画します。</td></tr><tr><td>上書禁止ミラー録画</td><td>2 台のハードディスクに同時に録画し、録画データを保存する為、ハードディスクの空き容量がなくなった場合録画を停止します。</td></tr></table>ご注意
● 設定を変更すると録画のデータが消去されます。
（特別保存領域のデータも消去されます）</td><td>上書録画</td></tr>
<tr><td>〈2〉録画データ特別保存領域設定</td><td>録画データの一部をハードディスクに保存しておきたいときに設定します。
特別保存領域　　：ON／OFF
ご注意
● 設定を変更すると録画のデータが消去されます。
（特別保存領域のデータも消去されます）
● 録画データ特別保存領域を使用する場合、録画可能時間が短くなります。</td><td>OFF</td></tr>
<tr><td>〈3〉外部ハードディスクユニット設定</td><td>外部ハードディスクユニットの設定を行います。
<table><tr><th>設定</th><th>内　容</th></tr><tr><td>OFF</td><td>外部ハードディスクユニットを使用しない時</td></tr><tr><td>ON</td><td>外部ハードディスクユニットを使用する時</td></tr></table></td><td>OFF</td></tr>
<tr><td>〈4〉録画データ特別保存領域データ消去操作</td><td>特別保存領域内の一部または全データを消去します。</td><td></td></tr>
<tr><td>〈5〉コンパクトフラッシュ静止画消去操作</td><td>コンパクトフラッシュ内の静止画データの一部を消去します。</td><td></td></tr>
<tr><td>〈6〉コンパクトフラッシュ動画消去操作</td><td>コンパクトフラッシュ内の全動画データを消去します。</td><td></td></tr>
<tr><td>〈7〉コンパクトフラッシュフォーマット操作</td><td>コンパクトフラッシュをフォーマットします。
ご注意
● コンパクトフラッシュ内の全てのデータが消去されます。
● コンパクトフラッシュを本機で使用する場合は、必ず本機にてフォーマットを行ってください。
（フォーマット操作を行わないとコンパクトフラッシュ異常が表示される場合があります）</td><td></td></tr>
<tr><td>〈8〉ハードディスクフォーマット操作</td><td>ハードディスクをフォーマットします。
ご注意
● 指定したハードディスクの録画データが全て消去されます。（ハードディスク 1 を指定した場合、特別保存領域のデータも消去されます）
● ハードディスクを交換した場合は必ずこの操作を行ってください。</td><td></td></tr>
</table>

■ プログラムの設定のしかた

メニュー画面設定手順

〔メニュー画面表示方法〕

メニュースイッチを押しながらセットスイッチを３秒間長押しします。
メニュー画面となりますので、以下の設定方法に従って設定してください。

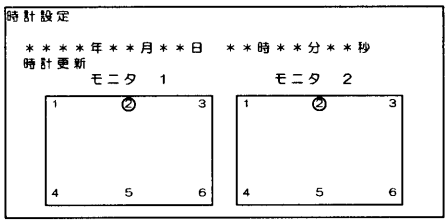


スイッチの名称

● 以下の手順では、各スイッチの名称を下記の通りとします。
「再生／▶」スイッチ → ▶、「スキップ送り／▲」スイッチ → ▲
「逆再生／▶」スイッチ → ▶、「スキップ戻し／▼」スイッチ → ▼
「文字表示／セット」スイッチ → セット、「メニュー」スイッチ
→ メニュー

1. 時計設定手順

時刻設定と、時計表示位置の設定を行います。
① ▼，▲スイッチを押してカーソルを“時計設定”の項に移動します。
② セットスイッチを押します。
※ メニュースイッチで、メインメニューに戻ります。



1-1 時計設定

日時を設定します。
① ▼，▲，◀，▶スイッチを押して変更したい箇所に移動し、セットスイッチを押します。
② ▼，▲スイッチを押して、現在の日時に変更し、セットスイッチを押します。他に変更したい箇所がありましたら、①に戻って変更してください。
③ “時計更新”にカーソルを合わしセットスイッチを押します。

ご注意
●時計更新にカーソルを合わせ、セットスイッチを押さなければ時計は変更されません。

1-2 時計表示位置設定

時計の表示位置を設定します。モニタ１、モニタ２それぞれ独立して設定できます。
① ▼，▲，◀，▶スイッチを押してカーソルを表示したい位置に移動しセットスイッチを押します。
・確定している場所の数字に○がつきます。

モニタ名	表示位置
モニタ１	６ヶ所の表示位置から選びます。
モニタ２	６ヶ所の表示位置から選びます。

※上記の手順でほかのモニタも設定します。

2. オートシーケンス設定手順

自動切替の設定を行います。

① ▼, ▲スイッチを押してカーソルを“オートシーケンス設定”の項に移動します。

② セットスイッチを押します。

※ メニュースイッチで、メインメニューに戻ります。

2-1 ホールドタイム設定

ホールドタイムを設定します。

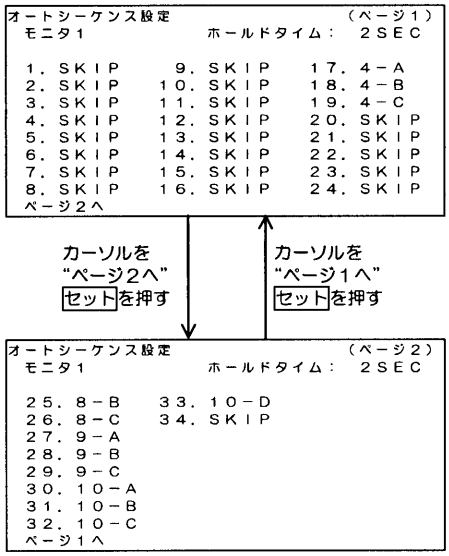
① ▼, ▲, ◀, ▶スイッチを押してカーソルを“モニタ１”の項に移動し、セットスイッチを押します。

② ▼, ▲スイッチでホールドタイムを変更するモニタを選択します。
（モニタ１または、モニタ２を選択してください）

③ セットスイッチを押します。

④ ▼, ▲, ◀, ▶スイッチを押してカーソルを“ホールドタイム”の項に移動し、セットスイッチを押します。

⑤ ▼, ▲でホールドタイムを変更し、セットスイッチを押します。
選択範囲：１秒～60 秒



2-2 出画画面設定

自動切替の出画画面を設定します。

ステップ数は 34 ステップです。（モニタ毎に独立）

① ▼, ▲, ◀, ▶スイッチを押してカーソルを“モニタ１”の項に移動し、セットスイッチを押します。

② ▼, ▲スイッチで出画画面を変更するモニタを選択します。
（モニタ１または、モニタ２を選択してください）

③ セットスイッチを押します。

④ ▼, ▲, ◀, ▶スイッチを押してカーソルを変更したいステップに移動し、セットスイッチを押します。

⑤ ▼, ▲で出画する画面を選択します。

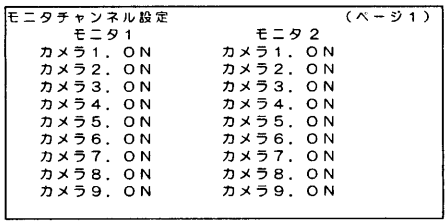
選択範囲	内　容
カメラn	カメラｎの１画面を出画します。（n＝１～9）
4－A～4－D	４分割画面を出画します。
6－A～6－C	６分割画面を出画します。
8－A～8－C	８分割画面を出画します。
9－A～9－C	９分割画面を出画します。
10－A～10－D	10 分割画面を出画します。
SKIP	飛び越し（出画なし）

ご注意

●モニタチャンネル設定にて出画オフしたカメラは選択しても映像は出画しません。

⑥ セットスイッチを押します。設定が確定します。
※上記手順を繰返し他のステップも設定します。

3. モニタチャンネル設定手順



モニタに出画するカメラの設定を行います。

① ▼，▲スイッチを押してカーソルを“モニタチャンネル設定”の項に移動します。

② セットスイッチを押します。

③ ▼，▲，◀，▶スイッチを押してカーソルを設定するチャンネルの項に移動し、セットスイッチを押します。

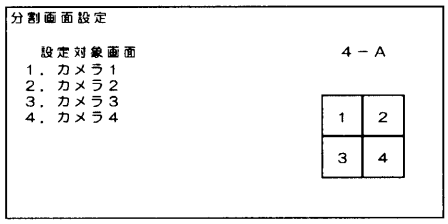
④ ▼，▲スイッチにて“ON”，“OFF”を選択し、セットスイッチを押します。

設定	内　容
ON	選択したカメラをモニタに出画します。
OFF	選択したカメラをモニタに出画しません。

※上記手順にてモニタ１、モニタ２の各カメラの設定をします。

※ メニュースイッチで、メインメニューに戻ります。

4. 分割画面設定手順



分割画面に対して出画するカメラの設定を行います。

① ▼，▲スイッチを押してカーソルを“分割画面設定”の項に移動します。

② セットスイッチを押します。

③ ▼，▲，◀，▶スイッチを押してカーソルを、設定対象画面の項に移動し、セットスイッチを押します。

④ ▼，▲スイッチにて変更したい分割画面を選択しセットスイッチを押します。

（選択範囲）

4−A～4−D
6−A～6−C
8−A～8−C
9−A～9−C
10−A～10−D

⑤ ▼，▲，◀，▶スイッチを押してカーソルを変更したいカメラの項に移動しセットスイッチを押します。

⑥ ▼，▲スイッチを押して表示したいカメラ（1～9）を選択しセットスイッチを押します。

※上記手順にて他の分割画面も同様に設定します。

※ メニュースイッチで、メインメニューに戻ります。

ご注意

- 分割画面の中のすべての画面にカメラ設定してない画面を設定した場合は、自動的にスキップされ、表示されません。
- １つの分割画面にて、同じカメラを２ヶ所設定することはできません。

5. カメラタイトル設定手順

単画面表示時、カメラタイトルの表示文字設定を行います。

① ▼，▲スイッチを押してカーソルを“カメラタイトル”の項に移動します。

② セットスイッチを押します。

※ メニュースイッチで、メインメニューに戻ります。

③ ▼，▲スイッチを押してカーソルを、変更するカメラのタイトル項に移動し、セットスイッチを押します。

（タイトル入力画面に移動します）

④ ◀，▶スイッチにて変更したい文字の位置に移動しセットスイッチを押します。選択文字が点滅し、カーソルが文字一覧に移動します。

⑤ ▼，▲，◀，▶スイッチを押してカーソルを設定する文字に移動し

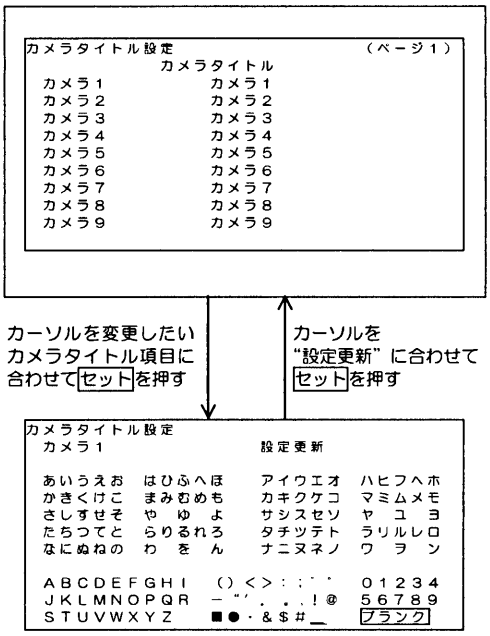
セットスイッチを押します。

※同様にして、カーソルを変更したい文字の位置に移動し、設定してください。

※12 文字まで設定可能です。その他の文字も上記手順にて設定を変更します。

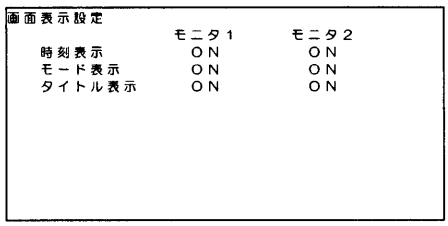
⑥ 全ての文字の変更が終了したら、▼，▲，◀，▶スイッチを押してカーソルを“設定更新”に移動しセットスイッチを押します。

※上記手順にて他のカメラのタイトルも変更します。



6. 画面表示設定手順

モニタに表示する項目の設定を行います。
画面表示設定にて“ON”設定にしても、セットスイッチを押すと一時的に文字表示をOFFします。



① ▼，▲スイッチを押してカーソルを“画面表示設定”の項に移動します。
② セットスイッチを押します。
※ メニュースイッチで、メインメニューに戻ります。

6-1 時刻表示設定

① ▼，▲，◀，▶スイッチを押してカーソルを、“時計表示設定”のモニタ１または、モニタ２の項に移動し、セットスイッチを押します。
② ▼，▲スイッチにて“ON”，“OFF”を選択し、セットスイッチを押します。

選択範囲	内　容
ON	現在時刻をモニタに表示します。
OFF	現在時刻をモニタに表示しません。

※モニタ１、モニタ２それぞれに設定することができます。

6-2 モード表示設定

① ▼，▲，◀，▶スイッチを押してカーソルを、“モード表示設定”のモニタ１または、モニタ２の項に移動し、セットスイッチを押します。
② ▼，▲スイッチにて“ON”，“OFF”を選択し、セットスイッチを押します。

選択範囲	内　容
ON	モードをモニタに表示します。
OFF	モードをモニタに表示しません。

※モニタ１、モニタ２それぞれに設定することができます。

6-3 タイトル表示設定

① ▼，▲，◀，▶スイッチを押してカーソルを、“タイトル表示設定”のモニタ１または、モニタ２の項に移動し、セットスイッチを押します。
② ▼，▲スイッチにて“ON”，“OFF”を選択し、セットスイッチを押します。

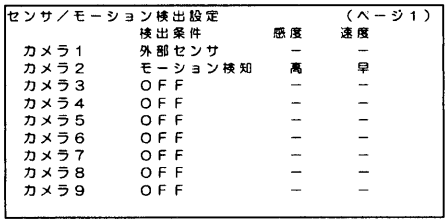
選択範囲	内　容
ON	タイトルをモニタに表示します。
OFF	タイトルをモニタに表示しません。

※モニタ１、モニタ２それぞれに設定することができます。

7.センサ／モーション検出設定手順

カメラ毎に外部センサ、またはモーション検知の設定を行うことができます。（ひとつのカメラに対して両方設定することはできません）

検出条件	内　容
OFF	センサ/モーション検出を行わない。
外部センサ	センサ入力があった場合検出します。 （背面のセンサ入力により検出）
モーション検知	モーション検知により検出します。 （映像の変化により検出）



センサ/モーション検出の設定します。

① ▼，▲スイッチを押してカーソルを“センサ／モーション検出設定”の項に移動します。
② セットスイッチを押します。
③ 設定画面となりますので、7-1～7-3を参考にして設定してください。
※ メニュースイッチで、メインメニューに戻ります。

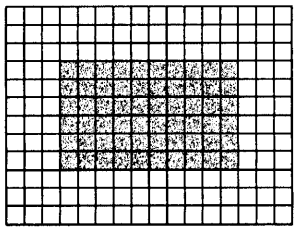
7-1 外部センサ／モーション検出を使用しない設定

① ▼，▲，◀，▶スイッチを押してカーソルを変更するカメラの検出条件に移動し、セットスイッチを押します。
② ▼，▲スイッチを押して検出条件を“OFF”に変更し、セットスイッチを押します。
※上記手順により他のカメラも設定を行います。

7-2 外部センサ設定

① ▼，▲，◀，▶スイッチを押してカーソルを変更するカメラの検出条件に移動し、セットスイッチを押します。
② ▼，▲スイッチを押して検出条件を“外部センサ”に変更し、セットスイッチを押します。
※上記手順により他のカメラも設定を行います。

7-3 モーション検出設定



① ▼，▲，◀，▶スイッチを押してカーソルを、変更するカメラの検出条件に移動し、セットスイッチを押します。

② ▼，▲スイッチを押して検出条件を“モーション検出”に変更しセットスイッチを押します。

③ 検出エリア設定画面が表示されますので ▼，▲，◀，▶スイッチを押してカーソルを、監視対象設定したいエリアに移動し、セットスイッチを押します。

エリア表示	内　容
無色（素通し）	監視対象無効設定エリア
黄色	監視対象設定エリア

※同様の操作を繰返し、検出エリア設定を行います。

※監視対象設定エリアを無効に設定したい場合は、監視対象設定エリアにて、セットスイッチを押し監視対象を無効に設定できます。（黄色から無色になります。）

④ 監視対象エリア設定が終了したらメニュースイッチを押します。
（センサ／モーション検出設定画面に戻ります）

⑤ ▼，▲スイッチを押してカーソルを感度設定の項に移動し、セットスイッチを押します。次に、▼，▲スイッチを押して感度を設定、セットスイッチを押します。
（感度は明るさの変化のレベルに対する検出設定です。）

選択範囲	内　容
低	明るさの感度を低くします。
普	明るさの感度の基準です。（通常は普を選択してください）
高	明るさの感度を高くします。

⑥ ▼，▲スイッチを押してカーソルを速度設定の項に移動し、セットスイッチを押します。次に、▼，▲スイッチを押して速度を設定し、セットスイッチを押します。
（速度は変化の速度に対しての検出設定です。）

選択範囲	内　容
遅	変化の検出速度を遅くします。 この設定により、変化の速い動きに対して検出を行いません。
普	変化の検出速度の基準です。（通常は普を選択してください）
速	変化の検出速度を速くします。 この設定により、変化の遅い動きに対して検出を行いません。

※上記手順により他のカメラも設定を行います。

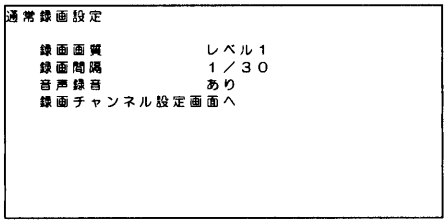
8. 通常録画設定手順

通常録画時の録画設定を行います。

① ▼，▲スイッチを押してカーソルを“通常録画設定”の項に移動します。

② セットスイッチを押します。

＊ メニュースイッチで、メインメニューに戻ります。



8－1 通常録画ー画質設定

通常録画時の画質を設定します。

① ▼，▲スイッチを押してカーソルを“録画画質”の項に移動し、セットスイッチを押します。

② ▼，▲スイッチにて、“レベル1”，“レベル2”，“レベル3”，“レベル4”，“レベル5”，“レベル6”，“レベル7”，“レベル8”，“レベル9”，“レベル10”の10段階の中から画質を選択し、セットスイッチを押します。（“レベル1”が最高画質です）

8－2 通常録画ー録画間隔設定

通常録画時の録画間隔を設定します。

① ▼，▲スイッチを押してカーソルを“録画間隔”の項に移動し、セットスイッチを押します。

② ▼，▲スイッチにて、“1／30秒”，“1／15秒”，“1／10秒”，“1／5秒”，“1／3秒”，“1／2秒”，“1秒”，“2秒”，“3秒”，“5秒”，“10秒”，“20秒”，“30秒”，“60秒”の14段階の中から録画間隔を選択し、セットスイッチを押します。

8－3 通常録画ー音声設定

通常録画時に録音のあり、なしを設定します。

① ▼，▲スイッチを押してカーソルを“音声録音”の項に移動し、セットスイッチを押します。

② ▼，▲スイッチにて、録画時の録音の“あり”，“なし”を選択しセットスイッチを押します。

8－4 通常録画ー録画チャンネル設定

通常録画時の録画チャンネル設定を行います。

① ▼，▲スイッチを押してカーソルを“録画チャンネル設定画面へ”の項に移動し、セットスイッチを押します。

※ メニュースイッチで、通常録画設定画面に戻ります。

② 録画チャンネルは2種類のモードがあります。8-4-1～8-4-2を参考にして、設定してください。

モード	内　容
均等	録画チャンネルがONになっているカメラを順に記録します。
割合	カメラの記録順の1パターンを30枚とし、30枚に対して各カメラを何枚記録するか設定します。（各カメラの枚数の合計は必ず30枚に設定してください）

8－4－1　通常録画ー録画チャンネル設定ー均等設定

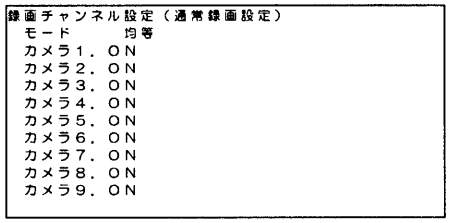
通常録画時の録画チャンネルの均等設定を行います。

① ▼，▲スイッチを押してカーソルを“モード”の項に移動し、セットスイッチを押します。

② ▼，▲スイッチにて、“均等”を選択し、セットスイッチを押します。

③ ▼，▲，◀，▶スイッチを押してカーソルを変更するカメラの項に移動し、セットスイッチを押します。

④ ▼，▲スイッチを押して、“ON”，“OFF”を選択し、セットスイッチを押します。



選択範囲	内　容
ON	録画を行います。
OFF	録画を行いません。

※同様の手順で他のカメラも設定を行います。

8－4－2　通常録画ー録画チャンネル設定ー割合設定

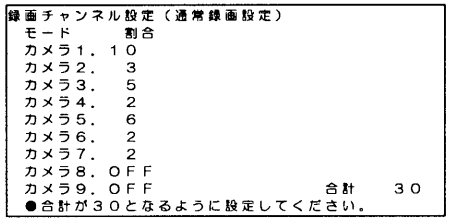
通常録画時の録画チャンネルの割合設定を行います。

① ▼，▲スイッチを押してカーソルを“モード”の項に移動し、セットスイッチを押します。

② ▼，▲スイッチにて、“割合”を選択しセットスイッチを押します。

③ ▼，▲，◀，▶スイッチを押してカーソルを変更するカメラの項に移動し、セットスイッチを押します。

④ ▼，▲スイッチにて、“OFF”または“1～30”を選択しセットスイッチを押します。割合の合計が 30 になるよう設定してください。



選択範囲	内　容
OFF	録画を行いません。
1～30	カメラに対しての録画枚数を設定します。

※同様の手順で他のカメラも設定を行います。

ご注意

●30 に設定していなければ、メニュースイッチを押しても録画設定画面に戻ることができません。

9. アラーム録画設定手順

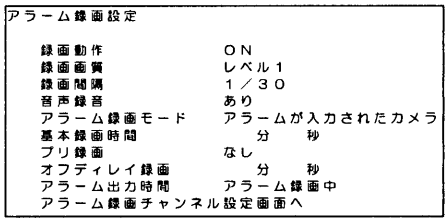
アラーム録画時の録画設定を行います。

① ▼，▲スイッチを押してカーソルを“アラーム録画設定”の項に移動します。
② セットスイッチを押します。
③ アラーム録画設定画面となりますので、9-1～9-10に従って設定してください。
※ メニュースイッチで、メインメニューに戻ります。

9－1 アラーム録画－録画動作設定

アラーム録画設定の有効か無効を設定します。

① ▼，▲スイッチを押してカーソルを“録画動作”の項に移動し、セットスイッチを押します。
② ▼，▲スイッチを押して、“ON”，“OFF”を選択し、セットスイッチを押します。



選択範囲	内 容
ON	アラーム録画設定有効
OFF	アラーム録画設定無効

ご注意

●アラーム録画設定を行っても、録画動作をOFFに設定しているとアラーム録画を行いません。

9－2 アラーム録画－画質設定

アラーム録画時の画質を設定します。

① ▼，▲スイッチを押してカーソルを“録画画質”の項に移動し、セットスイッチを押します。
② ▼，▲スイッチにて、“レベル１”，“レベル２”，“レベル３”，“レベル４”，“レベル５”，“レベル６”，“レベル７”，“レベル８”，“レベル９”，“レベル１０”の10段階の中から画質を選択し、セットスイッチを押します。（“レベル１”が最高画質です）

9－3 アラーム録画－録画間隔設定

アラーム録画時の録画間隔を設定します。

① ▼，▲スイッチを押してカーソルを“録画間隔”の項に移動し、セットスイッチを押します。
② ▼，▲スイッチにて、“1／30秒”，“1／15秒”，“1／10秒”，“1／5秒”，“1／3秒”，“1／2秒”，“1秒”の７段階の中から録画間隔を選択し、セットスイッチを押します。

9－4 アラーム録画－音声設定

アラーム録画時に録音のあり、なしを設定します。

① ▼，▲スイッチを押してカーソルを“音声録音”の項に移動し、セットスイッチを押します。
② ▼，▲スイッチにて、録画時の録音の“あり”，“なし”を選択しセットスイッチを押します。

＜生産完了 2009年01月01日＞
TSAM-R930 (64／93)

9−5 アラーム録画ーアラーム録画モード設定

アラーム録画時のアラーム録画モードを設定します。

① ▼，▲スイッチを押してカーソルを“アラーム録画モード”の項に移動し、セットスイッチを押します。

② ▼，▲スイッチにて、アラーム録画モードを選択しセットスイッチを押します。

選択範囲	内　容
全カメラ時	センサ／モーションディテクタ検出時、アラーム録画チャンネル設定内容にて全カメラを録画します。
アラームが入力されたカメラ	アラームを検知した全てのカメラを録画します。
最新のアラームカメラ	最新のアラームを検知したカメラのみ録画します。

9−6 アラーム録画ー基本録画時間設定

アラーム録画時の基本録画時間を設定します。

① ▼，▲スイッチを押してカーソルを“基本録画時間”の項に移動し、セットスイッチを押します。

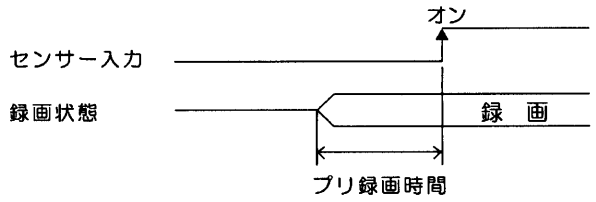
② ▼，▲スイッチにて、基本録画時間を選択しセットスイッチを押します。

選択範囲	内　容
センサ検出中	センサ検出中のみ録画
1秒〜30分	センサ入力後指定時間（1秒〜30分）録画します。

9−7 アラーム録画ープリ録画設定

アラーム録画時のプリ録画設定をします。

プリ録画…センサ／モーション検出した時点より以前の映像を指定時間録画する。



① ▼，▲スイッチを押してカーソルを“プリ録画”の項に移動し、セットスイッチを押します。

② ▼，▲スイッチにて、基本録画時間を選択しセットスイッチを押します。

選択範囲	内　容
センサ検出中	センサ検出中のみ録画
1秒〜30秒	センサ検出以前の映像を指定時間（1秒〜30秒）録画します。
なし	プリ録画しません。

ご注意

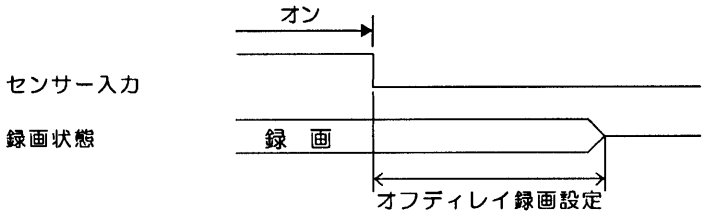
●プリ録画時間中は、録画モード設定に関係なく全カメラモードにて録画されます。
（センサ／モーション検出後は録画モード設定にて録画されます。）

●録画動作中のセンサ／モーション検出時は、プリ録画は動作しません。

9－8 アラーム録画ーオフディレイ録画設定

アラーム録画時のオフディレイを設定します。

オフディレイ録画…基本録画終了後、オフディレイ設定時間録画を継続します。



① ▼，▲スイッチを押してカーソルを“オフディレイ録画”の項に移動し、セットスイッチを押します。

② ▼，▲スイッチにて、基本録画時間を選択しセットスイッチを押します。

選択範囲	内　容
OFF	オフディレイ録画を行いません。
1秒～30分	センサ入力後、指定時間録画します。

9－9 アラーム録画ーアラーム出力設定

アラーム録画時のアラーム設定します。

① ▼，▲スイッチを押してカーソルを“アラーム出力時間”の項に移動し、セットスイッチを押します。

② ▼，▲スイッチにて、基本録画時間を選択しセットスイッチを押します。

選択範囲	内　容
OFF	アラーム出力を行いません
アラーム録画中	アラーム録画中にアラームを出力します。
センサ入力中	センサ検出中にアラームを出力します。
1秒～30分	センサ検出後、指定時間（1秒～30分）アラームを出力します。

9−10　アラーム録画ー録画チャンネル設定

アラーム録画時の録画チャンネル設定を行います。

① ▼，▲スイッチを押してカーソルを“録画チャンネル設定”の項に移動し、セットスイッチを押します。

② 録画チャンネルは２種類のモードがあります。9-10-1～9-10-2に従って設定してください。

※ メニュースイッチで、アラーム録画設定画面に戻ります。

モード	内　容
均等	録画チャンネルがONになっているカメラを順に記録します。
割合	カメラの記録順の１パターンを30枚とし、30枚に対してカメラ1～16の各カメラに基本の枚数を設定できます。センサ入力が入ったカメラに対して設定したアラームカメラ割増数分を追加することができます。 （各カメラの設定と、アラームカメラ割増の設定値の合計は必ず30枚に設定してください）

ご注意

●アラーム録画チャンネル設定は、アラーム録画モードが全カメラ設定時、またはプリ録画中のみ有効となります。

9−10−1　アラーム録画ー録画チャンネル設定ー均等設定

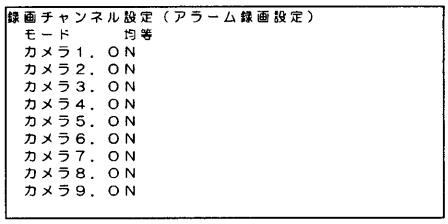
アラーム録画時の録画チャンネルの均等設定を行います。

① ▼，▲スイッチを押してカーソルを“モード”の項に移動し、セットスイッチを押します。

② ▼，▲スイッチにて、“均等”を選択し、セットスイッチを押します。

③ ▼，▲，◀，▶スイッチを押してカーソルを変更するカメラの項に移動し、セットスイッチを押します。

④ ▼，▲スイッチを押して、“ON”，“OFF”を選択しセットスイッチを押します。

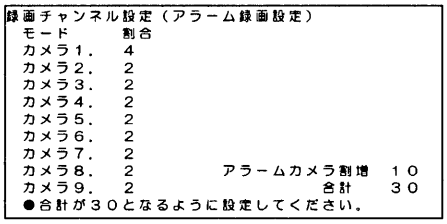


選択範囲	内　容
ON	録画を行います。
OFF	録画を行いません。

※同様の手順で他のカメラも設定を行います。

9−9−2 アラーム録画ー録画チャンネル設定ー割合設定

アラーム録画時の録画チャンネルの割合設定を行います。



① ▼，▲スイッチを押してカーソルを“モード”の項に移動し、セットスイッチを押します。

② ▼，▲スイッチにて、“割合”を選択しセットスイッチを押します。

③ ▼，▲，◀，▶スイッチを押してカーソルを、変更するカメラの項に移動し、セットスイッチを押します。

④ ▼，▲スイッチにて、“OFF”または、“1”～“30”を選択し、割合の合計が必ず 30 になるよう設定してください。設定しましたら、セットスイッチを押します。

設定項目	内　容
OFF	録画を行いません。
1~30	カメラに対して録画枚数を設定します。

※同様の手順で他のカメラも設定を行います。

設定例

上記画面の設定の場合、カメラ 1 にアラームが入り録画した場合、カメラ 1 はアラームカメラ割増数分 10 を追加した 14 枚の割合設定した場合と同じ録画動作となります。その他のカメラ 2~10 は 2 枚の割合設定の動作となります。

ご注意

- 30 に設定していなければ、メニュースイッチを押しても録画設定画面に戻ることができません。
- 複数のセンサ/モーション検出が発生した場合は、最新のアラーム検知のカメラのみ録画割合が割増されます。（複数のセンサ/モーション検知した場合、全てのカメラの録画割合が割増される動作にはなりません。）

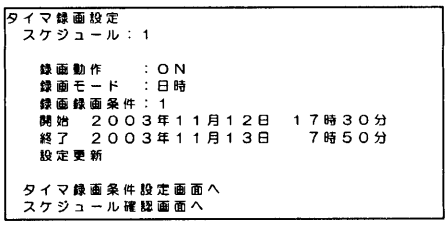
10. タイマ録画設定手順

タイマ録画時の録画設定を行います。

① ▼, ▲スイッチを押してカーソルを“タイマ録画設定”の項に移動します。

② セットスイッチを押します。

※ メニュースイッチで、メインメニューに戻ります。



タイマ録画のスケジュールは 10 スケジュール設定することができます。
10 個のスケジュールに対して、５つのタイマ録画条件を選択できます。

10−1 タイマ録画ースケジュール選択

設定を変更するスケジュールを選択します。スケジュールは 1～10 まで設定できます。

① ▼, ▲スイッチを押してカーソルを“スケジュール”の項に移動し、セットスイッチを押します。

② ▼, ▲スイッチを押して、変更したいスケジュールを選択し、セットスイッチを押します。

10−2 タイマ録画ー録画動作設定

設定したスケジュールの録画に対して有効、無効の設定を行います。

① ▼, ▲スイッチを押してカーソルを“録画動作設定”の項に移動し、セットスイッチを押します。

② ▼, ▲スイッチにて“ON”，“OFF”を選択し、セットスイッチを押します。

選択範囲	内　容
ON	選択しているスケジュールのタイマ録画を行います。
OFF	選択しているスケジュールのタイマ録画を行いません。

ご注意

●タイマ録画を設定しても録画動作を OFF に設定している場合、タイマ録画を行いません。

10−3 タイマ録画ー録画モード設定

タイマ録画スケジュールの録画モードを設定します。

① ▼, ▲スイッチを押してカーソルを“録画モード”の項に移動し、セットスイッチを押します。

② ▼, ▲スイッチにて、録画モードを選択しセットスイッチを押します。

選択範囲	内　容
日時	特定の日時に対して設定
月、火、水、木、金、土、日	特定の曜日に対して設定
月~金、土日	複数の曜日に対して設定
毎日	毎日の設定

10−4 タイマ録画ー録画条件選択

タイマ録画スケジュールの録画条件を選択します。タイマ録画条件は、10-7 を参照して設定してください。録画条件は、1～5 まで設定できます。

① ▼, ▲スイッチを押してカーソルを“録画条件”の項に移動し、セットスイッチを押します。

② ▼, ▲スイッチにて、録画条件を選択し、セットスイッチを押します。

10−5　タイマ録画ー開始時間設定

タイマ録画スケジュールの録画開始時間を設定します。

① ▼，▲スイッチを押してカーソルを“開始”の項に移動します。

② ◀，▶スイッチで変更したい箇所を選択し、セットスイッチを押します。

（年、月、日は、録画モードが日時設定の場合のみ設定可能です。それ以外の年月は、“ー”で表示されます。）

③ ▼，▲で設定を変更しセットスイッチを押します。

10−6　タイマ録画ー終了時間設定

タイマ録画スケジュールの録画終了時間を設定します。

① ▼，▲スイッチを押してカーソルを“終了”の項に移動します。

② ◀，▶スイッチで変更したい箇所を選択し、セットスイッチを押します。

（年、月、日は、録画モードが日時設定の場合のみ設定可能です）

③ ▼，▲で設定を変更しセットスイッチを押します。

10−7　タイマ録画ー設定更新

10-1～10-6でタイマ録画の設定した場合、設定内容の更新を行います。

① ▼，▲スイッチを押してカーソルを“設定更新”の項に移動し、セットスイッチを押します。

② 新しく設定した内容に変更されます。

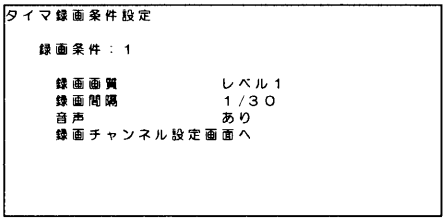
ご注意

●設定更新をしなかった場合は、設定内容が変更されません。

10−8　タイマ録画ータイマ録画条件設定

タイマ録画の録画条件を設定します。

① ▼，▲スイッチを押してカーソルを“タイマ録画条件設定画面へ”の項に移動し、セットスイッチを押します。
タイマ録画条件は5つ設定でき、各設定（録画画質、録画間隔、音声、録画チャンネル）は条件毎に別々に設定できます。



10−8−1　タイマ録画ータイマ録画条件選択

タイマ録画条件の変更したい条件番号を選択します。録画条件は1～5まで設定できます。

① ▼，▲スイッチを押してカーソルを“録画条件”の項に移動し、セットスイッチを押します。

② ▼，▲スイッチにて、録画条件を選択し、セットスイッチを押します。

10−8−2　タイマ録画ータイマ録画条件ー画質設定

タイマ録画条件の画質を設定します。

① ▼，▲スイッチを押してカーソルを“録画画質”の項に移動し、セットスイッチを押します。

② ▼，▲スイッチにて、“レベル1”，“レベル2”，“レベル3”，“レベル4”，“レベル5”，“レベル6”，“レベル7”，“レベル8”，“レベル9”，“レベル10”の10段階の中から画質を選択し、セットスイッチを押します。
（“レベル1”が最高画質です）

10−8−3　タイマ録画ータイマ録画条件ー録画間隔設定

タイマ録画時の録画間隔を設定します。

① ▼，▲スイッチを押してカーソルを“録画間隔”の項に移動し、セットスイッチを押します。

② ▼，▲スイッチにて、“1／30秒”，“1／15秒”，“1／10秒”，“1／5秒”，“1／3秒”，“1／2秒”，“1秒”，“2秒”，“3秒”，“5秒”，“10秒”，“20秒”，“30秒”，“60秒”の14段階の中から録画間隔を選択し、セットスイッチを押します。

10−8−4　タイマ録画ータイマ録画条件ー音声設定

タイマ録画時に録音のあり、なしを設定します。

① ▼，▲スイッチを押してカーソルを“音声録音”の項に移動し、セットスイッチを押します。

② ▼，▲スイッチにて、録画時の録音の“あり”，“なし”を選択し、セットスイッチを押します。

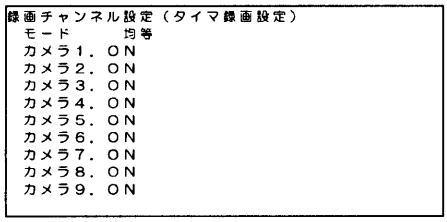
10−8−5　タイマ録画ータイマ録画条件ー録画チャンネル設定画面

タイマ録画時のタイマ録画チャンネル設定を設定します。

① ▼，▲スイッチを押してカーソルを“録画チャンネル設定画面へ”の項に移動し、セットスイッチを押します。

② 録画チャンネルは２種類のモードがあります。10−8−5−1～10−8−5−2　に従って設定してください。

10−8−5−1　タイマ録画ータイマ録画条件ー録画チャンネル設定画面ー均等



① ▼，▲スイッチを押してカーソルを“モード”の項に移動し、セットスイッチを押します。

② ▼，▲スイッチにて“均等”を選択し、セットスイッチを押します。

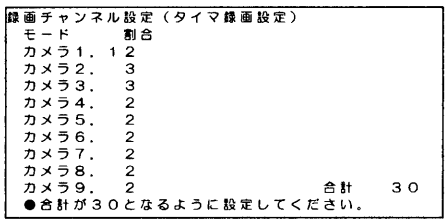
③ ▼，▲，◀，▶スイッチを押してカーソルを、変更するカメラの項に移動し、セットスイッチを押します。

④ ▼，▲スイッチを押して、“ON”，“OFF”を選択しセットスイッチを押します。

選択範囲	内　容
ON	録画を行います。
OFF	録画を行いません。

※同様の手順で他のカメラも設定を行います。

10−8−5−2　タイマ録画ータイマ録画条件ー録画チャンネル設定画面ー割合



① ▼，▲スイッチを押してカーソルを“モード”の項に移動し、セットスイッチを押します。

② ▼，▲スイッチにて“割合”を選択し、セットスイッチを押します。

③ ▼，▲，◀，▶スイッチを押してカーソルを、変更するカメラの項に移動し、セットスイッチを押します。

④ ▼，▲スイッチにて、“OFF”または、“1”～“30”を選択し、セットスイッチを押します。割合の合計が 30 になるように設定してください。

選択範囲	内　容
OFF	録画を行いません。
1～30	設定数

※同様の手順で他のカメラも設定を行います。

ご注意

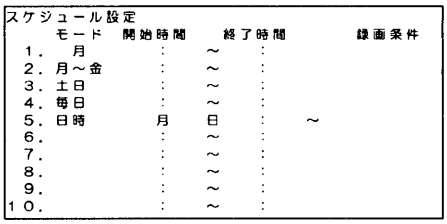
●30 に設定していなければ、メニュースイッチを押しても録画設定画面に戻ることができません。

＜生産完了 2009年01月01日＞
TSAM-R930 (71／93)

10−9 タイマ録画ースケジュール確認

タイマ録画のスケジュール設定した内容を確認します。

① ▼，▲スイッチを押してカーソルを“スケジュール確認画面へ”の項に移動し、セットスイッチを押します。



ご注意

- 録画動作が OFF 設定であればスケジュール確認画面に表示されません。
- 録画モードが日時設定の場合、開始時刻の月、日、時、分のみ表示されます。
  （終了時刻は表示されません）

11. 再生設定手順

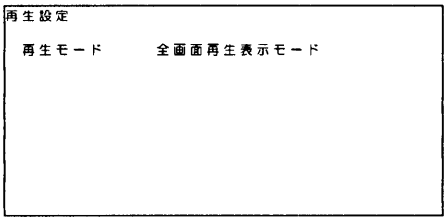
再生時のモニタ表示モードの設定を行います。

① ▼，▲スイッチを押してカーソルを“再生設定”の項に移動します。

② セットスイッチを押します。
※ メニュースイッチで、メインメニューに戻ります。

③ ▼，▲スイッチを押してカーソルを“再生モード”の項に移動し、セットスイッチを押します。

④ ▼，▲スイッチを押して、再生モードを選択し、セットスイッチを押します。



選択範囲	内　容
全画面再生モード	モニタに表示している全チャンネル再生映像となります。
再生・ライブ同時表示モード	1 ヶ所（左上）のみ再生映像となり、それ以外はライブ映像をモニタに表示します。

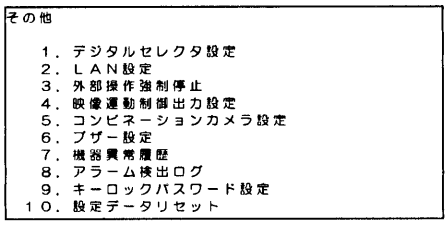
12. その他設定手順

その他の設定を行います。

① ▼，▲スイッチを押してカーソルを“その他”の項に移動します。

② セットスイッチを押します。

※ メニュースイッチで、メインメニューに戻ります。

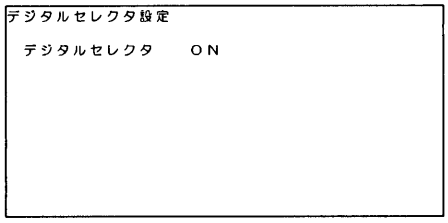


12−1 デジタルセレクタ設定

デジタルセレクタの設定を行います。

① ▼，▲スイッチを押してカーソルを“デジタルセレクタ”の項に移動します。

② ▼，▲スイッチを押して、“ON”、“OFF”を選択して、セットスイッチを押します。



選択範囲	内　容
ON	デジタルセレクタを使用します。
OFF	デジタルセレクタを使用しません。

ご注意

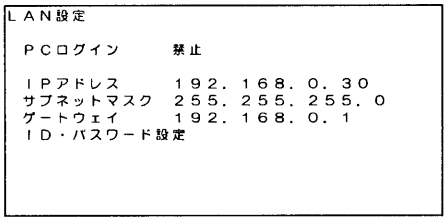
- デジタルセレクタ設定を“ON”にした場合、本体のモニタ２の操作はできなくなります。
- デジタルセレクタが接続して（デジタルセレクタの電源が入って）いない場合、ブザーが鳴りリモートエラーが表示されます。

12−2 ＬＡＮ設定

ＬＡＮの設定を行います。

① ▼，▲スイッチを押してカーソルを“ＬＡＮ設定”の項に移動し、セットスイッチを押します。

※ メニュースイッチで、その他の画面に戻ります。



12−2−1 ＰＣログイン設定

パソコンからのログイン設定を行います。

① ▼，▲スイッチを押してカーソルを“ＰＣログイン”の項に移動し、セットスイッチを押します。

② ▼，▲スイッチを押して、“禁止”、“許可”を選択して、セットスイッチを押します。

選択範囲	内　容
許可	パソコンからのログインを許可します。
禁止	パソコンからのログインを禁止します。

12−2−2　ＩＰアドレス設定

ＩＰアドレスの設定を行います。

① ▼，▲，◀，▶スイッチを押してＩＰアドレス設定の設定する項に移動します。

② ▼，▲スイッチを押して、0〜255 の中で選択して、セットスイッチを押します。

12−2−3　サブネットマスク設定

サブネットマスクの設定を行います。

① ▼，▲，◀，▶スイッチを押してサブネットマスクの設定する項に移動します。

② ▼，▲スイッチを押して、0〜255 の中で選択して、セットスイッチを押します。

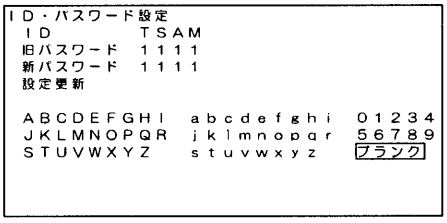
12−2−4　ゲートウェイ設定

ゲートウェイの設定を行います。

① ▼，▲，◀，▶スイッチを押してゲートウェイの設定する項に移動します。

② ▼，▲スイッチを押して、0〜255 の中で選択して、セットスイッチを押します。

12−2−5　ＩＤ・パスワード設定



パソコンログイン時のＩＤとパスワードの設定を行います。

① ▼，▲スイッチを押してカーソルを“ＩＤ・パスワード設定”の項に移動し、セットスイッチを押します。

② ▼，▲スイッチを押してカーソルを“ＩＤ”の項に移動し、セットスイッチを押します。

③ ◀，▶スイッチにて変更したい文字の位置に移動しセットスイッチを押します。選択文字が点滅し、カーソルが文字一覧に移動します。

④ ▼，▲，◀，▶スイッチを押してカーソルを設定する文字に移動しセットスイッチを押します。

※ 同様にして、カーソルを変更したい文字の位置に移動し、設定してください。

※ ８文字まで設定可能です。その他の文字も上記手順にて設定を変更します。

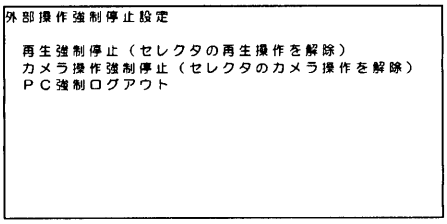
⑤ ＩＤ設定終了後、同じ手順で旧パスワードを入力してください。
（初期設定時の旧パスワードは“１１１１”が設定されています）

⑥ 新パスワードも同様手順で設定してください。
ＩＤ、旧パスワード、新パスワードの入力が終了したら、
▼，▲，◀，▶スイッチを押してカーソルを“設定更新”に移動しセットスイッチを押します。

ご注意

●旧パスワードが違う場合はエラーメッセージが表示されパスワードの変更はされません。

12−3　外部操作強制停止設定



リモートセレクタやパソコン側で操作している場合、強制的に操作を停止させます。

① ▼，▲スイッチを押してカーソルを“外部操作強制停止”の項に移動し、セットスイッチを押します。
※ メニュースイッチで、その他の画面に戻ります。

12−3−1　再生強制停止

リモートセレクタにて再生している場合、再生を強制的に停止させます。

① ▼，▲スイッチを押してカーソルを“再生強制停止”の項に移動し、セットスイッチを押します。
② “再生を強制停止してもいいですか？”と表示されます。再生強制停止をそのまま行う場合は、▼，▲スイッチにて、“はい”を選択し、セットスイッチを押します。
※ 再生強制停止を行わない場合は、▼，▲スイッチにて、“いいえ”を選択し、セットスイッチを押します。

12−3−2　カメラ操作強制停止

リモートセレクタにてカメラ操作している場合、カメラ操作を強制的に停止させます。

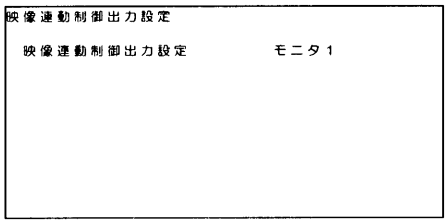
① ▼，▲スイッチを押してカーソルを“カメラ操作強制停止”の項に移動し、セットスイッチを押します。
② “カメラ操作を強制停止してもいいですか？”と表示されます。カメラ操作強制停止をそのまま行う場合は、▼，▲スイッチにて、“はい”を選択し、セットスイッチを押します。
※ カメラ操作強制停止を行わない場合は、▼，▲スイッチにて、“いいえ”を選択し、セットスイッチを押します。

12−3−3　ＰＣ強制ログアウト

ログインしているパソコンを強制的にログアウトさせます。
（パソコンにて再生や保存、カメラ操作中の場合、再生・保存・カメラ操作も全て中止します。）

① ▼，▲スイッチを押してカーソルを“ＰＣ強制ログアウト”の項に移動し、セットスイッチを押します。
② “全てのパソコンを強制ログアウトしてもいいですか？”と表示されます。全てのパソコンを強制ログアウトする場合は、▼，▲スイッチにて、“はい”を選択し、セットスイッチを押します。
※ 強制ログアウトを行わない場合は、▼，▲スイッチにて、“いいえ”を選択し、セットスイッチを押します。

12−4　映像連動制御出力設定



映像連動制御出力をモニタ１、モニタ２どちらのモニタに連動させるかの設定を行います。

映像連動制御出力：手動で単画面表示を選択した場合、表示されているカメラの映像に連動して、そのカメラに対応した端子が出力されます。

① ▼，▲スイッチを押してカーソルを“映像連動制御出力”の項に移動し、セットスイッチを押します。
② ▼，▲スイッチを押して、“モニタ１”、“モニタ２”を選択しセットスイッチを押します。

12−5 コンビネーションカメラ設定

コンビネーションカメラを制御するために、RS-485 の ID 番号を設定します。

① ▼，▲スイッチを押してカーソルを“コンビネーションカメラ”の項に移動し、セットスイッチを押します。

② ▼，▲，◀，▶スイッチを押して、ID 番号設定の項にカーソルを移動しセットスイッチを押します。▼，▲スイッチを押して ID 番号を変更しセットスイッチを押します。ID 番号は 1～223 まで設定できます。

ご注意

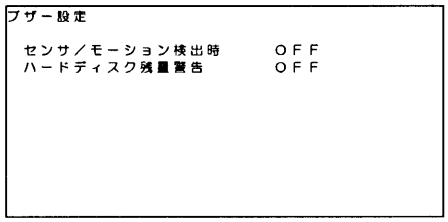
●ID 番号は同じ番号に設定しないでください。

12−6 ブザー設定

ブザーの ON/OFF の設定をします。

① ▼，▲スイッチを押してカーソルを“ブザー設定”の項に移動し、セットスイッチを押します。

② ▼，▲スイッチを押して、設定を変更する項目を選択し、セットスイッチを押します。



選択範囲
センサ／モーション検出時
ハードディスク残量警告

③ ▼，▲スイッチを押して、“ON”、“OFF”を選択してセットスイッチを押します。

選択範囲	内　容
ON	ブザーを鳴らします。
OFF	ブザーを鳴らしません。

ご注意

●機器異常や通信異常等が発生した場合は、全て OFF 設定にしていてもブザーが鳴ります。

12−7 機器異常履歴

機器異常の履歴を確認できます。

① ▼, ▲スイッチを押してカーソルを“機器異常履歴”の項に移動し、セットスイッチを押します。

② ▼, ▲, ◀, ▶スイッチを押して、カーソルをページ切替の項に移動し、セットスイッチを押すと別のページを見ることができます。

表示内容	内　容
カメラｎ　映像断	カメラｎ　ビデオロス
カメラｎ　通信異常	パンチルトカメラ通信異常
リモート制御エラー	デジタルセレクタ通信異常
外部 HDD ユニット異常	外部ハードディスクユニット通信異常
HDDn　フォーマット異常	HDDn 番　フォーマット異常（ソフト的異常）
HDDn　S 録画 RC	HDDn 番　録画リカバリ（ソフト的）
HDDn　H 録画 RC	HDDn 番　録画リカバリ（ハード的）
HDDn　録画 NG	HDDn 番　録画エラー（HDD 異常　ハード的）
HDDn　S 再生 RC	HDDn 番　再生リカバリ（ソフト的）
HDDn　H 再生 RC	HDDn 番　再生リカバリ（ハード的）
HDDn　再生異常	HDDn 番　再生データ異常（録画データ異常　論理的）
コンパクトフラッシュ異常	コンパクトフラッシュ異常
ファン異常	デジタルビデオレコーダのファン異常
外部 HDD ファン異常	外部ハードディスクユニトのファン異常

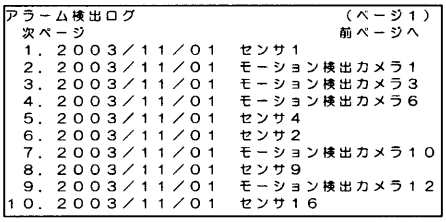
12−8 アラーム検出ログ

センサ入力、又はモーション検出によりアラーム録画を行った場合、アラーム検出ログ画面にて履歴を確認できます。

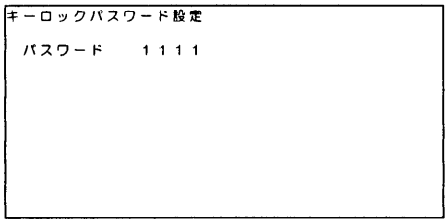
① ▼, ▲スイッチを押してカーソルを“アラーム検出ログ”の項に移動し、セットスイッチを押します。

② アラーム検出ログが表示されます。

③ ◀, ▶スイッチを押して、カーソルをページ切替の項に移動し、セットスイッチを押すと別のページを見ることができます。



12−9 キーロックパスワード設定



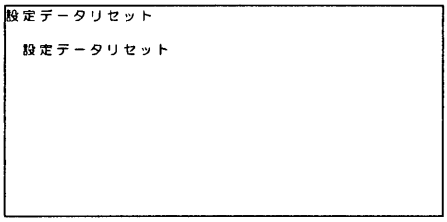
キーロックのパスワード設定を行います。（初期設定は“１１１１”です）

① ▼，▲スイッチを押してカーソルを“キーロックパスワード設定”の項に移動し、セットスイッチを押します。
※ メニュースイッチで、その他の画面に戻ります。

② ◀，▶スイッチを押して、カーソルを移動し▼，▲スイッチを押して１～９の数字を選択します。４桁全ての数字を変更したらセットスイッチを押します。

③ “パスワードを変更しますか？”と表示されます。パスワードを変更する場合は、▼，▲スイッチにて、“はい”を選択し、セットスイッチを押します。
※ パスワードを変更しない場合は、▼，▲スイッチにて、“いいえ”を選択し、セットスイッチを押します。

12−10 設定データリセット



設定データをリセットします。

① ▼，▲スイッチを押してカーソルを“設定データリセット”の項に移動し、セットスイッチを押します。

② “設定データリセット”の項にカーソルがありますので、セットスイッチを押してください。

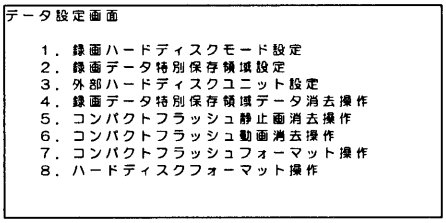
③ 確認メッセージが表示されますので、データリセットする場合は、▼，▲スイッチにて、“はい”を選択し、セットスイッチを押します。
※ データリセットを行わない場合は、▼，▲スイッチにて、“いいえ”を選択し、セットスイッチを押します。

ご注意

設定データリセットを行っても下記の設定項目はリセットされません。
- ●データ設定画面の全設定項目
- ●録画データ設定
- ●ＬＡＮ設定

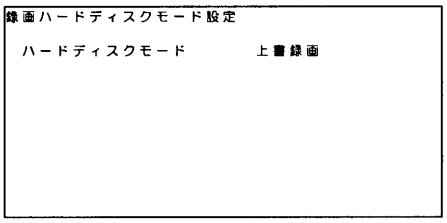
データ設定画面設定手順

① メニュー画面を表示します。
メニュースイッチを押しながらセットスイッチを３秒間長押します。
② メニュー画面にて、逆再生スイッチを押しながら再生スイッチを３秒間長押します。
※メニュースイッチを押すとメニュー画面に戻ります。



1. 録画ハードディスクモード設定手順

録画ハードディスクモードの設定を行います。
① ▼，▲スイッチを押してカーソルを“録画ハードディスクモード”の項に移動します。
② セットスイッチを押します。
③ ▼，▲スイッチを押してカーソルを“ハードディスクモード”の項に移動し、セットスイッチを押します。
④ ▼，▲スイッチでモードを変更しセットスイッチを押します。



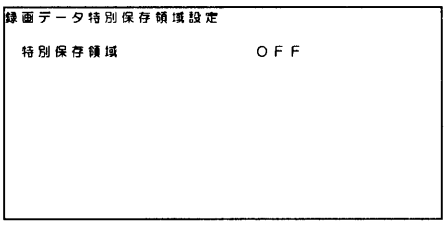
選択範囲	内　容
上書録画	ハードディスク１台ずつに録画し、ハードディスクの空き容量がなくなった場合、最古データを消しながら録画します。
上書禁止録画	ハードディスク１台ずつに録画し、録画データを保存する為、ハードディスクの空き容量がなくなった場合録画を停止します。
上書ミラー録画	２台のハードディスクに同時に録画し、ハードディスクの空き容量がなくなった場合、最古データを消しながら録画します。
上書禁止ミラー録画	２台のハードディスクに同時に録画し、録画データを保存する為、ハードディスクの空き容量がなくなった場合、録画を停止します。

⑤ “全てのハードディスクのデータが消去されます。本当に変更しますか？”と表示されます。
ハードディスクモードを変更する場合は、▼，▲スイッチで“はい”を選択し、セットスイッチを押します。
※ハードディスクモードを変更しない場合は、▼，▲スイッチで“いいえ”を選択し、セットスイッチを押します。

※ メニュースイッチで、データ設定画面に戻ります。

ご注意
設定を変更すると録画のデータが消去されます。
（特別保存領域のデータも消去されます）

2. 特別保存領域設定手順



録画データの一部をハードディスクに保存しておきたいときに設定します。

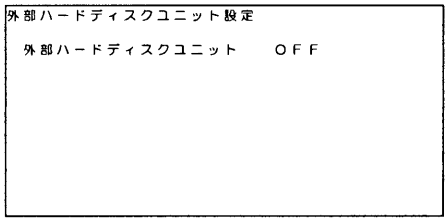
① ▼，▲スイッチを押してカーソルを“特別保存領域設定”の項に移動します。
② セットスイッチを押します。
③ ▼，▲スイッチを押してカーソルを“特別保存領域”の項に移動し、セットスイッチを押します。
④ ▼，▲スイッチで“ON”、“OFF”を選択しセットスイッチを押します。

選択範囲	内　容
ON	特別保存領域を使用します。
OFF	特別保存領域を使用しません。

⑤ “全てのハードディスクのデータが消去されます。本当に変更しますか？”と表示されます。
特別保存領域設定を変更する場合は、▼，▲スイッチで“はい”を選択し、セットスイッチを押します。
※モードを変更しない場合は、▼，▲スイッチで“いいえ”を選択し、セットスイッチを押します。
※ メニュースイッチで、データ設定画面に戻ります。

ご注意
- 設定を変更すると録画のデータが消去されます。（特別保存領域のデータも消去されます）
- 録画データ特別保存領域を使用する場合、録画可能時間が短くなります。

3. 外部ハードディスクユニット設定



外部ハードディスクユニットの設定を行います。

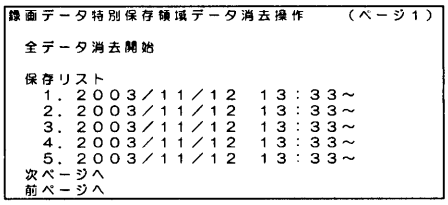
① ▼，▲スイッチを押してカーソルを“外部ハードディスクユニット設定”の項に移動し、セットスイッチを押します。
② ▼，▲スイッチでカーソルを“ON”、“OFF”を選択して、セットスイッチを押します。

選択範囲	内　容
ON	特別保存領域を使用します。
OFF	特別保存領域を使用しません。

ご注意
- 外部ハードディスクユニットが接続していない（外部ハードディスクユニットの電源が入っていない）場合、機器異常履歴にエラーが表示されます。

4. 録画データ特別保存領域データ消去操作手順

録画データ特別保存領域の全てのデータを消去します。



① ▼，▲スイッチを押してカーソルを“録画データ特別保存領域データ消去操作”の項に移動し、セットスイッチを押します。

② ▼，▲スイッチでカーソルを消去対象に合わせセットスイッチを押します。

③ “消去しますか？”と表示されます。
消去する場合は、▼，▲スイッチにて、“はい”を選択し、セットスイッチを押します。

※ 消去しない場合は、▼，▲スイッチにて、“いいえ”を選択し、セットスイッチを押します。

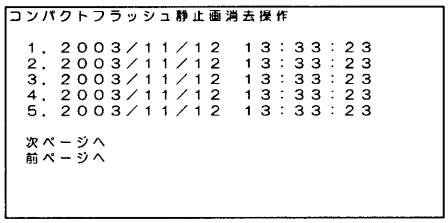
※ メニュースイッチで、データ設定画面に戻ります。

ご注意

●消去したデータは復元できませんので操作には十分注意してください。

5. コンパクトフラッシュ静止画消去操作手順

コンパクトフラッシュに保存した静止画の一部（ブロック単位）を消去します。



① ▼，▲スイッチを押してカーソルを“コンパクトフラッシュ静止画消去操作”の項に移動し、セットスイッチを押します。

② ▼，▲スイッチを押してカーソルを“消去対象ブロック番号”の項に移動し、セットスイッチを押します。

③ ▼，▲スイッチで消去したい番号を選択し、セットスイッチを押します。
選択範囲：0～保存されている番号数

④ “消去しますか？”と表示されます。
消去する場合は、▼，▲スイッチにて、“はい”を選択し、セットスイッチを押します。

※ 消去しない場合は、▼，▲スイッチにて、“いいえ”を選択し、セットスイッチを押します。

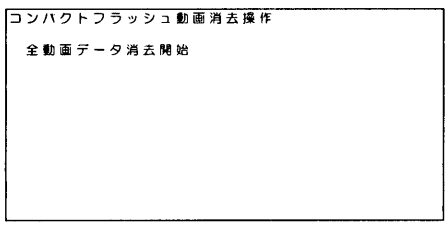
※ メニュースイッチで、データ設定画面に戻ります。

ご注意

●消去したデータは復元できませんので操作には十分注意してください。

6. コンパクトフラッシュ動画消去操作手順

コンパクトフラッシュに保存した全ての動画データを消去します。



① ▼，▲スイッチを押してカーソルを“コンパクトフラッシュ動画消去操作”の項に移動し、セットスイッチを押します。

② ▼，▲スイッチを押してカーソルを“全動画データ消去開始”に移動し、セットスイッチを押します。

③ “消去してもいいですか？”と表示されます。
消去する場合は、▼，▲スイッチにて、“はい”を選択し、セットスイッチを押します。

※ 消去しない場合は、▼，▲スイッチにて、“いいえ”を選択し、セットスイッチを押します。

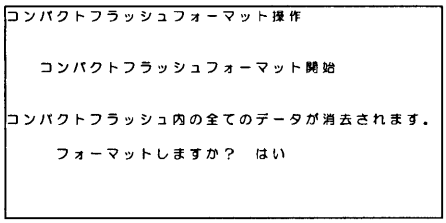
※ メニュースイッチで、データ設定画面に戻ります。

ご注意

●消去したデータは復元できませんので操作には十分注意してください。

7. コンパクトフラッシュフォーマット操作手順

コンパクトフラッシュの全データを消去します。

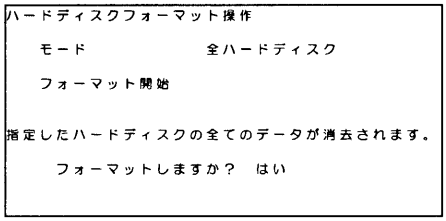


① ▼，▲スイッチを押してカーソルを“コンパクトフラッシュフォーマット操作”の項に移動し、セットスイッチを押します。
② ▼，▲スイッチを押してカーソルを“コンパクトフラッシュフォーマット開始”の項に移動し、セットスイッチを押します。
③ “コンパクトフラッシュ内の全てのデータが消去されます。フォーマットしますか？”と表示されます。
フォーマットを行う場合は、▼，▲スイッチにて、“はい”を選択し、セットスイッチを押します。
※フォーマットを行わない場合は、▼，▲スイッチにて、“いいえ”を選択し、セットスイッチを押します。

※ メニュースイッチで、データ設定画面に戻ります。

ご注意
●フォーマット操作を行うと、コンパクトフラッシュ内の全データを消去します。
消去したデータは復元できませんので操作には十分注意してください。

8. ハードディスクフォーマット操作手順



ハードディスクの全データを消去します。
① ▼，▲スイッチを押してカーソルを“ハードディスクフォーマット操作”の項に移動し、セットスイッチを押します。
② ▼，▲スイッチを押してカーソルを“モード”の項に移動し、セットスイッチを押します。
③ ▼，▲スイッチを押してモードを変更しセットスイッチを押します。

選択範囲	内 容
全ハードディスク	全てのハードディスクのデータを消去します。
ハードディスク 1～4	選択したハードディスク番号のハードディスクのデータを消去します。

④ ▼，▲スイッチを押してカーソルを“フォーマット開始”に合わせ、セットスイッチを押します。
⑤ “選択したハードディスクの全てのデータが消去されます。フォーマットしますか？”と表示されます。
フォーマットを行う場合は、▼，▲スイッチにて、“はい”を選択し、セットスイッチを押します。
※フォーマットを行わない場合は、▼，▲スイッチにて、“いいえ”を選択し、セットスイッチを押します。

※ メニュースイッチで、データ設定画面に戻ります。

ご注意
●フォーマット操作を行うと、指定したハードディスク内の全データを消去します。
消去したデータは復元できませんので操作には十分注意してください。

異常発生時について

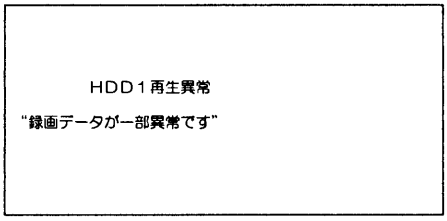
● 本機では異常動作が発生した場合、次の警告動作でお知らせします。

1. “再生異常”が表示された場合

● 録画データの一部に異状があり正しく再生できなかった場合に表示されます。

処置方法
ブザー停止スイッチを押すと異常表示が消えブザーが停止します。

動　作	内　容
モニタ上の表示	画面中央に表示
機器の表示	前面の異常 LED 点滅
警告音	連続ブザー音が鳴動 （異状／ブザー停止スイッチを押すとブザーが消音します。）



（例：ハードディスク１再生異常時）

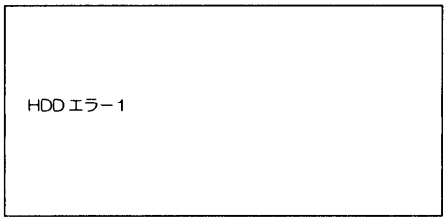
ご注意
ハードディスク内の録画データの一部が異常なため再生を自動的に停止しました。同じ時間以外で複数回発生する場合は、フォーマット操作でデータを一度消去してください。
その後録画を行い、同じように再生異常が複数発生する場合は、ハードディスクに異常がある可能性があります。

2. “HDD エラー#”が表示された場合

● 表示されたハードディスク番号（#）に異常が発生した可能性があります。

処置方法
処置手順１　［メニュー画面］－［アラーム履歴］を確認してください。
処置手順２　HDD#フォーマット異常と表示されているハードディスク番号を確認します。
（#はハードディスク番号）
処置手順３
● フォーマット異常ディスクがあった場合
処置：異常表示されたハードディスク番号をディスクフォーマットしてください。（77 ページ参照）
フォーマットしたディスクにて録画動作が復帰します。
● アラーム履歴内に“HDD#録画 NG”があった場合
処置：ハードディスクがハード的に異常になりました。
販売工事店または、サービスセンターにご連絡ください。

動　作	内　容
モニタ上の表示	画面左下に表示 （上記処置を実施すると消えます）
機器の表示	前面の異常 LED 点滅 （上記処置を実施すると消えます）
警告音	連続ブザー音が鳴動 （異常／ブザー停止スイッチを押すとブザーが消音します。）



（例：HDD1 が異常時）

ご注意
異常表示されたハードディスクには、録画データを保存しませんので、録画時間が短くなります。異常が表示されたら、上記の処置を必ず実施してください。

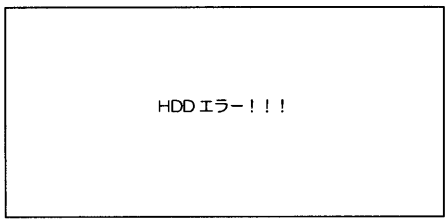
3. 中央に“HDD エラー”と表示された場合

● 全てのハードディスクに異常が発生した可能性があります。よって、録画不能となり録画動作を停止します。

処置方法

処置手順１　［メニュー画面］－［アラーム履歴］を確認してください。
処置手順２　HDD#フォーマット異常と表示されているハードディスク番号を確認します。
（#はハードディスク番号）
処置手順３
● フォーマット異常ディスクがあった場合
処置：異常表示されたハードディスク番号をディスクフォーマットしてください。（82 ページ参照）
フォーマットしたディスクにて録画動作が復帰します。
● フォーマット異常ディスクが無かった場合
処置：全ハードディスクがハード的に異常になりました。
販売工事店または、サービスセンターにご連絡ください。

動　作	内　容
モニタ上の表示	画面中央に表示
機器の表示	前面の異常 LED 点滅
警告音	連続ブザー音が鳴動 （異常／ブザー停止スイッチを押すとブザーが消音します。）



（例：全 HDD 異常時）

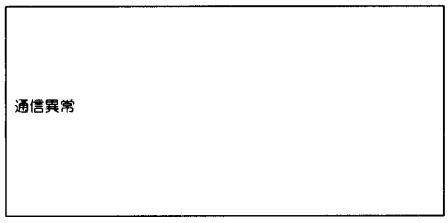
4. “通信異常”が表示された場合

● コンビネーションカメラまたは、デジタルセレクタ（TRS-R1620）、外部ハードディスクユニット（TXU-R1630）にて通信ができなくなった場合に表示されます。

処置方法

処置手順１　［メニュー画面］－［アラーム履歴］を確認してください。
処置手順２
● カメラｎ通信異常があった場合（ｎ ＝1～16：カメラ番号）
コンビネーションカメラｎと通信ができなくなりました。
販売工事店または、サービスセンターにご連絡ください。
● リモート制御エラーがあった場合デジタルセレクタ（TRS-R1620）と通信ができなくなりました。
販売工事店または、サービスセンターにご連絡ください。
● 外部ハードディスクユニット異常があった場合
外部ハードディスクユニット（TXU-R1630）と通信ができなくなりました。
販売工事店または、サービスセンターにご連絡ください。

動　作	内　容
モニタ上の表示	画面中央に表示
機器の表示	前面の異常 LED 点滅
警告音	連続ブザー音が鳴動 （異常／ブザー停止スイッチを押すとブザーが消音します。）



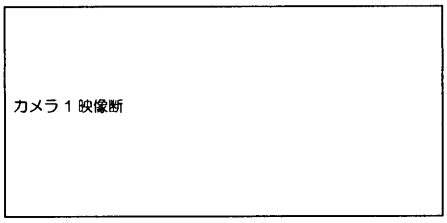
5. “カメラｎ映像断”が表示された場合（n=1～9：カメラ番号）

● カメラｎの映像が入力されない場合に表示されます。

処置方法

本機の電源を『切』にして、カメラケーブルを確認してください。
再度電源を『入』にして、異常カメラの映像が真黒であれば販売工事店または、サービスセンターにご連絡ください。

動　作	内　容
モニタ上の表示	画面中央に表示
機器の表示	前面の異常 LED 点滅
警告音	連続ブザー音が鳴動 （異状／ブザー停止スイッチを押すとブザーが消音します。）



（例：カメラ１映像信号断）

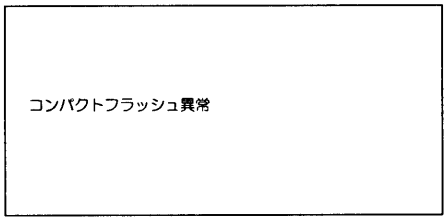
6. “コンパクトフラッシュ異常”が表示された場合

● コンパクトフラッシュの書込み異常、読込み異常、フォーマット異常、認識異常が発生した可能性があります。

処置方法

処置手順１　コンパクトフラッシュを抜いて再度挿入してください。
処置手順２　処置手順１でも改善されない場合はコンパクトフラッシュをフォーマットしてください。
（82 ページ参照）
処置手順３　処置手順２を行っても改善されない場合、別のコンパクトフラッシュを使用してください。
それでも改善しない場合は販売工事店または、サービスセンターにご連絡ください。

動　作	内　容
モニタ上の表示	画面左下に表示 （上記処置を実施すると消えます）
機器の表示	前面の異常 LED 点滅 （上記処置を実施すると消えます）
警告音	連続ブザー音が鳴動 （異常／ブザー停止スイッチを押すとブザーが消音します。）



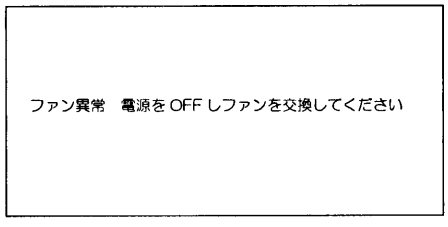
7. “ファン異常 電源を OFF しファンを交換してください”が表示された場合

● ファンに異常が発生した可能性があります。

処置方法

処置手順１　直ちに本体の電源を OFF した後に、電源プラグをコンセントから抜いてください。
（そのままにしておくと機器の内部に熱がこもり、火災、故障の原因となります）
処置手順２　販売工事店または、サービスセンターに連絡し、ファンを交換してください。

動　作	内　容
モニタ上の表示	画面左下に表示 （ファンを交換すると消えます）
機器の表示	画面左下に表示 （ファンを交換すると消えます）
警告音	連続ブザー音が鳴動 （異常／ブザー停止スイッチを押すとブザーが消音します。）



8. “アラーム”がモニタ表示された場合

アラーム動作	アラーム内容	解除方法
モニタ上の表示	メッセージ“アラーム”が画面右上に点滅表示	アラーム内容復帰時まで表示
機器の表示	前面の異常スイッチのLEDの点滅	アラーム内容復帰時まで点滅
警報音	断続ブザー音が鳴動	ブザー停止スイッチを押す

●アラームレコードの表示内容は、次のとおりです。

表示メッセージ	表示内容	処　置
カメラn　映像断	カメラnのカメラケーブル断線 n＝1～9：カメラ番号	本機の電源を『切』にして、カメラケーブルを確認し、カメラ電源を再設定してください。
カメラn　通信異常	カメラnのコンビネーションカメラとの通信異常 n＝1～9：カメラ番号	通信ケーブル（RS-485）を確認してください。
リモート制御エラー	デジタルセレクタとの通信異常発生	接続ケーブル、デジタルセレクタの電源確認してください。
外部HDDユニット異常	外部ハードディスクユニットとの通信異常発生	接続ケーブル、外部ハードディスクユニットの電源確認してください。
HDDn　フォーマット異常	HDDn　フォーマット異常（ソフト的） n＝1～4：ハードディスク番号	HDDnをフォーマットしてください。 （82ページ参照）
HDDn S録画RC	HDDn　録画リカバリー（ソフト的） n＝1～4：ハードディスク番号	処置は不要です。（自動的なリカバリー動作のため）
HDDn H録画RC	HDDn　録画リカバリー（ハード的） n＝1～4：ハードディスク番号	処置は不要です。（自動的なリカバリー動作のため）
HDDn　録画NG	HDDn　ハードディスク異常 n＝1～4：ハードディスク番号	販売工事店または、サービスセンターにお問い合わせください。
HDDn S再生RC	HDDn　再生リカバリー（ソフト的） n＝1～4：ハードディスク番号	処置は不要です。（自動的なリカバリー動作のため）
HDDn H再生RC	HDDn　再生リカバリー（ハード的） n＝1～4：ハードディスク番号	処置は不要です。（自動的なリカバリー動作のため）
HDDn　再生異常	HDDn　再生異常（ソフト的） n＝1～4：ハードディスク番号	同じディスクで再生異常が多発する場合はHDDnをフォーマットしてください。（82ページ参照）
コンパクトフラッシュ異常	コンパクトフラッシュの書込み、読込み、フォーマット異常。	コンパクトが正しく装着されているか確認してください。 改善されない場合は、コンパクトフラッシュをフォーマットしてください。（82ページ参照）

●その他基本動作のアラームレコードの表示内容は、次のとおりです。

表示メッセージ	表示内容
センサー　n	カメラnのセンサー動作 n＝1～9：カメラ番号

修理サービス

ご使用中に異常が生じたときは、お使いになるのをやめ、 お買いあげの販売店またはお近くの東芝お客様ご相談センターにご相談ください。なお、ご相談されるときは形名(TSAM-R930)およびお買いあげ時期をお忘れなくお知らせください。

ご相談のまえに、つぎのことをお調べください

症　　状	調べるところ	処　　置
画面上に 「HDD エラー　#」 （#：ハードディスク番号） が表示され、機器異常履歴に HDD フォーマット異常がある場合		ディスクフォーマットをしてください。 （82 ページ参照） ご注意 ディスクフォーマットした場合、記録した録画データが消去されます。
画面上に 「再生異常」 のメッセージが表示		ボタン操作を行ってください。 同じ時刻以外の場所で再生し同様の不具合が連続する場合は、ディスクフォーマットをしてください。（82 ページ参照） ご注意 ディスクフォーマットした場合、記録した録画データが消去されます。
画面上に 「カメラｎ　映像断」 （ｎ：カメラ番号） のメッセージが表示	●カメラｎのコネクタがはずれていませんか？	コネクタを接続しなおして、本機の電源を入れ直してください。
映像が出ない	●本機、カメラ、モニタテレビ等のコネクタがはずれていませんか？	コネクタを接続して、本機の電源を入れ直してください。
	●電源コンセント抜けていませんか？	電源コンセントを差し込んでください。 （プラグのほこりは清掃してください）
背面の主電源スイッチを「入」にしても起動しない	●電源コンセントが抜けていませんか？	電源コンセントを差し込んでください。 （プラグのほこりは清掃してください）
録画ができない	●録画スイッチの上のLEDは点灯していますか？	録画スイッチを押してください。
	●モニタに“空き容量が無いため録画を停止します“が表示されていませんか？	記録モードが上書禁止の設定でディスクの空き容量がなくなりました。 記録モードを上書モードに変更してください。（79 ページ参照） ご注意 記録した録画データが上書されるため、記録日時の古いデータから順に消去されます。

＜生産完了_2009年01月01日＞
TSAM-R930 (87 / 93)

録画を停止できない	●ボタンを押したときにブザーがなりますか？	キーロックが有効になっています。キーロックを解除してください。(25 ページ参照)
タイマ予約録画ができない	●タイマ設定が「無効」になっていませんか？	タイマ設定を有効にしてください。(69 ページ参照)
	●タイマ予約時間の設定が正しく設定されていますか？	タイマ予約時間を正しく設定してください。(69~72 ページ参照)
アラーム録画ができない	●アラーム設定が「OFF」になっていませんか？	アラーム設定を「ON」にしてください。(64 ページ参照)
音声が記録されない	●音声用のケーブルが正しく接続されてますか？	しっかりと接続しなおしてください。
	●録画モードにて音声の設定が「なし」になっていませんか？	「あり」に変更してください。(62, 64, 71 ページ参照)
画面に文字が表示されない	●画面表示の設定項目の中に「非表示」がありますか？	「表示」に変更してください。(59 ページ参照)
	●画面表示設定が「表示」に設定されているが文字が表示されない。	文字表示／セットスイッチを押してください。
画面表示の時刻がずれている		時刻設定にて現在時刻を設定してください。(55 ページ参照)
異常ランプが点滅したまま消灯しない	●カメラ映像が出力されていますか？	映像入力がきていません。配線を確認してください。

※　以上のことをお確かめのうえ、なお異常のある時は、本機の電源を入れなおしてください。

仕　様

電　　源		AC100V　50Hz/60Hz
消　費　電　力		約56W
映像入力	カメラ入力（録画用）	映像信号：　NTSC 入力数：　9チャンネル(BNC コネクタ) 信号レベル：　VBS　1.0V(p-p) 入力インピーダンス：　75Ω
	外部映像入力	映像信号：　NTSC 入力数：　1チャンネル(BNC コネクタ) 信号レベル：　VBS　1.0V(p-p) 入力インピーダンス：　75Ω
映像出力	モニタ1出力	映像信号：　NTSC 出力数：　1チャンネル（BNCコネクタ） 信号レベル：　VBS　1.0V(p-p) 出力インピーダンス：　75Ω 映像選択： ①カメラ映像（固定選択及び自動切替選択） 単画面、4分割画面、6分割画面、8分割画面、9分割画面、10分割画面 ②外部入力映像 ③録画再生映像 単画面、4分割画面、6分割画面、8分割画面、9分割画面、10分割画面
	モニタ2出力	映像信号：　NTSC 出力数：　1チャンネル（BNCコネクタ） 信号レベル：　VBS　1.0V(p-p) 出力インピーダンス：　75Ω 映像選択： ①カメラ映像（固定選択及び自動切替選択） 単画面、4分割画面、6分割画面、8分割画面、9分割画面、10分割画面 ②録画再生映像（デジタルセレクタ使用時のみ） 単画面、4分割画面、6分割画面、8分割画面、9分割画面、10分割画面
	カメラ映像出力（スルー出力）	映像信号：　NTSC 出力数：　9チャンネル（BNCコネクタ） 信号レベル：　VBS　1.0V（p-p） 出力インピーダンス：　75Ω
音声入力	音声入力（録音用）	入力数：　1チャンネル（RCAピンジャック） 信号レベル：　460mV（rms）　-6.7dBv
	外部音声入力	入力数：　1チャンネル（RCAピンジャック） 信号レベル：　460mV（rms）　-6.7dBv

＜生産完了 2009年01月01日＞
TSAM-R930 (89／93)

音声出力	音声出力1	出力数：　1チャンネル（RCAピンジャック） 信号レベル：　460mV（rms）　-6.7dBv 出力選択：モニタ1の映像に連動します。 ①モニタ1ライブ映像時　：　音声入力の音声を出力 ②モニタ1外部映像選択時：　外部音声入力の音声を出力 ③モニタ1録画再生時　：　録音された音声を出力
	音声出力2	出力数：　1チャンネル（RCAピンジャック） 信号レベル：　460mV（rms）　-6.7dBv 出力選択：モニタ2の映像に連動します。 ①モニタ2ライブ映像時：　音声入力の音声を出力 ②モニタ2録画再生時　：　録音された音声を出力 （録画再生時は、デジタルセレクタ使用時のみ）
ズーム機能		2倍（単画面表示時のみ）
モーション検知機能		検知エリア：　140ブロック 検知感度：　3段階 検知速度：　3段階
記録媒体		ハードディスク：　IDE3.5インチ 容量：　500GB（250GB×2台）
録画機能		通常録画、アラーム録画、タイマー録画
通常録画		録画画質：10段階（レベル1～10） 録画チャンネル：各カメラにて設定 ＊カメラ毎の録画数の割合設定可能 録画間隔：14段階 （1／30秒，1／15秒，1／10秒，1／5秒，1／3秒，1／2秒， 1秒，2秒，3秒，5秒，10秒，20秒，30秒，60秒）
アラーム録画		録画画質：10段階（レベル1～10） 録画モード：全チャンネル、アラームが入力されたチャンネル、 最新のアラームチャンネル 録画チャンネル：録画モードが全チャンネル設定時のみ設定可 ＊カメラ毎の録画数の割合設定が可能 ＊全チャンネル設定時にアラーム入力チャンネルのみ録画数の 割増設定も可能 録画間隔：7段階 （1／30秒，1／15秒，1／10秒，1／5秒，1／3秒，1／2秒， 1秒） 基本録画時間：センサ検出中、または1秒～30分 プリ録画：なし、または1～30秒 オフディレイ録画：なし、または1～30分

タイマ録画	スケジュール数：10（秒単位にて設定可能） タイマ録画条件：5パターン 録画モード：日時、月、火、水、木、金、土、日、月～金、土日、毎日 録画間隔；14段階から選択可能 （1／30秒，1／15秒，1／10秒，1／5秒，1／3秒，1／2秒， 1秒，2秒，3秒，5秒，10秒，20秒，30秒，60秒）
検索機能	日時検索、録画開始サーチ、アラーム録画開始サーチ
再生	モード：　再生のみ表示モード、再生・ライブ同時表示モード 再生機能： 再生、逆再生、早送り、早戻し、コマ送り、コマ戻し、一時停止 （早送り、早戻しのスピード：　約0.5倍、約2倍、約4倍、約6倍、約8倍、 約10倍、約12倍、約20倍、約24倍） ご注意 ＊　デジタルセレクタ使用時は、再生操作を本体とセレクタで行うことができます。しかし、再生を同時に行うことはできません。
通信制御入出力	RS-485：2入出力（同一ポート　スクリューレス端子　6端子） 信号方式：シリアルデータ通信（RS-485） コマンド：独自方式 配線距離：最大500m （2出力使用時、ポート1の終端からポート2の終端まで最大500m） 接続可能機器： ①　デジタルセレクタ（TRS-R1620） ②　コンビネーションカメラ（TXD-7610）
外部制御入力	センサ入力：9入力（Dsub37ピンコネクタ） 信号方式：無電圧メイク接点 パルス幅１００ｍｓ以上 （開放電圧：DC5V　短絡電流：100mA以下）
外部制御出力	アラーム出力：1出力（スクリューレス端子　2端子） 信号方式：オープンコレクタ （耐電圧：DC24V　制御電流：100mA以下） 出力条件：アラーム録画時（出力条件はメニューにて設定可能） （アラーム録画中／センサ入力中／指定時間約1秒～30分） 映像連動制御出力：9出力（Dsub37ピンコネクタ） 信号方式：オープンコレクタ （耐電圧：DC24V　制御電流：100mA以下） ＊映像連動制御出力は、メニュー設定によりモニタ1またはモニタ2の映像連動制御出力として使用できます。
外部ハードディスク増設機能	信号・制御方式：独自方式 接続可能機器　：外部ハードディスクユニット（TXU-R1630）1台
ＬＡＮ接続機能	通信方式　：独自コマンド方式 専用ソフト：別売デジタルレコーダ用ソフト（TXU-CD1630） ＊ＬＡＮ接続する場合は専用ソフトが必要です。

文　字　出　力	カメラタイトル表示：各カメラ英数字、カタカナ、記号12文字まで（単画面時） 年月日時表示：年、月、日、時、分、秒表示
コンパクトフラッシュ	保存内容　：　① 再生時の単画面の静止画映像 ② 録画した動画データ（最大10分間） 容量　：　1GB以下 推奨メディア：　ハギワラシスコム製（HPC-CF1GV，HPC-CF512Z） ご注意 ＊推奨カードの品名は変更する場合があります。 ＊動画データは、本体では再生できません。 別売のデジタルレコーダ用ソフト（TXU-CD1630）を使用してパソコンにて再生できます。
データ保存	画像、音声：不揮発（磁気記録） 設定データ：不揮発（フラッシュROM） 時計：バックアップ　7日以内
時　計　精　度	月差　±30秒（周囲温度　25℃時）
サービスコンセント	電源スイッチ連動　AC１００V　最大2A
使用周囲温度	5℃～35℃
使用周囲湿度	20%～８０%
質　量	約 7.0Kg
外　観　色	黒（マンセルN1.5　近似色）
外　形　寸　法	幅 420mm　奥行 350mm　高さ 88mm　（突起物を除く）
付　属　品	ヒューズ（4A）…… 1 BNCコネクタ（3C-2V，5C-2V用）…… 1 取扱説明書…… 1 操作ガイド…… 1 記録可能時間の目安表…… 1 東芝家電修理ご相談センター書…… 1

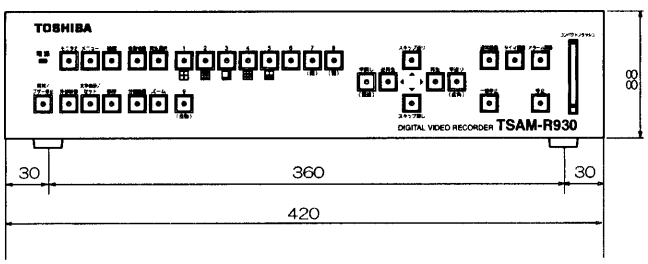
＊別売りのEIAラックマウント金具（LAD-2101）取付によりラックマウントできます。

ご注意

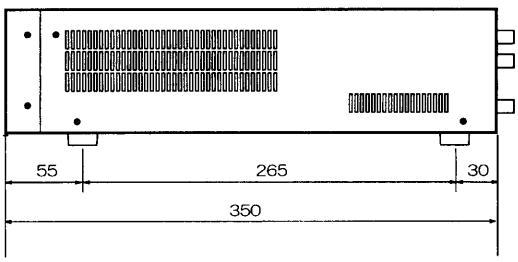
＊本機を使用中、万一故障もしくは不具合により発生した付随的損害（録画・録音内容など）の保障については、ご容赦ください。

外形寸法図

〔正面図〕



〔側面図〕



保証とアフターサービスについて

保証について

保証の内容は、下記のとおりとさせていただきます。

保　証　期　間	保証期間は、お買い上げの日から１年間です。
保　証　内　容	取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無償修理をさせていただきます。
保証の免責事項	保証期間内でも次の場合には原則として有料にさせていただきます。 (1)使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷 (2)お買上げ後の取付場所の移設、輸送、落下などによる故障及び損傷 (3)火災、地震、水害、落雷、その他天災地変、異常電圧、指定外の使用電源（電圧、周波数）などによる故障及び損傷 (4)車両、船舶等に搭載された場合に生ずる故障及び損傷 (5)施工上の不備に起因する故障や不具合 (6)法令、取扱説明書で要求される保守点検を行わないことによる故障及び損傷 (7)日本国内以外での使用による故障及び損傷

補修用性能部品の保有期間について

（1）弊社はデジタルビデオレコーダの補修用性能部品を製造打ち切り後８年間保有しています。
（2）補修用性能部品とはその商品の機能を維持するために必要な部品です。
（3）修理のために取り外した部品は、特段のお申し出がない場合は弊社にて引き取らせていただきます。
（4）修理の際、弊社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。

修理を依頼されるとき

１．保証期間中は
万一故障がおきた場合は、お買上げ日を特定できるものを添えてお買上げの販売店（工事店）までお申し出ください。
２．保証期間を過ぎているときは
お買上げの販売店（工事店）にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、ご希望により有料修理をさせていただきます。

アフターサービスについてご不明な点は

修理に関する相談ならびにご不明な点は、お買い上げの販売店（工事店）または東芝家電修理ご相談センターにお問い合わせください。

個人情報の取扱いについて

１．修理のために、当社から修理委託している保守会社などに必要なお客様の個人情報を預託する場合がございますが、個人情報保護法および東芝の個人情報保護プログラムを遵守させますので、あらかじめご了承ください。
２．カメラシステムを使用して撮影する人物・その他の映像で、個人を特定できるものは個人情報となります。その映像の開示・公開、インターネットでの配信はあらかじめ承諾を得ることが必要になり、システムを運用する方の責務となりますので、ご注意ください。

東芝ライテック株式会社 電材照明社 〒140-8660 東京都品川区南品川2丁目2番13号（南品川JNビル）TEL(03)5463-8779

お客様はお読みになったあとも必ず保存してください。

＜生産完了 2009年01月01日＞
TSAM-R930 (93／93)